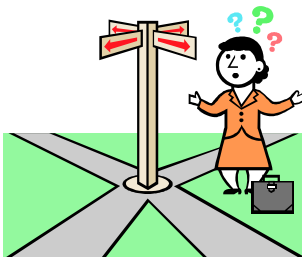


# くらしのにほんご とよなか V. 健康A

あたま いた  
「頭が痛いです。」



会話 A1

ようちえん  
《イルマちゃんの幼稚園で》



イルマ : <sup>せんせい め</sup>先生、目がかゆい。

<sup>ようちえん</sup>幼稚園の<sup>せんせい</sup>先生 : そう。イルマちゃん、<sup>せん</sup>先生

イルマ : はい。

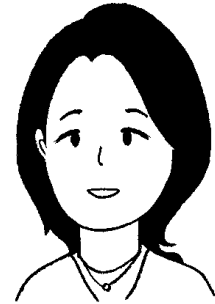
<sup>せんせい</sup>先生 : <sup>め</sup>目がちよつと<sup>あか</sup>赤いね。

いつから かゆいの？

イルマ : プールのあと。

先生 : <sup>め</sup>そう。目をかいてはいけま

<sup>ま</sup>ちよつと<sup>かあ</sup>待って。お母さん



## 会話 A 2



ようちえん せんせい

幼稚園の先生

ハスナ :

せんせい

先生 :

ハスナ :

せんせい

先生 :

ハスナ :

せんせい

先生 :

ハスナ :

せんせい

先生 :

ハスナ :

ようちえん

：もしもし、さくら幼稚園の山

かあ

イルマちゃんのお母さんで

はい、そうです。

きょう

今日、イルマちゃんはプー

め

プールのあと、目がかゆい

あ、そうですか。

め びょうき

目の病気かもしれませんか

びょういん つ

病院へ連れていきたいと思

びょういん

かかりつけの病院はありま

かかりつけ？

い びょういん

あ、いつも行く病院という意

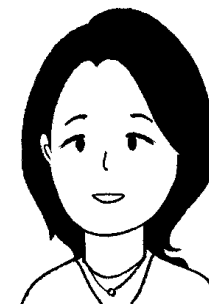
いいえ、ありません。

ほんまち がんか つ

じゃあ、本町眼科へ連れて

わたし い

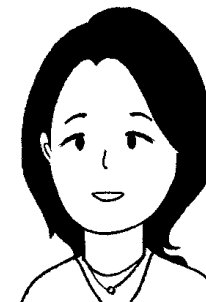
はい、私もすぐ行きます。



会話 A1



よう ち えん  
《イルマちゃんの幼稚園で》



イルマ : 先生、<sup>め</sup>目がかゆい。

幼稚園の先生 : そう。イルマちゃん、<sup>せんせい み</sup>先生に見せて。

イルマ : はい。

先生 : <sup>め</sup>目がちょっと<sup>あか</sup>赤いね。

いつから かゆいの？

イルマ : プールのあと。

先生 : そう。<sup>め</sup>目を<sup>め</sup>かいてはいけませんよ。

ちょっと<sup>ま</sup>待って。<sup>かあ でんわ</sup>お母さんに電話するから。

～が形容詞です

➡ [ス6]

[人]に動詞

➡ [ス16]

～てはいけません

➡ [ス41]

終助詞

➡ [ス27]

普通体

➡ [ス22] 4

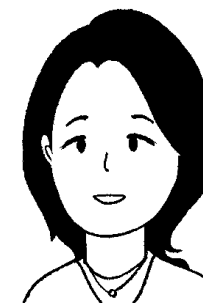




## 会話 A 2



幼稚園の先生 : もしも、さくら幼稚園の山田です。  
イルマちゃんのお母さんですか。



ハスナ : はい、そうです。

先生 : 今日、イルマちゃんはプールに入りましたが、  
プールのあと、目がかゆいと言っています。

ハスナ : あ、そうですか。

先生 : 目の病気かもしれませんから、  
病院へ連れていきたいと思いますが、  
かかりつけの病院はありますか。

ハスナ : かかりつけ？

先生 : あ、いつも行く病院という意味です。

ハスナ : いいえ、ありません。

先生 : じゃあ、本町眼科へ連れていきます。いいですか。

ハスナ : はい、私もすぐ行きます。

～に動詞



[ス19]

～かもしれません



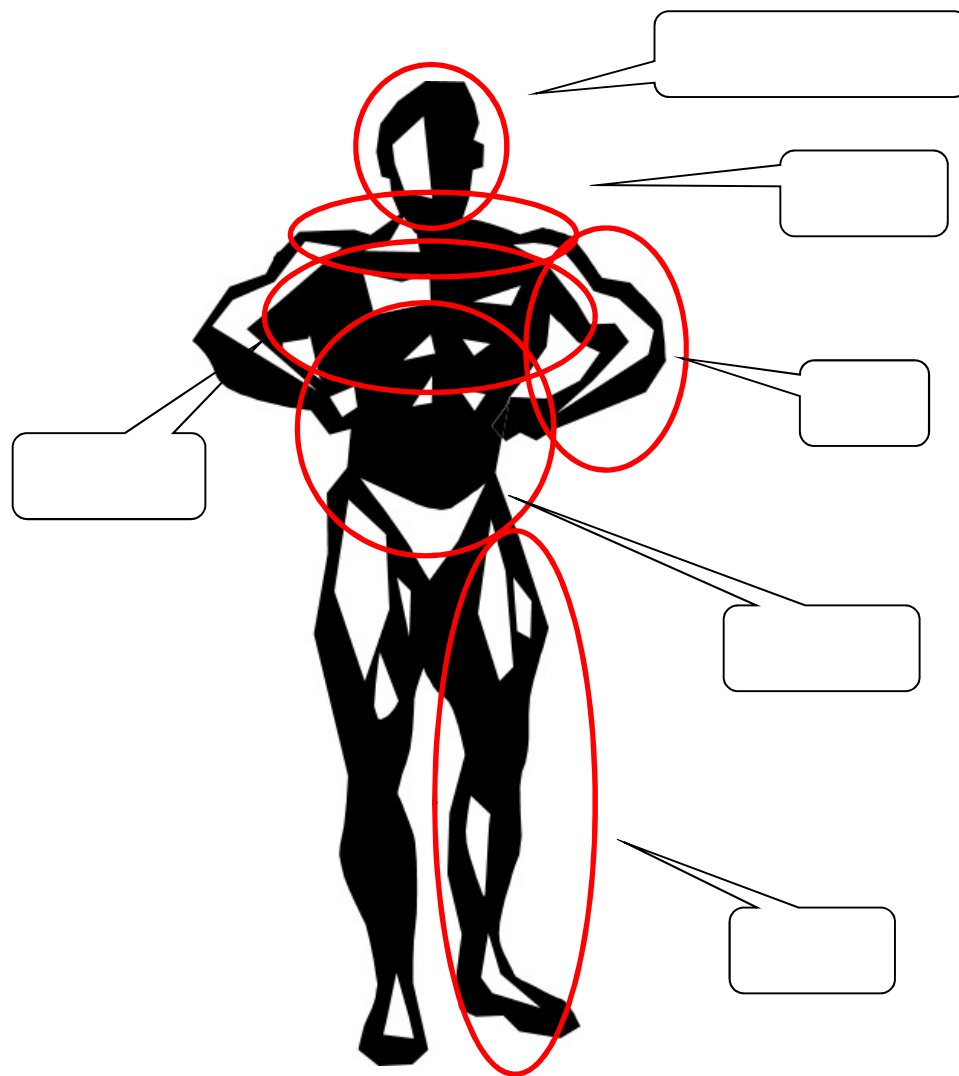
[ス38]

～と言う／思う

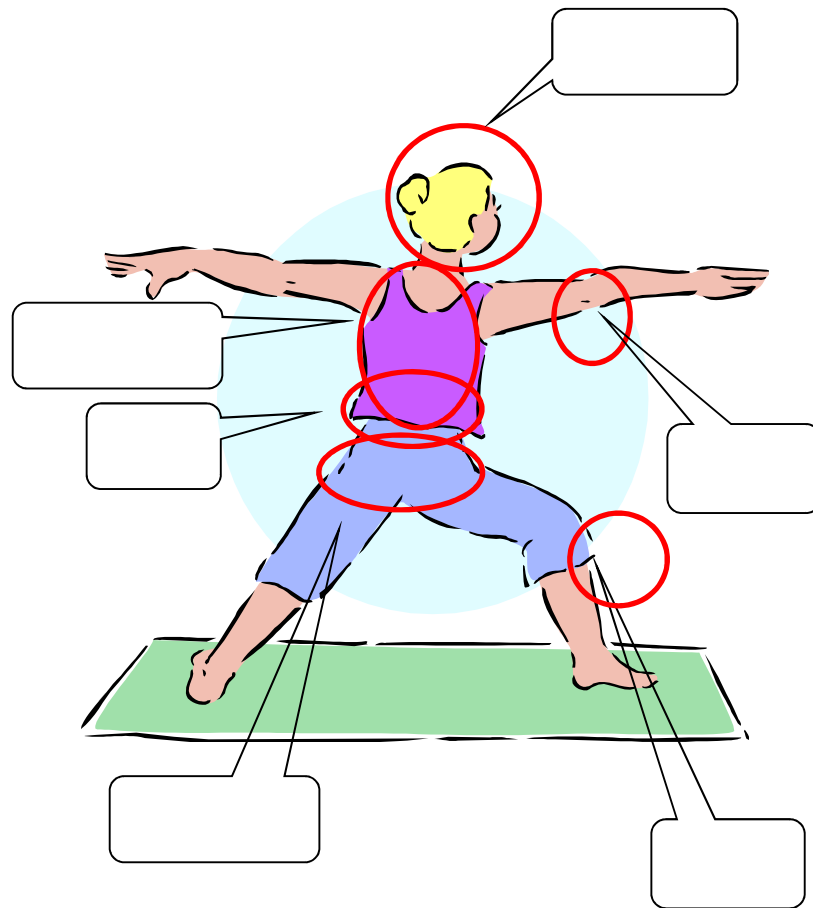


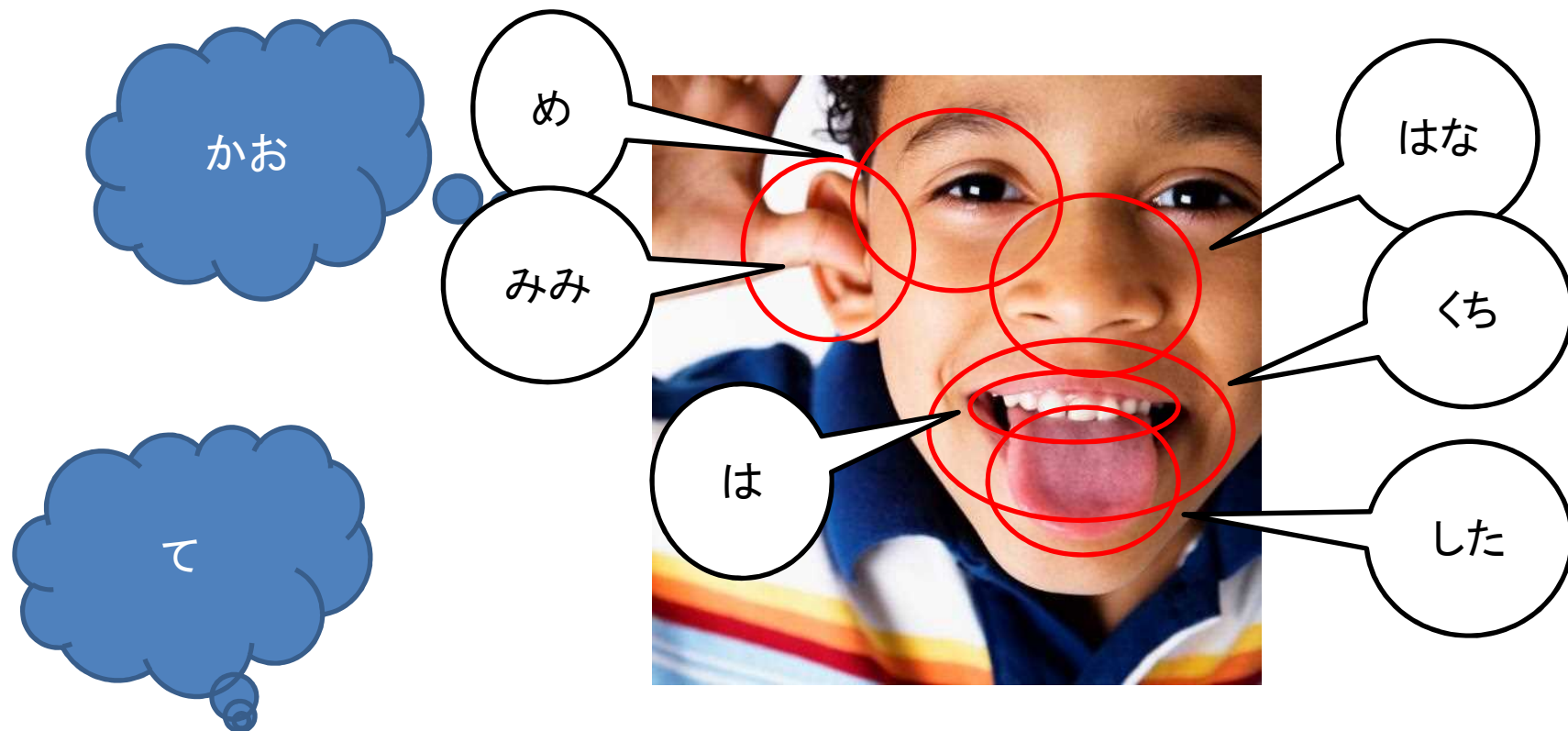
[ス30]

れんしゅう1



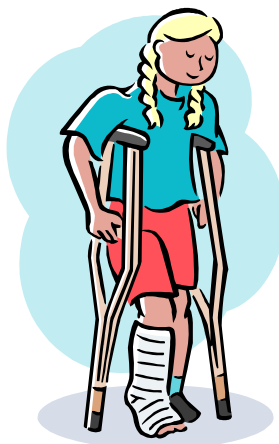
## れんしゅう2



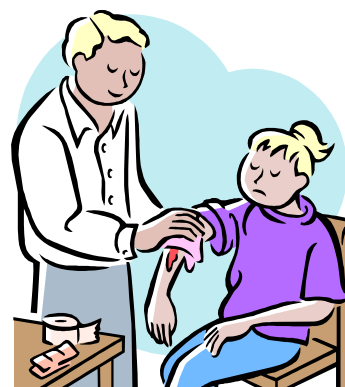




あたまが いたい



あしが いたい



うでが いたい



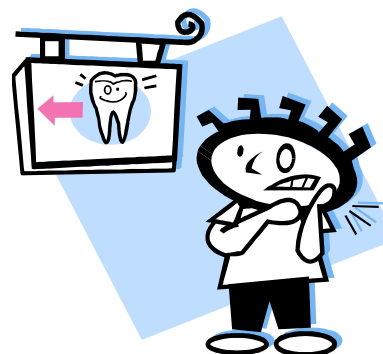
かたが いたい



おなかが いたい



こしが いたい



はが いたい



のどが いたい

ゲーム1 (ジェスチャーゲーム)

Tが「お腹が痛い」「頭が痛い」などのジェスチャーをし、Sがどこが痛いかあてる。  
次にSがジェスチャーをし、ほかのSがあてる。

ゲーム2 (カード合わせゲーム) → 次のスライド

「お腹が痛い」「頭が痛い」などの症状のカードと「アイスクリームを食べすぎた」「カラオケで歌いすぎた」などの原因のカードを作り、裏向けておいて、Sが2枚ずつ取り、ペアが作れるカードをさがす。

カードがうまく合えばSはそのカードをもらえる。合わなければカードを元のとおりに戻して次のSに代わる。



ゲーム2「カード合わせ」

- 〔進め方〕
- ①チーム別または個人別で得点を競う
  - ②左の番号と右の番号を1つずつ選ぶ
  - ③左の文がとの文が原因と結果でつながったら得点する
  - ④正しい文にならなかったら戻す

①

れいA

⑧

⑫

②

⑤

⑨

⑬

③

⑥

⑩

れいB

④

⑦

⑪

⑭



しょうじょう  
いろいろな症状



ねつが あります



くしゃみが できます  
せきが できます



かぜです  
インフルエンザです



かゆいです



やけどを しました



めまいが します





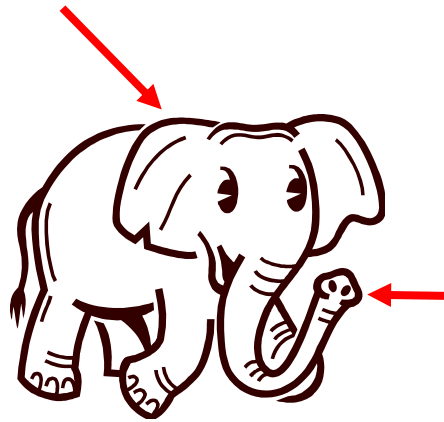
～は～が～です



せ たか  
背が 高いです

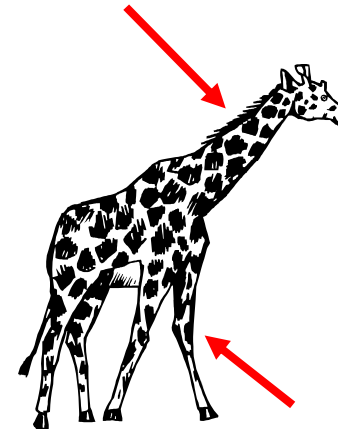
せ ひく  
背が 低いです

みみ おお  
耳が 大きいです



はな なが  
鼻が 長いです

くび なが  
首が 長いです



あし なが  
足が 長いです



め わる  
目が 悪いです



うみ ちか  
海が 近いです



ゆき おお  
雪が 多いです



たか おお  
高い ビルが 多いです

# ～は～が～です



ソウさんは

かみが

ながいです



リーさんは

かみが

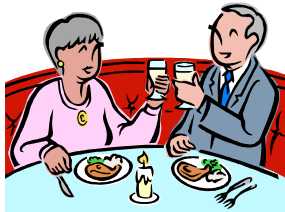
みじかいです



この こうえんは

さくらが

きれいです



この レストランは

りょうりが

おいしいです



学習者の町を紹介してもらう。  
 「私の町は海が近いです」  
 「私の町は高いビルが多いです」など。  
 「〇〇さんの町は人が多いですか」など、お互いに聞きあってもよい。  
 話せる学習者の場合は  
 「私の町は～～が有名です」など発展させてもよい。



# <人>に～

導入



せんせい  
先生に ききます



おし  
こどもに 教えます



かあ  
お母さんに あげます  
こどもに もらいます



みんなに 見せます



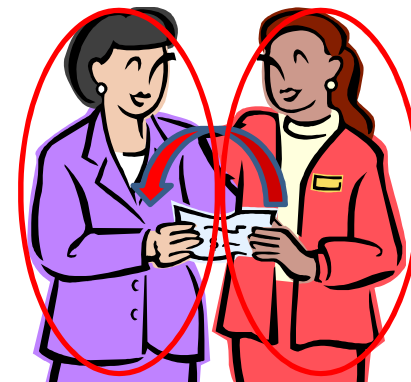
おじいさんに  
てがみ か  
手紙を 書きます



ともだち  
友達に  
でんわ  
電話を かけます



かぞく  
家族に  
メールを します



ともだち      かね      か  
友達に    お金を    借ります  
ともだち      かね      か  
友達に    お金を    貸します

わたしは まついさん <sup>でんわ</sup>に 電話を かけます。

はは

ともだち

だれ

.....か。



## れんしゅう

例1: A:だれに <sup>はな</sup>花を あげましたか。



<sup>はは</sup> B:母に あげました。



1) A:だれに チョコレートを もらいましたか。





2) A:だれに ピアノを <sup>なら</sup>習いましたか。





3) A:だれに <sup>でんわ</sup>電話を かけますか。





# ～に 動詞

車に乗る、部屋に入るなど、対象に向かって働きかける動詞には助詞「に」を使う。

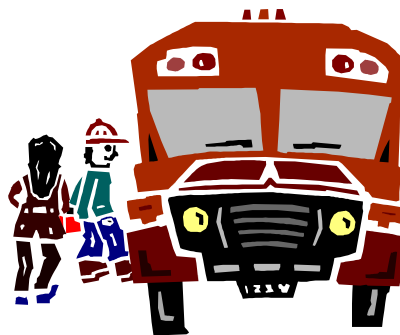
例：乗る、乗せる、入る、入れる、置く、並べる、飾る、つける、書く、色を塗る、会う



# ～に 動詞



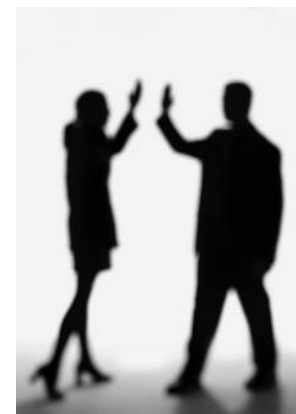
じてんしゃ の  
自転車に 乗ります



の  
バスに 乗ります



はい  
へやに 入ります



ともだち あ  
友達に 会います



す  
ごみばこに 捨てます



え  
へやに 絵を かざります



かべに メモを  
はります

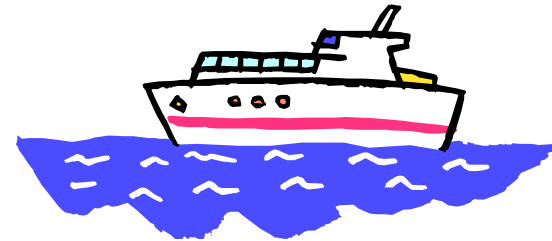
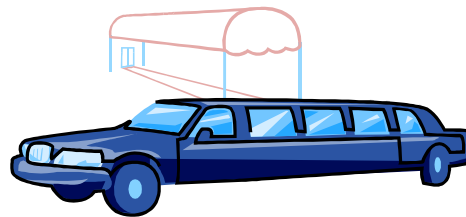


え  
コーヒーに 絵を  
かきます



# れんしゅう

なに の  
何に 乗りたいですか。



れんしゅう

<sup>たい</sup>  
[ です・ます体 ]

<sup>ふつうたい</sup>  
[ 普通体 ]

いきます

いく

いきません

いかない

いきました

いった

いきませんでした

いかなかった

あります

ある

ありません

※ ない

ありました

あった

ありませんでした

※ なかった

いきますか

いく？





A: ジュース[を]

B: うん、<sup>の</sup>飲む。



A: ビデオ[を]

B: ううん、<sup>み</sup>見な



A: <sup>ひる</sup>昼ごはん[を]

B: うん、<sup>た</sup>食べた



A: きのう <sup>うめだ</sup>梅田[へ]

B: ううん、<sup>い</sup>行かな



れんしゅう

<sup>たい</sup>  
[ ですます体 ]

<sup>ふつうたい</sup>  
[ 普通体 ]

おいしいです

おいしい

おいしくないです

おいしくない

おいしかったです

おいしかった

おいしくなかったです

おいしくなかった

しずかです

しずかだ

しずかじゃないです

しずかじゃない

しずかでした

しずかだった

しずかじゃなかったです

しずかじゃなかった

やすみです

やすみだ

やすみじゃないです

やすみじゃない

やすみでした

やすみだった

やすみじゃなかったです

やすみじゃなかった

やすみですか

やすみ？



A: そのケーキ[は]

B: うん、おいしい



A: カラオケ[が]

B: ううん、<sup>す</sup>好きじ



A: <sup>すずき</sup>鈴木さん[は]

B: うん、<sup>げんき</sup>元気だ



A: きノウ[は] <sup>や</sup>い

B: ううん、<sup>やす</sup>休み



わたしは

<sup>こうべ</sup>  
あした神戸へ

<sup>せ</sup>  
背が

スポーツが

<sup>うみ</sup>  
海へ

<sup>くるま</sup>  
車を

レポートを

<sup>かいしゃ</sup>  
あした会社へ

<sup>ちゅうごく</sup>  
中国へ

<sup>すずき</sup>  
鈴木さんは

あしたどこへ

<sup>じ</sup>  
あした 10時に

<sup>たい</sup> <sup>ふつうたい</sup>  
[ですます体]→[普通体]

<sup>い</sup>  
行く

<sup>たか</sup>  
高い

<sup>す</sup>  
好きだ

<sup>がくせい</sup>  
学生だ

<sup>い</sup>  
行きたい

<sup>も</sup>  
持っている

<sup>か</sup>  
書かなければならない

<sup>い</sup>  
行かなくてもいい

<sup>い</sup>  
行ったことがある

<sup>およ</sup>  
泳ぐことができない

<sup>い</sup>  
行くの？

<sup>き</sup>  
来て

友達や親しい人との会話では「普通体」が使われます。

普通体では、助詞が省略されたり、終助詞「よ」「ね」などが多く使われたりします。

助詞でよく省略されるのは「は」「が」「を」「へ」です。

例) 私、帰る。 みかん、好き？ みかん、食べる？ きょう梅田行った。

自分も相手も知っていることを話し、同じ気持ちを確認するときには文の終わりに「ね」をつけます。

例) 今日はいい天気ですね。

自分が知っていて相手が知らないことを話すときには「よ」を使います。

例) 雨が降っているよ。傘を持って行ったほうがいいよ。

また、軽い疑問の「～でしょうか」は普通体では「かな」などを使います。

例) 明日は晴れるでしょうか。→明日は晴れるかな。

「～んですか」の普通体は「～の？」になります。



女性と男性の違いもあります。

普通体で話すとき、女性は質問のときに「か」をつけません。男性はつけることもつけないこともあります。

男)これ、食べる(か)? おいしい(か)?

女)これ、食べる? おいしい?

普通体の会話で、名詞や、な形容詞で文が終わるとき、男性は「だ」で文を終わらせますが、女性は「だ」で文を終わらせないことが多いです。

男)ぼくはカラオケが好きだ。

女)わたしはカラオケが好き。

な形容詞に「ね」「よ」をつけるとき、男性は「だね」「だよ」、女性は「よ」「ね」になります。

男)この花きれいだね。 こっちもきれいだよ。 雨だね。 雪だよ。

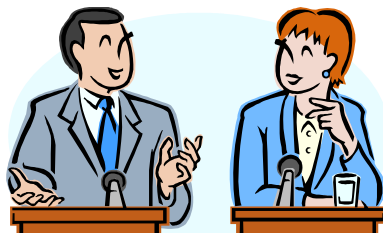
女)この花きれいね。 こっちもきれいよ。 雨ね。 雪よ。





れんしゅう

A: あしたどこへ行きますか。  
B: 神戸へ行きます。



A: いい天気だね。  
B: そうだね。



# ～と言っています

アメリカから<sup>き</sup>来ました。



アメリカから<sup>き</sup>来た  
<sup>い</sup>と言っています。





やまだ  
山田さんは

# ～と言っています

いた  
あたまが 痛いです。



いた  
あたまが 痛い

い  
と言っています。

さけ す  
お酒が 好きです。

さけ す  
お酒が 好きだ

かいしゃ やす  
あした 会社は 休みです。

かいしゃ やす  
あした 会社は 休みだ

りょこう い  
あした 旅行に 行きます。

りょこう い  
あした 旅行に 行く

きのうの コンサートは  
おもしろかったです。

きのうの コンサートは  
おもしろかった

せんしゅう えいご う  
先週 英語の テストを 受けました。

せんしゅう えいご う  
先週 英語の テストを 受けた

かんたん  
テストは 簡単でした。

かんたん  
テストは 簡単だった

らいねん ちゅうごくご べんきょう  
来年は 中国語を 勉強したいです。

らいねん ちゅうごくご べんきょう  
来年は 中国語を 勉強したい



## インタビューをしましょう

なまえ 名前			
つぎ やす ひ なに 次の休みの日何を しますか			
す きせつ 好きな季節は			
にほんご べんきょう 日本語の勉強は どうですか			
けさ なんじ お 今朝何時に起きまし たか			
きのうはどんな ひ 日でしたか			
こどものころの <sup>ゆめ</sup> 夢			



～と言いました ～と言っています

だれかの言ったことをほかの人に伝えるとき、普通は「と言っています」「～と言っていました」と言います。  
内容を伝えるのではなく、そのことばそのものを伝えるときには「～と言いました」ということもあります。



# ～(というの)は～という意味です。

びょういん  
かかりつけの病院

というのは

い びょういん  
いつも行く病院

いみ  
という意味です。

るす  
留守

いえ  
家に だれも いない

すごく

とても

ちょうなん  
長男

きょうだい いちばん うえ おとこ こ  
兄弟の 一番上の 男の子

い ど  
行き止まり

さき みち  
そこから 先は 道がない

おんち  
音痴

うた へた ひと  
歌が 下手な人





# ～と思います

わたしは

きょう  
今日は あたたかい

おも  
と思います。

にほん まち  
日本の 町は きれいだ

あめ ふ  
あした 雨が 降る

さけ す  
マークさんは お酒が 好きだ

にほんご じょうず  
イルマちゃんは 日本語が 上手だ

そう し  
宋さんは このことを 知らない

えいが お  
映画は もう 終わった

きょう か もの い  
今日は 買い物に 行かなくてもいい

～～さんは

どう

✗ 思いますか。

れんしゅう

にほんご      べんきょう  
日本語の勉強

にほん      た      もの  
日本の食べ物

てんき  
あしたの天気

にほん      でんしゃ  
日本の電車

どう 思いますか。

おおさか      まち  
大阪の町

にほん      こ  
日本の子ども

にほん      てんき  
日本の天気





かもしれません

導入

〔バスを待っている〕



西田<sup>にしだ</sup> : バスが なかなか<sup>き</sup> 来ませんね。

マーク<sup>かいぎ</sup> : 会議<sup>おく</sup>に 遅れるかも しれませんね。

西田 : タクシーで<sup>い</sup> 行きましょうか。

マーク : そうしましょう。



〔教室で〕



ホア : あした カラオケに<sup>い</sup> 行く？

チャン<sup>しけん</sup> : あさって 試験があるから  
<sup>い</sup> 行けないかも しれない。

ホア : そうか。<sup>い</sup> 行く人<sup>ひと</sup>が <sup>すくな</sup> 少ないと  
<sup>たの</sup> 楽しくないかも しれないね。



[V普通形]  
[<い>adj. 普通形]  
[<な>adj. 普通形] だ  
[N 普通形] だ } かもしれません

<意味>

話し手の「推量・推測」を表すが、「～でしょう」に比べて判断の根拠が薄く不確かな推量。

不確実な気持ちを表す「もしかしたら」などとともに使われる場合が多い。

□日本語能力試験であまり答えられなかった

⇒「もしかしたら、合格できないかもしれない。」

□9時になってもAさんが来ません。

⇒「きのう熱があったといっていましたから、かぜをひいたのかもしれない。」



# ～かもしれません

こんや 今夜は ゆき 雪に なる

かもしれません。

こ みんな 来ない

ぶちよう 部長は かえ もう 帰った

マークさんは このことを 知っている

ほん この本は むずか イルマちゃんには 難しい

マークさんは カラオケが きら 嫌い

ひと あ的那个人は ぶちよう 部長の おく 奥さん

きょう 今日は か 買い物に もの 行かなくてもいい



## れんしゅう

れい  
例)

てんき わる  
A: 天気が悪くなりましたね。

あめ ふ  
B: そうですね。雨が降るかもしれませんね。

に  
A: あのこどもたち、よく似ていますね。

B:

みち  
A: 道がこんでいますね。

B:

ひと なら  
A: 人が たくさん 並んでいますね。

B:

あたま いた  
A: 頭が 痛いです。

B:

A: さいふが ないです。

B:



～てはいけません



たばこを <sup>す</sup>吸っては いけません



<sup>はい</sup>入っては いけません



<sup>けいたいでんわ</sup>携帯電話を <sup>つか</sup>使っては いけません



「～てはいけません」は「～ないでください」よりも、ルールによって禁止されている、危険なので禁止されている、というようなときに使います。

例)この建物の中ではタバコを吸ってはいけません。

工事中ですから入ってはいけません。

個人的に許可を求められて断るようなときには「～ないでください」も強すぎるので避け、「すみません～～はちょっと…」などの表現で断ります。

例1)A: 今日お宅へ行ってもいいですか。

B: あ、すみません、今日はちょっと…。



ここに

はい  
入って

は いけません。

ここで たばこを

す  
吸って

こ  
子どもは お酒を

の  
飲んで



## れんしゅう

た  
食べます



た  
食べては いけません

み  
見ます



み  
見ては いけません

はい  
入ります



はい  
入っては いけません

の  
飲みます



の  
飲んででは いけません

ちか  
近づきます



ちか  
近づいては いけません

つか  
使います



つか  
使っては いけません

します



しては いけません

き  
来ます



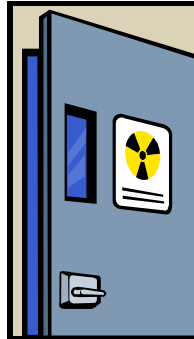
き  
来ては いけません





れんしゅう

なん い  
何と 言いますか



## いろいろな表現

～てはいけません(～てはいけない)

た  
食べてはいけない

み  
見てはいけない

はな  
話してはいけない

はい  
入ってはいけない

つか  
使ってはいけない

およ  
泳い**で**はいけない

あそ  
遊ん**で**はいけない

の  
飲ん**で**はいけない

き  
来てはいけない

ちこく  
遅刻してはいけない

～ちゃ(じゃ)いけない

た  
食べちゃいけない

み  
見ちゃいけない

はな  
話しちゃいけない

はい  
入っちゃいけない

つか  
使っちゃいけない

およ  
泳い**じゃ**いけない

あそ  
遊ん**じゃ**いけない

の  
飲ん**じゃ**いけない

き  
来ちゃいけない

ちこく  
遅刻しちゃいけない

か ぜ      なか    いた      あたま    いた      げり	ないか
風邪、お腹が痛い、頭が痛い、下痢など.....	内科
びょう    ふみんしょう      いぞんしょう	せいしんか
うつ病、不眠症、アルコール依存症など.....	精神科
こ      びょうき	しょうにか
子どもの病気.....	小児科
こっせつ	げか
けが、骨折など.....	外科
こっせつ    かた    こし    いた    かんせつ    えんしょう	せいけい    げか
骨折、肩や腰の痛み、関節の炎症など.....	整形外科
あたま    ひじょう    いた    とき	のうしんけいか
頭が非常に痛い時など.....	脳神経科
せい    ひふ    えん      みずむし	ひふ    か
やけど、アトピー性皮膚炎、じんましん、水虫など.....	皮膚科
ぼうこう    えん    ぜんりつせん    びょうき    せいびょう	ひにようき    か
膀胱炎、前立腺の病気、性病など.....	泌尿器科
にんしん    しゅっさん    し    きゅう    びょうき	さんふじん    か
妊娠、出産、子宮の病気など.....	産婦人科
め      びょうき	がんか
目の病気.....	眼科
ちゅうじえん      せい    びえん      みみ    はな      びょうき	じび      か
中耳炎、アレルギー性鼻炎など、耳、鼻、のどの病気..	耳鼻いんこう科
むしば      ば      は      かんけい	しか
虫歯、入れ歯など歯に関係すること.....	歯科

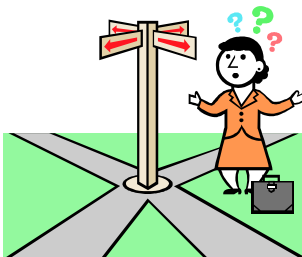
わからないときは近くの病院に相談しましょう。

おわり



# くらしのにほんご とよなか V. 健康C

ほけんしょう わす  
「保険証を 忘れてしまいました。」



会話 C1-1

《 神戸電気で 》



ばく  
朴 : マークさん、足が痛いんですか。

マーク : そうなんです。日曜日 サッカーで 友達と

ばく  
朴 : 病院に 行かないんですか。

マーク : きのう、行こうと 思ったんだけど 保険証を

ばく  
朴 : 「保険証」 ですか？

マーク : そう、健康保険証。病院へ 行くとき 必

ばく  
朴さん、健康保険証を 持っていないの？

ばく  
朴 : 持っていません。

マーク : 保険証が ないと お金が かかって 大変

つく  
作ったほうが いいですよ。



会話 C1-2

《 神戸電気で 》  
こうべ でんき



ばく  
朴 : 保険証を 作るためには どうすればいい  
おし  
教えてくださいませんか。

マーク : 市役所の 窓口で 相談すれば いいです  
し やくしょ まどぐち そうだん

ばく  
朴 : そうですか。じゃ、あした 市役所へ 行  
し やくしょ い



## 会話 C2



### 《 市役所の 窓口で 》

ばく  
朴 : あのう、健康保険証を 作りたいんですが。

まどぐちがかり  
窓口係 : 在留カードは ありますか。

ばく  
朴 : はい、これです。

まどぐちがかり  
窓口係 : あ、吹田市に お住まいですね。

すいたし し やくしよ て つづ  
それでは 吹田市の 市役所で 手続きを  
じゅうみんとうろく し やくしよ て つづ  
住民登録のある 市役所で 手続きを して

ばく  
朴 : そうですか。手続きには 何が いりますか。

まどぐちがかり  
窓口係 : 在留カードと パスポートが いります。

ばく  
朴 : わかりました。ありがとうございました。

まどぐちがかり  
窓口係 : いいえ。





会話 C1-1

《 神戸電気で 》



ばく  
朴 : マークさん、足が痛いんですか。

マーク : そうなんです。日曜日 サッカーで 友達とぶつかっちゃって～。

ばく  
朴 : 病院に 行かないんですか。

マーク : きのう、行こうと 思ったんだけど 保険証を 家に 忘れてしまってた～。

ばく  
朴 : 「保険証」 ですか？

マーク : そう、健康保険証。病院へ 行くとき 必要です。

ばく  
朴さん、健康保険証を 持っていないの？

ばく  
朴 : 持っていません。

マーク : 保険証が ないと お金が かかって 大変です。

つく  
作ったほうが いいですよ。



～てしまいます／ました

➡ [ス9]

会話 C1-2

《 神戸電気で 》



ばく  
朴 : 保険証を 作る **ためには** どうすればいいですか。

おし  
**教えてくださいませんか。**

マーク : 市役所の 窓口で 相談すれば いいですよ。

ばく  
朴 : そうですか。じゃ、あした 市役所へ 行きます。

～(の)ために ➡ [ス17]

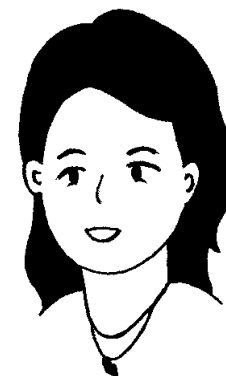
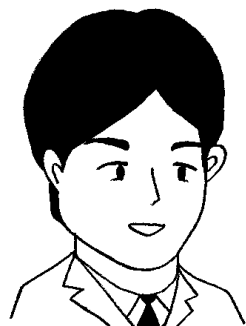
疑問詞＋～ばいいですか ➡ [ス25]

疑問詞＋たらいいですか ➡ [ス30]

～てくださいませんか ➡ [ス48]



会話 C2



し やくしょ まどぐち  
《 市役所の 窓口で 》

ばく  
朴 : あのう、健康保険証を 作りたいんですが…。

まどぐちがかり ざいりゅう  
窓口係 : 在留カードは ありますか。

ばく  
朴 : はい、これです。

まどぐちがかり すいたし す  
窓口係 : あ、吹田市に お住まいですね。

すいたし し やくしょ て つづ  
それでは 吹田市の 市役所で 手続きを してください。

じゅうみんとうろく し やくしょ て つづ  
住民登録のある 市役所で 手続きを していただきます。

ばく  
朴 : そうですか。手続きには 何が いりますか。

まどぐちがかり ざいりゅう  
窓口係 : 在留カードと パスポートが いります。

ばく  
朴 : わかりました。ありがとうございました。

まどぐちがかり  
窓口係 : いいえ。

～ていただきます

➡ [ス34]



## (Vてしまいました／ます)

### <意味>

- ① 動作の完了を表す。

例:「ぶどうをたくさん買ってきましたが、おいしかったので全部食べてしまいました。」

例:「あしたまでに、レポートを書いてしまいます。」

- ② 望まない状況になったことに対する残念な気持ちを表す。

例:「飼っていた猫が死んでしまいました。」

例:「家のかぎをなくしてしまいました。」



## (～てしまいました[1])

A: <sup>らいしゅう</sup>来週、<sup>にほん</sup>日本へ <sup>い</sup>行きます。  
<sup>にほん</sup>日本へ <sup>い</sup>行く前に <sup>まえ</sup>レポートを  
<sup>だ</sup>出さなければ なりません。

B: もう、レポートは <sup>か</sup>書きましたか。

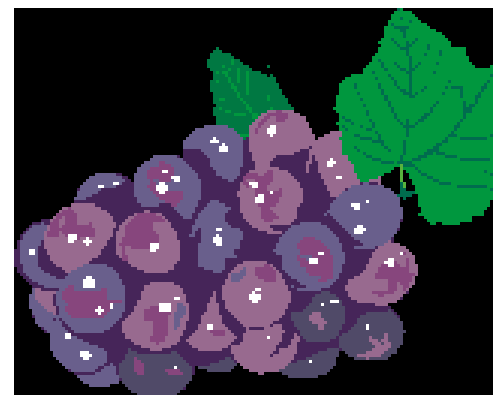
A: はい、きのう <sup>か</sup>書いて **しまいました**。



A: <sup>か</sup>きのう、ぶどうを **たくさん** 買いました。

B: おいしかったですか。

A: ええ、とても おいしかったので  
<sup>ぜんぶ</sup>全部、<sup>た</sup>食べて **しまいました**。



(～てしまいます)

A: <sup>らいしゅう</sup> 来週、<sup>にほん</sup> 日本へ <sup>い</sup> 行きます。

<sup>いろいろ</sup> いろいろ <sup>じゅんび</sup> 準備します。

B: <sup>ま</sup> 間に <sup>あ</sup> 合いますか。

A: ええ、あす <sup>ま</sup> までに <sup>じゅんび</sup> 準備して **しまいます。**



A: <sup>としょかん</sup> 図書館で <sup>か</sup> 借りた <sup>ほん</sup> 本を  
<sup>かえ</sup> あした 返さなければなりません。

B: <sup>よ</sup> もう、読みましたか。

A: <sup>ばん</sup> <sup>よ</sup> きょうの 晩、読んで **しまいます。**



レポート

は もう

<sup>か</sup>  
書いて

しました。

<sup>としょかん</sup> <sup>か</sup> <sup>ほん</sup>  
図書館で借りた本

<sup>ぜんぶ</sup>  
は 全部

<sup>よ</sup>  
読んで

<sup>りょこう</sup> <sup>じゅんび</sup>  
旅行の準備

は あした

やって

します。



例:1 (友達に <sup>ともだち</sup>たくさん DVDを <sup>か</sup>借りました。)

きのう <sup>ぜんぶ</sup>全部 <sup>み</sup>見てしまいました。

例:2 (午後から <sup>ごご</sup>会議が <sup>かいぎ</sup>あります。)

<sup>かいぎ</sup>会議の<sup>まえ</sup>前に <sup>しりょう</sup>資料を <sup>じゅんび</sup>準備してしまいます。



【言ってください】



てしまいます／ました。

きのう  
～の前に  
～までに  
あした  
せんしゅう  
先週

【考えて  
ください】

<sup>かいぎ</sup>会議の<sup>しりょう</sup>資料 <sup>かね</sup>お金  
<sup>としょかん</sup>図書館で<sup>か</sup>借りた<sup>ほん</sup>本／CD  
<sup>しゅくだい</sup>宿題の<sup>かんじ</sup>漢字 レポート  
<sup>れいぞうこ</sup>冷蔵庫のビール／ケーキ

<sup>ぜんぶ</sup>  
全部

【考えて  
ください】

<sup>み</sup>見ます <sup>じゅんび</sup>準備します  
<sup>か</sup>書きます <sup>た</sup>食べます  
<sup>の</sup>飲みます <sup>き</sup>聞きます  
<sup>つか</sup>使います <sup>あげます</sup>  
コピーします <sup>します</sup>  
<sup>おぼ</sup>覚えます 【考えて  
ください】

【てしまいます  
ました】



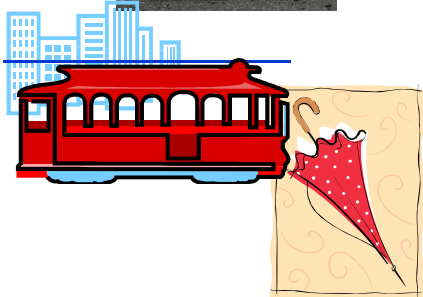


## (～てしまいました)



か                      ねこ                      し                                      ねこ  
飼っていた猫が 死にました。 かわいい猫でした。

⇒ 飼っていた猫が 死んで しまいました。



でんしゃ      なか      かさ      わす  
きのう、電車の中に 傘を 忘れました。

⇒ きのう 電車の中に 傘を 忘れて しまいました。

A: きのう、バイクで ころんで しまいました。

B: えっ、大丈夫でしたか。

A: はい、わたしは 大丈夫でしたが…。

バイクが 故障して しまいました。

とても いい バイク だったのに…。



か 飼っていた猫が	し 死んで	しまいました。
きのう バイクで	ころんで	
バイクが	こわれて	



例:1 (きのうは とても<sup>さむ</sup>寒かったです。公園<sup>こうえん</sup>を散歩<sup>さんぽ</sup>していました。)  
<sup>さむ</sup>寒くて かぜを ひいてしまいました。

例:2 (朝ごはんを<sup>あさ</sup> 食べているとき、)  
<sup>さら</sup>お皿を <sup>お</sup>落として しまいました。  
<sup>さら</sup>お皿が <sup>わ</sup>割れて しまいました。

〔言ってください〕



てしまいました。

かぜを <sup>さら</sup>お皿が  
<sup>かさ</sup>傘を <sup>さいふ</sup>を  
ねこが シャツが  
<sup>かいぎ</sup>会議に <sup>みち</sup>道を  
パソコンが <sup>かぎ</sup>鍵を  
〔考えてください〕

<sup>こわ</sup>壊れます <sup>わす</sup>忘れます  
<sup>わ</sup>割れます <sup>よご</sup>汚れます  
<sup>し</sup>死にます <sup>お</sup>落とします  
まちがえます <sup>なく</sup>します  
<sup>ちこく</sup>遅刻します <sup>こしょう</sup>故障します  
〔考えてください〕

〔てしまいました〕



## (～ために～)

「～ために」は動詞の辞書形、「名詞＋の」に接続して、目的を表す。前件が目的を、後件はその目的を表現するための意志的行為を表す。

「名詞＋のために」は事柄と人の2つがある。事柄の場合は上のとおりであるが、人の場合は利益を表す。対象となる人にとって利益となる行為をするという意味である。



**V辞書形**

**N の**

ために、～

( <動詞・辞書形> ために)

もくてき  
目的



結婚します  
けっこん  
結婚する

ために、貯金しています  
ちよきん



世界旅行をします  
せかいりょこう

ために、貯金しています  
ちよきん



会社を 作ります  
かいしゃ つく

ために、貯金しています  
ちよきん



車を 買います  
くるま か

ために、貯金しています  
ちよきん



ちよ きん  
貯金します

けっこん  
結婚する

ために、  
ちよきん  
貯金しています。

かいしゃ つく  
会社を作る

ちよきん  
貯金しています。

か  
レポートを書く

としょかん ほん か  
図書館で本を借ります。



## ( <名詞> のために )

導入1 T: みなさんは どうして <sup>にほんご</sup> 日本語を <sup>べんきょう</sup> 勉強しますか。

S: <sup>しごと</sup> 仕事で <sup>つか</sup> 使うために <sup>べんきょう</sup> 勉強します。

T: 「<sup>しごと</sup> 仕事の <sup>べんきょう</sup> ために 勉強します。」でも いいことを 説明する。

導入2 T: Aさんは どうして 日本へ 来ましたか 。

旅行ですか。仕事ですか。

S: 仕事を する ために、来ました。

T: 「仕事の ために、来ました」 でも いいことを 説明する。





( <名詞> のために )

ドリル

T: みなさんは どうして <sup>にほんご</sup> 日本語を <sup>べんきょう</sup> 勉強しますか。

S: 仕事で <sup>しごと</sup> <sup>つか</sup> 使うために <sup>べんきょう</sup> 勉強します。

⇒ <sup>しごと</sup> 仕事の <sup>べんきょう</sup> ために 勉強します。

T: わたしは <sup>やさい</sup> 野菜が <sup>す</sup> あまり好きじゃありませんが、<sup>からだ</sup> 体に いいですから、  
<sup>まいにち</sup> 毎日 <sup>がんば</sup> 頑張って <sup>た</sup> 食べて います。

⇒ <sup>けんこう</sup> 健康の <sup>やさい</sup> ために、野菜を <sup>た</sup> 食べています。

T: みなさん、毎日 <sup>まいにち</sup> <sup>いっしょうけんめい</sup> 一生懸命 <sup>はたら</sup> 働いていますね。

<sup>はたら</sup> みなさんの <sup>もくてき</sup> 働く <sup>かいしゃ</sup> 目的は <sup>かぞく</sup> なんです。 <sup>じぶん</sup> 会社？ 家族？ 自分？

S: <sup>かぞく</sup> 家族です。

⇒ <sup>かぞく</sup> 家族の <sup>はたら</sup> ために、働いています。



しごと  
仕事の

ために、

にほんご      べんきょう  
日本語を 勉強します。

けんこう  
健康の

まいにち      やさい      た  
毎日 野菜を 食べています。

かぞく  
家族の

いっしょうけんめい      はたら  
一生懸命 働いています。



## 教室活動

### 手順

1. 学習者を4、5人のグループに分ける。
2. それぞれの学習者が、これからしようと思っていることとその目的を「ために」を使って書いて、グループ内で発表する。

例： 自転車を買うために、アルバイトをしようと思っています。

経済を勉強するために、大学に行こうと思っています。Etc.

3. グループごとに、一人ずつ自分がしようと思っていることをクラスの前で言う。他のグループの人はグループ内で相談して、その行動の目的を当てる。そのとき、聞いたり、答えたりする。

例：

A： 私は一生懸命日本語の勉強をしようと思っています。

B： 試験のためですか。

A： いいえ。

C： 日本へ行くためですか。

A： いいえ。

D： ガイドになるためですか。

A： はい、そうです。

ガイドになるために、一生懸命日本語の勉強をしようと思っています。



(疑問詞～ばいいですか)

解決するための助言を求める言い方である。  
「疑問詞＋Vた＋らいいですか」と同じ。



(疑問詞～ばいいですか)

?



ワンさん、パソコンを 買いたいんですが、  
どれを 買えばいいですか。



〔わたし〕

パソコンを <sup>か</sup> 買いたいです。  
どれがいいですか。わかりません。  
ワンさんは パソコンのことを よく知っています。  
ワンさんに <sup>き</sup> 聞きます。



〔ワンさん〕

⇒ パソコンを <sup>か</sup> 買いたいんですが、  
<sup>か</sup> どれを 買えば いいですか。



山下さん、法隆寺へ行きたいんですが、  
何で 行けばいいですか。

電車で 行けばいいですよ。



〔山下さん〕



〔わたし〕

ほうりゆうじ い  
法隆寺へ 行きたいです。  
なん い  
何で 行きますか。



なん い  
何で 行けば いいですか。

## 疑問詞＋V条件形＋いいですか

〔疑問詞〕

〔助詞〕

〔条件形〕

いつ

(～、から、まで、…)

どこ

(で、へ、に、から、まで、…)

だれ

(に、と、を、…)

なに

(を、が、に、と、…)

どう、どの、  
どんな、どちら

(～、を、に、が、…)

～ば いいですか。



例： どうしますか。

→

どうすればいいですか

1: <sup>だれ</sup> <sup>い</sup> 誰に言いますか。

→

<sup>だれ</sup> <sup>い</sup> 誰に言えばいいですか

2: <sup>なに</sup> <sup>か</sup> 何を言いますか。

→

<sup>なに</sup> <sup>か</sup> 何を言えればいいですか

3: <sup>なに</sup> <sup>しら</sup> 何で調べますか。

→

<sup>なに</sup> <sup>しら</sup> 何で調べればいいですか

4: <sup>い</sup> どこへ行きますか。

→

<sup>い</sup> どこへ行けばいいですか

5: <sup>い</sup> いつ行きますか。

→

<sup>い</sup> いつ行けばいいですか

6: <sup>の</sup> どのバスに乗りますか。

→

<sup>の</sup> どのバスに乗ればいいですか

7: <sup>お</sup> どちらのボタンを押しますか。

→

<sup>お</sup> どちらのボタンを押せばいいですか

8: <sup>かんが</sup> みなさんで考えてください。

→





例： パスポートをなくしました・どう

→ どうすればいいですか

1: <sup>さくら み</sup>  
桜を見たいです・どこ

→ <sup>い</sup>  
どこへ行けばいいですか

2: <sup>けいたい でんわ か</sup>  
携帯電話を買います・どんな

→ <sup>けいたい でんわ か</sup>  
どんな携帯電話を買えばいいですか

3: <sup>しょどう なら</sup>  
書道を習いたいです・だれ

→ <sup>い</sup>  
だれに言えばいいですか

4: <sup>きんかくじ い</sup>  
金閣寺へ行きます・どう

→ <sup>い</sup>  
どう行けばいいですか

5: <sup>かね だ</sup>  
お金を出します・どのボタンを

→ <sup>お</sup>  
どのボタンを押せばいいですか

6: <sup>ほっかいどう りょこう</sup>  
北海道を旅行します・いつ

→ <sup>い</sup>  
いつ行けばいいですか

7: <sup>こいびと なん</sup>  
恋人にプロポーズします・何と

→ <sup>い</sup>  
なんと言えばいいですか

8: <sup>かんが</sup>  
みなさんで考えてください。

→



## (疑問詞＋た形(たら)＋いいですか)

疑問詞＋V条件形＋いいですか    同じ用法

〔疑問詞〕

〔助詞〕

〔た形(たら)〕

いつ

(～、から、まで、…)

どこ

(で、へ、に、から、まで、…)

だれ

(に、と、を、…)

なに

(を、が、に、と、…)

どう、どの、  
どんな、どちら

(～、を、に、が、…)

～たら いいですか。



## (疑問詞＋た形(たら)＋いいですか)



ワンさん、パソコンを 買いたいんですが、  
どれを 買ったらいいいですか。



〔わたし〕

パソコンを <sup>か</sup> 買いたいです。  
どれがいいですか。わかりません。  
ワンさんは <sup>し</sup> パソコンのことを よく知っています。  
ワンさんに <sup>き</sup> 聞きます。



〔ワンさん〕

⇒ パソコンを <sup>か</sup> 買いたいんですが、 <sup>か</sup> どれを 買ったら いいですか。



例： パスポートをなくしました・どう

→ どうしたらいいですか

1: <sup>さくら み</sup>  
桜を見たいです・どこ

→ <sup>い</sup>  
どこへ行ったらいいですか

2: <sup>けいたい でんわ か</sup>  
携帯電話を買います・どんな

→ <sup>けいたい でんわ か</sup>  
どんな携帯電話を買ったらいいですか

3: <sup>しょう どう なら</sup>  
書道を習いたいです・だれ

→ <sup>い</sup>  
だれに言ったらいいですか

4: <sup>きんかくじ い</sup>  
金閣寺へ行きます・どう

→ <sup>い</sup>  
どう行ったらいいですか

5: <sup>かね だ</sup>  
お金を出します・どのボタンを

→ <sup>お</sup>  
どのボタンを押したらいいですか

6: <sup>ほっかいどう りょこう</sup>  
北海道を旅行します・いつ

→ <sup>い</sup>  
いつ行ったらいいですか

7: <sup>こいびと なん</sup>  
恋人にプロポーズします・何と

→ <sup>い</sup>  
なんと行ったらいいですか

8: <sup>かんが</sup>  
みなさんで考えてください。

→



( ていただきます・ てくださいます・ てやります )

行為の受給を表す動詞の「～てもらいます」「～てくれます」「～てあげます」に対応する、尊敬や目下に対する待遇表現。

<～てもらいます> ⇨ <～ていただきます>

<～てくれます> ⇨ <～てくださいます>

~~~~~

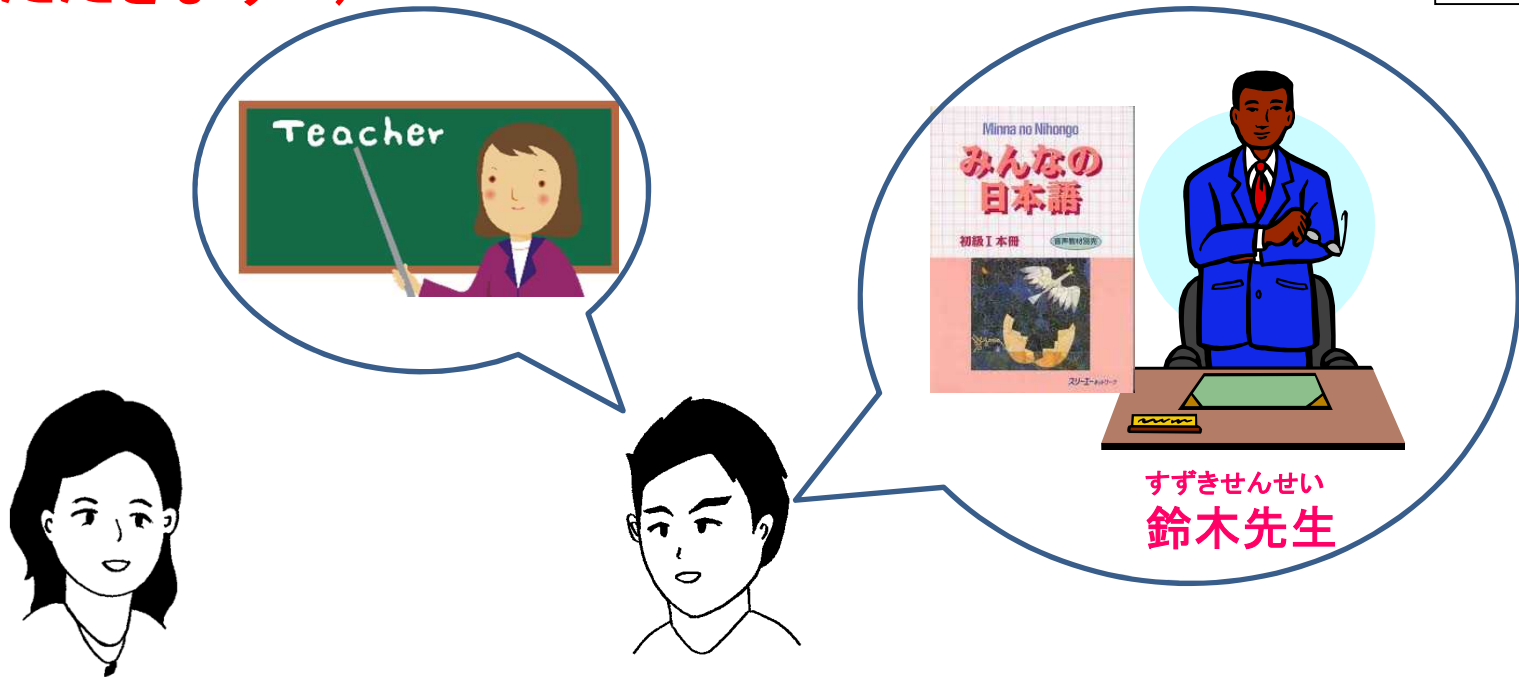
<～てあげます> ⇨ <～てやります>

Vて形 + {  
いただきます  
くださいます  
やります



( てください )

導入2



A: だれに <sup>えいご</sup> 英語を <sup>おし</sup> 教えてもらいましたか。

B: <sup>あね</sup> 姉に <sup>おし</sup> 教えてもらいました。

A: <sup>にほんご</sup> 日本語は だれに <sup>おし</sup> 教えてもらいましたか。

B: <sup>すずきせんせい</sup> 鈴木先生に <sup>おし</sup> 教えてもらいました。

➡ <sup>おし</sup> 教えて いただきました。



A: 大学には <sup>だいがく</sup> だれに <sup>つ</sup> 連れて行ってもらいましたか。

B: 友達に <sup>ともだち</sup> 連れて行ってもらいました。

A: 大学の中は <sup>だいがく</sup> なか <sup>あんない</sup> だれに 案内してもらいましたか。

B: <sup>きょうじゅ</sup> 教授に <sup>あんない</sup> 案内してもらいました。

↳ <sup>あんない</sup> 案内して いただきました。

A: 会社の人に <sup>かいしゃ</sup> <sup>ひと</sup> レポートを <sup>てつだ</sup> 手伝ってもらいました。

B: 資料は？  
<sup>しりょう</sup>

A: <sup>ぶちょう</sup> 部長に <sup>か</sup> 貸してもらいました。

↳ <sup>か</sup> 貸して いただきました。



わたしは <sup>ぶちょう</sup>部長に <sup>しりょう</sup>資料を <sup>か</sup>貸して いただきました。

<sup>こうじょう</sup>工場を <sup>あんない</sup>案内して

<sup>いえ</sup>家まで <sup>おく</sup>送って



〔言ってください〕



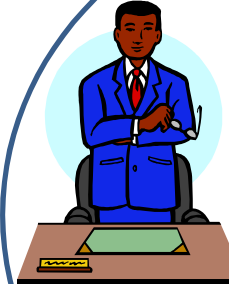
兄



家族



友達



先生



部長



教授



CDを貸します

日本語を教えます

家まで送ります

てもらいました。

ていただきました。

大学を案内します

資料を見せます

レポートを手伝います

彼女を紹介します

やり方を説明します

みなさんで考えてください

お金を払います

( てくださいます )



わたしは <sup>じこ</sup>事故で けがをしてしまいました。

<sup>にゆういん</sup>入院しているとき <sup>ひと</sup>たくさんの人が <sup>みま</sup>見舞いに <sup>き</sup>来て くれました。

<sup>かいしゃ</sup>会社や <sup>だいがく</sup>大学の友達 <sup>ともだち</sup>が <sup>き</sup>来てくれました。

<sup>せんせい</sup>先生も <sup>き</sup>来てくれました。 ➡ 来てくれました。

A: 大学には だいがく だれが つ い 連れて行ってくれましたか。

B: 友達が ともだち 連れて行ってくれました。

A: 大学の中は だいがく なか だれが あんない 案内してくれましたか。

B: 教授が きょうじゅ 案内してくれました。

↳ あんない 案内して くださいました。

A: 出張の予定は しゅつちよう よてい だれが せつめい 説明してくれましたか。

B: 部長が ぶちよう 説明してくれました。

↳ せつめい 説明して くださいました。



せんせい  
先生が

み ま き  
見舞いに 来て

くださいました。

か かた せつめい  
書き方を 説明して

しりょう か  
資料を 貸して



〔言ってください〕



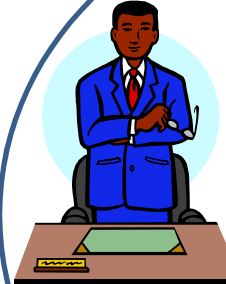
兄



家族



友達



先生



部長



教授



CDを貸します

日本語を教えます

家まで送ります

てくれました。

てくださいました。

大学を案内します

資料を見せます

レポートを手伝います

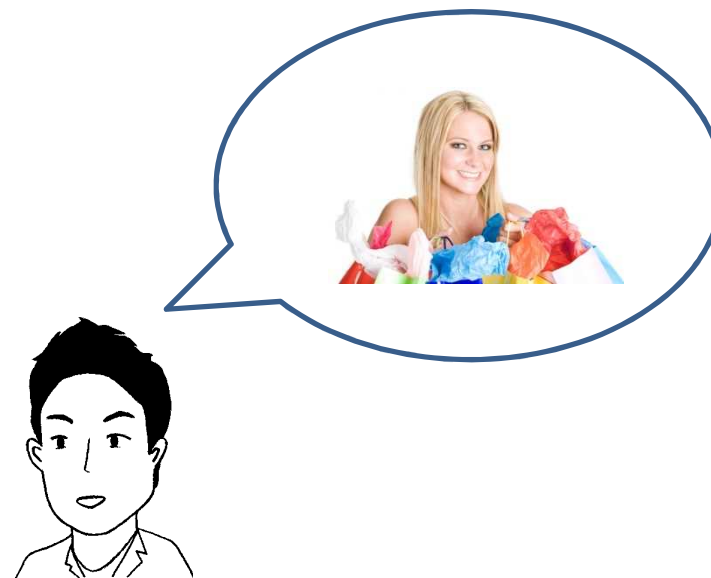
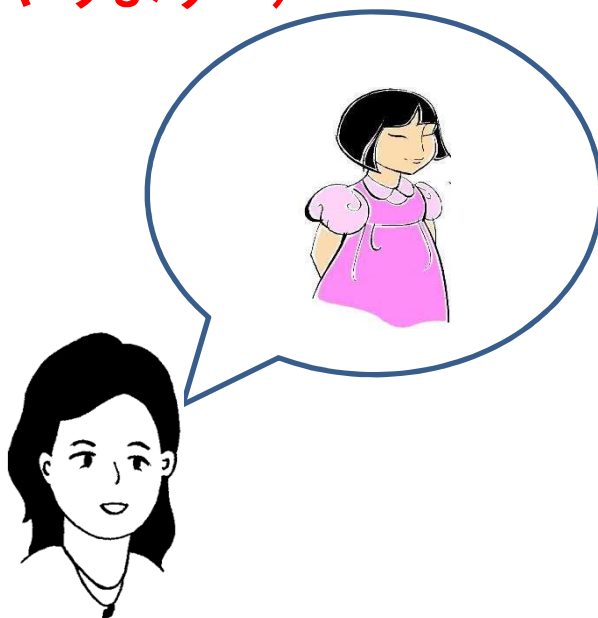
彼女を紹介します

やり方を説明します

みなさんで考えてください

お金を払います

( てやります )



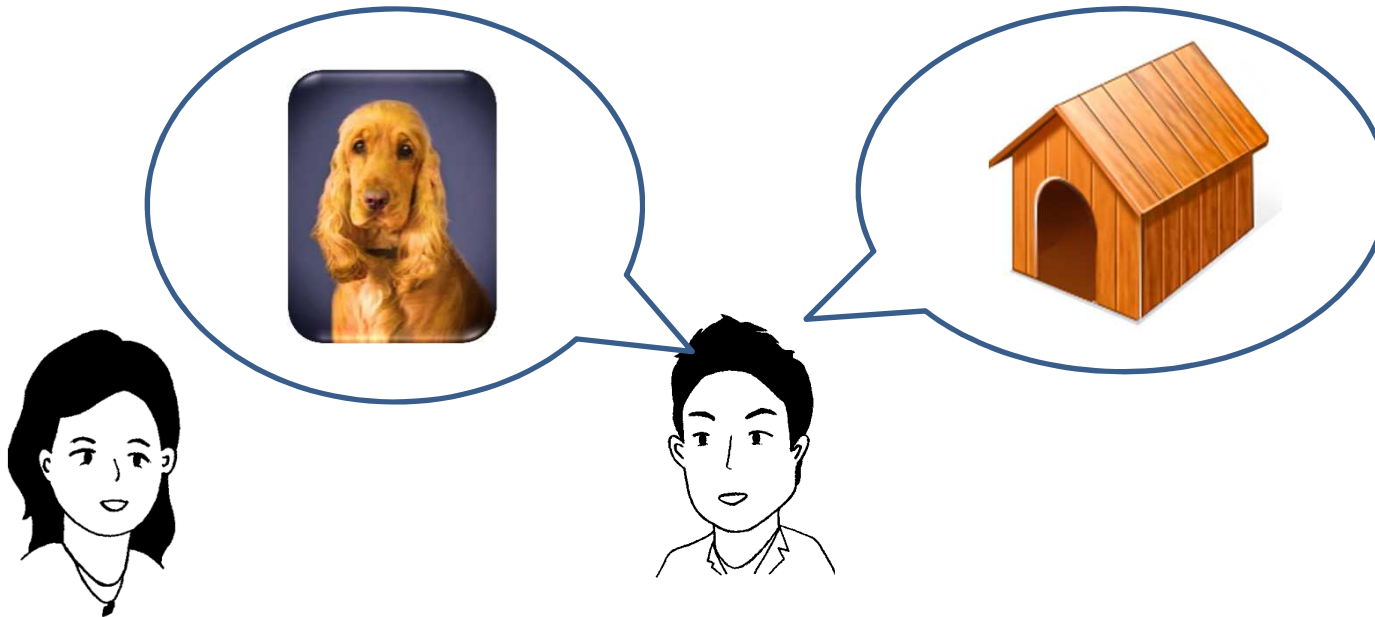
A: こ どもさんの たんじょうび なに 何をしてあげますか。

B: す 好きなものを か 買ってあげます。

↳ か 買って やります。

( てやります )

導入7



わたしは <sup>いぬ</sup>犬を <sup>か</sup>飼っています。

でも、<sup>いぬごや</sup>犬小屋が ありませんでした。

きのう <sup>いぬごや</sup>犬小屋を <sup>つく</sup>作ってあげました。

→ <sup>つく</sup>作って やりました。





こ こ  
子どもに

す か  
好きなものを 買って

やりました。

こ  
いもうとに

えいご おし  
英語を 教えて

いぬ こ  
犬を

こうえん つ い  
公園へ 連れて行って



例: <sup>いもうと</sup>妹の <sup>しゅくだい</sup>宿題を <sup>てつだ</sup>手伝いました。

➤ <sup>いもうと</sup>わたしは <sup>しゅくだい</sup>妹の <sup>てつだ</sup>宿題を 手伝ってやりました。

1: <sup>むすこ</sup>息子に <sup>けいたいでんわ</sup>携帯電話を <sup>か</sup>買いました。

➤ <sup>むすこ</sup>わたしは <sup>けいたいでんわ</sup>息子に 携帯電話を 買ってやりました。

2: <sup>まご</sup>孫に <sup>ほん</sup>アニメの 本を <sup>おく</sup>送りました。

➤ <sup>まご</sup>わたしは <sup>ほん</sup>孫に <sup>おく</sup>アニメの 本を 送ってやりました。

3: <sup>おとうと</sup>弟に <sup>おし</sup>ギターを 教えます。

➤ <sup>おとうと</sup>わたしは <sup>おし</sup>弟に ギターを 教えてやります。

4: <sup>こ</sup>子どもの <sup>へや</sup>部屋を <sup>そうじ</sup>掃除しました。

➤ <sup>こ</sup>わたしは <sup>へや</sup>子どもの 部屋を 掃除してやりました。

5: <sup>いぬ</sup>犬を <sup>こうえん</sup>公園へ <sup>つ</sup>連れて行きます。

➤ <sup>いぬ</sup>わたしは <sup>こうえん</sup>犬を 公園へ 連れて行ってやります。



## (～てくださいませんか)

依頼表現として「～てください」(ⅡB3)「～ていただけませんか」(VC～この課)を提出した。

「～てくださいませんか」は目上の人やあまり親しくない人への非常に丁寧な依頼表現である。

(～てください)



<とてもていねい>に



(～ていただけませんか)



(～てくださいませんか)

Vて形 + くださいますか



(～てくださいませんか)



プリンターの <sup>つか かた</sup> 使い方の <sup>せつめいしょ</sup> 説明書が あります。

<sup>かんじ</sup> 漢字が <sup>たくさん</sup> たくさん あります。

<sup>かんじ</sup> 漢字の <sup>よ かた</sup> 読み方が わかりません。

<sup>かいしゃ ひと き</sup> 会社の人に 聞きます。



すみません。漢字の <sup>かんじ</sup> 漢字の <sup>よ かた</sup> 読み方が わからないんですが、<sup>おし</sup> 教えてください。

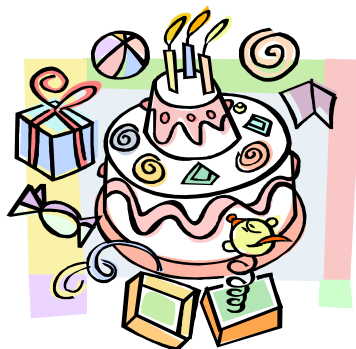
<sup>かちょう き</sup> 課長に 聞きます。



すみません。漢字の <sup>かんじ</sup> 漢字の <sup>よ かた</sup> 読み方が わからないんですが、<sup>おし</sup> 教えていただけませんか。



<sup>おし</sup> 教えて てくださいませんか。



どうぶ  
土曜日に パーティーを します。

せんせい さそ  
先生を 誘います。



せんせい いそが  
＜先生は とても 忙しいです。＞

⇒ 「せんせい どうぶ  
先生、土曜日の パーティーに しゅっせき  
出席していただけますか。」

⇒ 「せんせい どうぶ  
先生、土曜日の パーティーに しゅっせき  
出席していただけますか。」

かんじ      よ      かた  
漢字の 読み方を

おし  
教えて

くださいますか。

どようび      しゅっせき  
土曜日の パーティーに 出席して

しりょう  
資料を

か  
貸して



# 「言ってください」

れい      しやくしょ      まどぐち      かか      ひと      はなし      はや  
例： 市役所の窓口で係りの人の話が早かったです。

すこ      はな  
『もう少し ゆっくり話します。』

➡ 「もう少し ゆっくり話していただけますか。」

えき      あんないじょ  
1: 駅の案内所で。

としょかん      い      ちず      か  
『図書館へ行きたいです。地図を 書きます。』

➡ 「図書館へ行きたいです。地図を 書いていただけますか。」

ぶちょう  
2: 部長に。

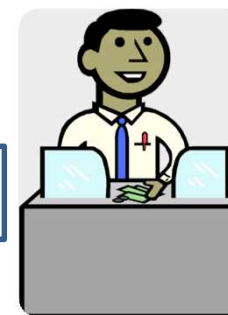
み  
『すみませんが、レポートを 見ます。』

➡ 「すみませんが、レポートを 見ていただけますか。」

でんし      じしょ      か      せんせい  
3: 電子辞書を買います。先生に。

でんしじしょ      おし  
『いい電子辞書を 教えます。』

➡ 「いい電子辞書を 教えてくださいませんか。」



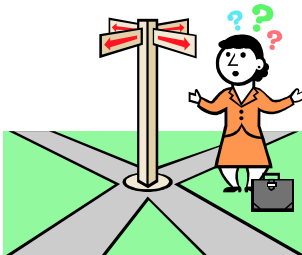


おわり

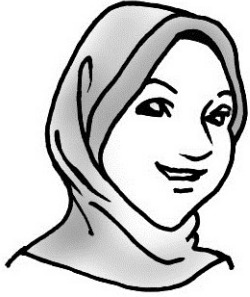


# くらしのにほんご とよなか VI. 防災A

かじ ば あい ばん  
「火事の場合は119番」



会話 A1



まつい                      へ や  
《 松井さんの部屋で 》

♪ウ～ウ～ (サイレンの音)  
おと

ハスナ : なに おと き                      なん おと  
何か音が聞こえますね。あれは何の音で

まつい                      しょうぼうしゃ  
松井 : あれは 消防車ですよ。

しょうぼうしゃ  
ハスナ : 消防車？

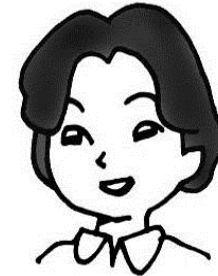
まつい                      か じ                      ひ      け      くるま  
松井 : 火事的时候、火を消す車です。どこかしら

まど      あ                      おと  
♪ガラガラガラ (窓を開ける音)

ハスナ : あ、あそこに 煙が見えますよ。  
けむり      み

まつい                      ほんとう                      ちか  
松井 : あ、本当ですね。近いですね。

ハスナ : こわいですね。



## 会話 A 2

### 《 松井さんの部屋で 》

ハスナ : 日本では 消防車の電話は 何番ですか。



松井 : 119番ですよ。

ハスナ : 119番ですね。

松井 : 救急車も 119番で呼べますよ。

ハスナ : 救急車は 病気のとくに 呼ぶ車ですね。

松井 : そうです。

ハスナ : でも、同じ番号では、間違えませんか。

松井 : 最初に、「火事ですか、救急ですか」と聞

火事の場合は「火事です」、

病気やけがの場合は「救急です」と答えま



会話 A3

《 松井さんの部屋で 》



ハスナ : ほかに、覚えておくとい<sup>おほ</sup>い電話番<sup>でんわばんごう</sup>号は ありますか？

まつい  
松井 : そうですね。・・・ハスナさん、「ひやくとお<sup>し</sup>おばん」って知っていますか。

ハスナ : ひやくと・・・、何<sup>なん</sup>ですか。

まつい ひやくとおばん ばん  
松井 : 百<sup>ひゃく</sup>十<sup>じゅう</sup>番<sup>ばん</sup>です。110番のことです。

ハスナ : あ、警<sup>けい</sup>察<sup>さつ</sup>ですね。

まつい  
松井 : 「ひやくじゅうばん」や「いちいちぜろばん」より 言いやすいでしょう。

ハスナ : 「ひやくとお・・・」 う～ん……。いいえ、いいにくいです。

でも、大<sup>だい</sup>丈<sup>じょう</sup>夫<sup>ぶ</sup>です、覚<sup>おほ</sup>えました。



## 会話 A1

### 《 松井さんの部屋で 》



♪ウ～ウ～（サイレンの音）  
おと

ハスナ： 何か音が聞こえますね。あれは何の音ですか。  
なに おと き なん おと

松井： あれは 消防車ですよ。  
まつい しょうぼうしゃ

ハスナ： 消防車？  
しょうぼうしゃ

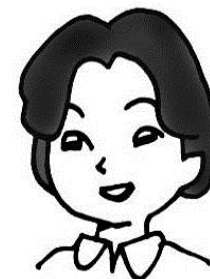
松井： 火事的时候、火を消す車です。どこかしら。  
まつい か じ ひ け くるま

♪ガラガラガラ（窓を開ける音）  
まど あ おと

ハスナ： あ、あそこに煙が見えますよ。  
けむり み

松井： あ、本当ですね。近いですね。  
まついほんとう ちか

ハスナ： こわいですね。



～が見えます／聞こえます

➡ [ス9]

## 会話 A 2

### 《 松井さんの部屋で 》

ハスナ : 日本では 消防車の電話は 何番ですか。

松井 : 119番ですよ。

ハスナ : 119番ですね。

松井 : 救急車も 119番で呼べますよ。

ハスナ : 救急車は 病気のときに 呼ぶ車ですね。

松井 : そうです。

ハスナ : でも、同じ番号では、間違えませんか。

松井 : 最初に、「火事ですか、救急ですか」と聞きますから、

火事の場合は「火事です」、

病気やけがの場合は「救急です」と答えます。



～(の)場合は



[ス16]

会話 A3

まつい                      へ や  
《 松井さんの部屋で 》



ハスナ : ほかに、覚えておく<sup>おぼ</sup>とい<sup>い</sup>い電話番号<sup>でんわばんごう</sup>は ありますか？

まつい  
松井 : そうですね。・・・ハスナさん、「ひゃくとおばん<sup>し</sup>」って知っていますか。

ハスナ : ひゃくと・・・、何<sup>なん</sup>ですか。

まつい                      ひゃくとおばん                      ばん  
松井 : 百十番です。110番<sup>ばん</sup>のこと<sup>い</sup>です。

ハスナ : あ、警察<sup>けいさつ</sup>ですね。

まつい  
松井 : 「ひゃくじゅうばん」や 「いちいちぜろばん」より 言<sup>い</sup>いやすい<sup>い</sup>でしょう。

ハスナ : 「ひゃくとお・・・」 う～ん・・・。いいえ、言<sup>い</sup>いに<sup>い</sup>くいです。

でも、大丈夫<sup>だいじょうぶ</sup>です、覚え<sup>おぼ</sup>えました。

～ておく



[ス21]

～のことです



[ス29]

～やすい／～にくい



[ス31]





「見る」「聞く」の可能形の「見られる」「聞ける」は、条件が整ったら、動作主が見る、聞くことができるという意味、

可能動詞の「見える」「聞こえる」はそのものが見る、聞くことができる状態にあり、自然に目に入る、耳に入るということを表します。

例)このテレビでBSが見られます。この店ではジャズが聞けます。

例)窓の外に海が見えます。隣の部屋から音楽が聞こえます。



み  
見えます

導入



うみ み  
海が見えます。



にじ み  
虹が見えます。



ふじさん み  
富士山が見えます。



なに み  
何も見えません。



～から～が見えます



ホテルの部屋から海が見えます。



窓から山が見えます。



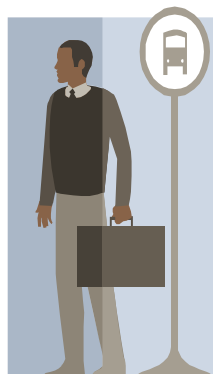
わたしの家から公園が見えます。



# ～に～が見えます



とお やま み  
遠くに山が見えます



てい み  
あそこにバス停が見えます



そら にじ み  
空に虹が見えます



かわ む まち み  
川の向こうに町が見えます



たても の う え ひ み  
建物の上に火が見えます



やま う え けむり み  
山の上に煙が見えます



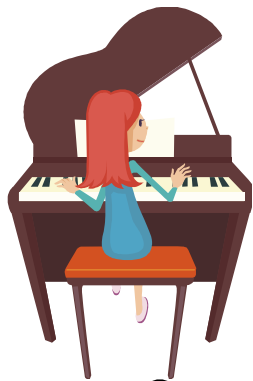
き  
聞こえます



とり     こえ    き  
鳥の音が聞こえます。



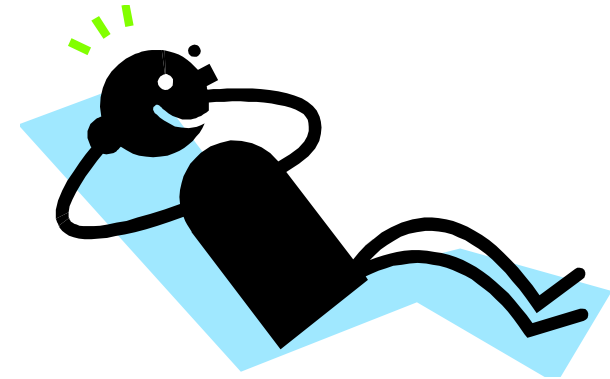
でんわ    おと    き  
電話の音が聞こえます。



おと    き  
ピアノの音が聞こえます。



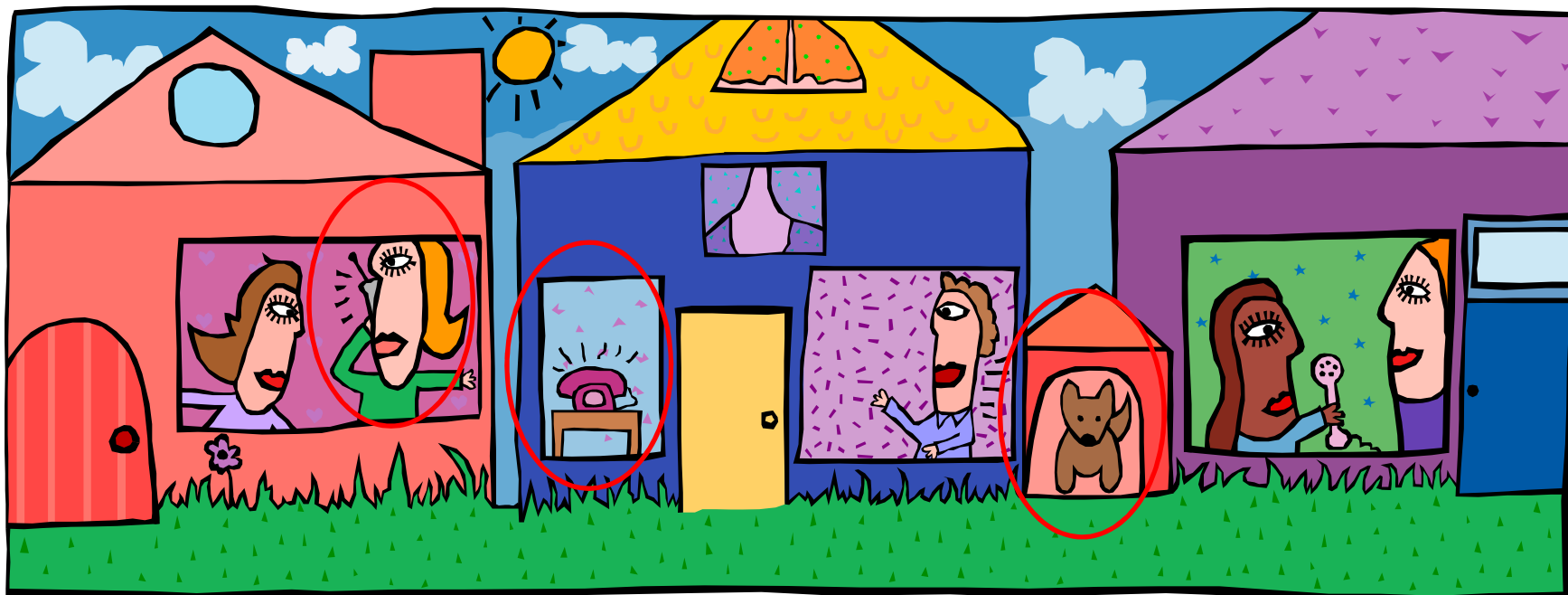
き  
よく聞こえません。



れんしゅう



なに き  
何が聞こえますか？



おんな ひと こえ き

女の人の声が聞こえます

でんわ おと き

電話の音が聞こえます

いぬ こえ き

犬の声が聞こえます

# れんしゅう



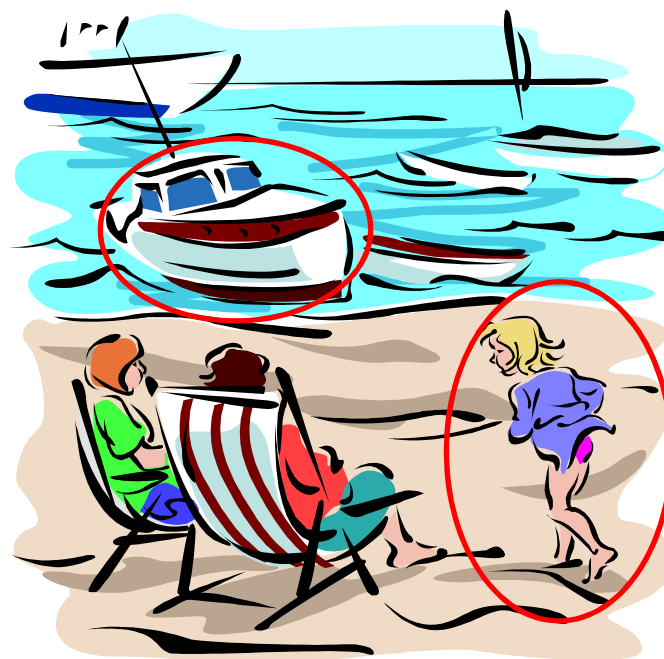
なに み  
何が見えますか？



ケーキが見えます

飲み物が見えます

プレゼントが見えます



ふね み  
船が見えます

おんな こ み  
女の子が見えます

～場合は

教師用メモ

「～場合(は)」は何か対処しなければならないことが起きたときにどうするかということを言うときに使います。

例) 火事の場合は119番に電話します。

休む場合はその日の朝までに電話をしてください。





ばあい  
～場合(は)

こんなとき  
どうしたらいいですか？



かじ      ばあい      ばん      でんわ  
火事の場合は 119番に電話します。



ねつ   たか      ばあい      くすり   の  
熱が高い場合はこの薬を飲んでください。



かいしゃ   やす      ばあい      じょうし      れんらく  
会社を休む場合は上司に連絡します。

かいしゃ  
会社を

けんがく  
見学に

もんだい  
問題が

ちょうし  
調子が

しゅうり  
修理が

やす  
休む

さんか  
参加できない

お  
起きた

わる  
悪い

ひつよう  
必要な

ちゅうし  
中止の

ば あい  
場合は、

でんわ  
電話して ください。



れんしゅう

どうしますか？

かぜ  
風邪をひいた

ばあい  
場合は

びょういん い  
病院へ行きます

クレジットカードをなくした

ぎんこう れんらく  
銀行に連絡します

でんしゃ ま あ  
電車に間に合わなかった

い  
タクシーで行きます

かね た  
お金が足りない

つか  
クレジットカードを使います

じしん お  
地震が起きた

つくえ した はい  
机の下に入ってください

みち  
道がわからな

こうばん き  
交番で聞きます

としょかん りよう  
図書館を利用する

ひつよう  
カードが必要です

# れんしゅう

みぎ ぶん ひだり ぶん

ばあい

ぶん つく

右の文と左の文をうまくつないで、「～場合は、～」という文を作ってください。

くるま うんてん さけ の  
例) 車を運転します + お酒を飲んではいけません

くるま うんてん ばあい さけ の  
→ 車を運転する場合は、お酒を飲んではいけません。

くるま うんてん  
車を 運転します

けいほう で  
警報が 出ました

つ ごう わる  
都合が 悪いです

あつ  
暑いです

ひろ へや ひつよう  
広い 部屋が 必要です

きかい おと へん  
機械の 音が 変です

あめ  
雨です

おお かいぎしつ つか  
大きい会議室を 使います。

さけ の  
お酒を 飲んではいけません。

うんどうかい ちゅうし  
運動会を 中止します。

エアコンを つけます。

む り  
無理しないでください。

つか  
使わないでください。

がっこう やす  
学校は 休みになります。

ば あい  
場合は、

## ～ておく

「～ておく」には3つの用法があります。

①何かの目的のための準備

例)パーティーの前に飲み物を買っておきます。

②何かが終わった後にする

例)パーティーが終わったら部屋をかたづけておいてください。

みんなが部屋を出たら電気を消しておいてください。

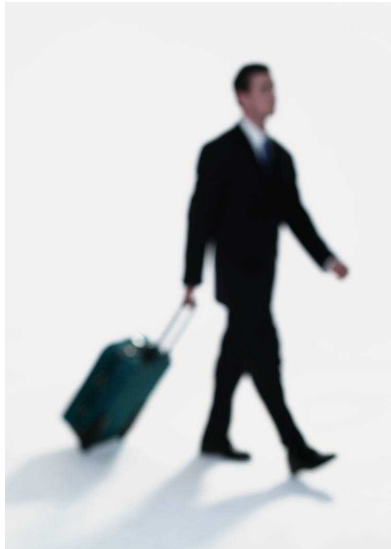
③今ある状態をそのままにしておく

例)エアコンは消さないでつけておいてください。

机は元にもどさないでそのままにしておいてください。



## ～ておく①



きょう なに  
今日何を  
しますか

とうきょう しゅっちょう  
あした東京へ出張です。

でんしゃ じかん しら  
電車の時間を調べておきます。

しんかんせん きっぷ か  
新幹線の切符を買っておきます。

よやく  
ホテルを予約しておきます。

にもつ じゅんび  
荷物を準備しておきます。

れんしゅう

しゅっちょ まえ  
出張の前に

でんしゃ じかん しら  
電車の時間を調べておきます。

しんかんせん きっぷ か  
新幹線の切符を買っておきます。

よやく  
ホテルを予約しておきます。

にもつ じゅんび  
荷物を準備しておきます。

なに  
それから何をしますか。  
かんが  
考えましょう。

かいぎ まえ  
会議の前に

しりょう  
資料をコピーしておきます。

じゅんび  
パソコンを準備しておきます。

つくえ なら  
机を並べておきます。

エアコンをつけしておきます。

なに  
それから何をしますか。  
かんが  
考えましょう。

タスク

なに  
何をしておきますか？

まえ  
パーティーの前に



まえ  
テストの前に





## ～ておく②

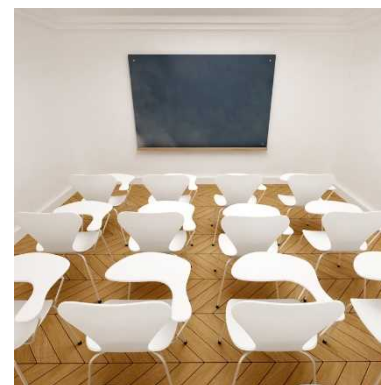
導入



パーティーが終わったら  
部屋をかたづけておいてください。



かいぎ  
会議のあとは



もと  
いすを元にもどしておいてください

れんしゅう

かいぎしつ    つか  
会議室を使ったあと、どうしますか。

つか  
コップを使ったら

あら  
洗っておきます

でんげん  
パソコンの電源を

き  
切っておきます

ゴミがあったら

す  
捨てておきます

つくえ  
机といすを

もと  
元にもどしておきます

へや    で  
みんなが部屋を出たら

でんき    け  
電気を消しておきます

へや  
部屋のかぎを

かけておきます

## ～ておきます③

導入



まど し  
A: 窓を閉めてもいいですか。

まど あ  
B: 窓は開けておいてください。

くうき わる  
ちょっと空気が悪いですから。



A: いすはかたづけますか。

B: いすはそのままにしておいてください。

つぎ かいぎ つか  
次の会議でも使いますから。



## れんしゅう

<sup>まど</sup> <sup>し</sup>  
A: 窓を閉めてもいいですか。

<sup>あつ</sup> <sup>あ</sup>  
B: 暑いですから、開けておいてください。

A: パソコンをかたづけてもいいですか。

<sup>つか</sup> <sup>だ</sup>  
B: まだ使いますから、出しておいてください。

<sup>じ む し ょ</sup> <sup>かえ</sup>  
A: ペンは事務所に返しておきましょうか。

<sup>あと</sup> <sup>つか</sup>  
B: 後で使いますから そのままにしておいてください。

<sup>ちゃ</sup>  
A: 茶わんをかたづけてもいいですか。

<sup>ちゃ</sup>  
B: まだお茶がのこっていますから、そこにおいておいてください。

## ～とは～のことです

## 教師用メモ

「(～とは)～のことです」はことばを言いかえるときに使います。  
「(～とは／～というのは)～という意味です」は文で説明するときにも使えますが、  
「～のことです」は名詞で言いかえるときにしか使えません。  
例) ペットとはかわいがるために飼う動物のことです。  
満員というのは人がこれ以上入れないという意味です。



## (～とは)～のことです

「ひゃくとおばん」とは110番のことです。

かいがい がいこく  
海外とは外国のことです。

スマホとはスマートフォンのことです。

ち か                      ち か      う      ば  
デパ地下とはデパートの地下の売り場のことです。



「～やすい／～にくい」には

- ①何かをするのがやさしい、簡単だ(「～にくい」は難しい)という意味と、
- ②そのような状態によくなる、簡単になる(「～にくい」はなかなかならない)、という意味があります。

例①この字は大きくて見やすいです。このコピーは字が薄くて見にくいです。

例②雨の日はろうかが滑りやすいです。雨の日は洗濯物が乾きにくいです。



## ～やすい／～にくい①

導入



このくつは はきやすいです。



このくつは はきにくいです。



このくつは <sup>ある</sup>歩きやすいです。



このくつは <sup>ある</sup>歩きにくいです。



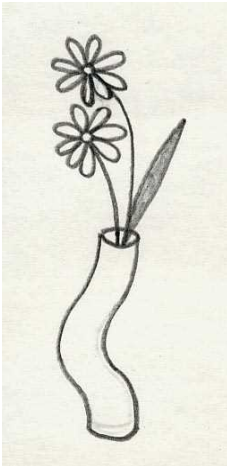




か  
書きます→

か  
書きやすいです

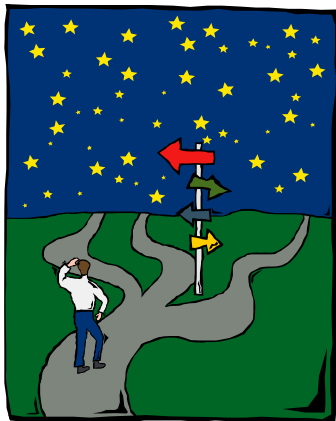
か  
このえんぴつは書きやすいです。



あら  
洗います→

あら  
洗いにくいです

あら  
この花びんは洗いにくいです。



わかります→

わかりにくいです

みち  
この道はわかりにくいです。



## れんしゅう

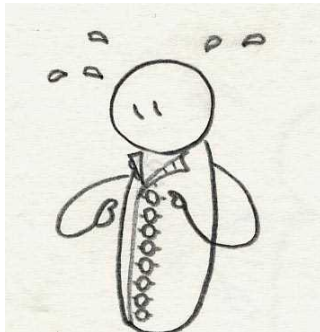


このパソコンは簡単です

つか  
使います→

つか  
使いやすいです

このパソコンは簡単で、使いやすいです。



この服はボタンが多いです

ぬ  
脱ぎます→

ぬ  
脱ぎにくいです

この服はボタンが多くて、脱ぎにくいです。



このお酒はあまいです

の  
飲みます→

の  
飲みやすいです

このお酒はあまくて、飲みやすいです

## ～やすい／～にくい②

導入



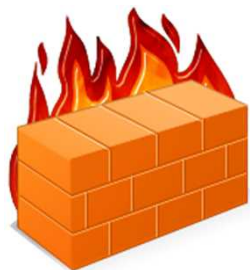
このグラスは <sup>わ</sup>割れやすいです。



このグラスは <sup>わ</sup>割れにくいです。



カーテンは <sup>も</sup>燃えやすいです。



レンガは <sup>も</sup>燃えにくいです。



# れんしゅう①



すべります→

すべりやすいです



まちが  
間違えます→

間違いやすいです



こわ  
壊れます→

こわ  
壊れにくいです



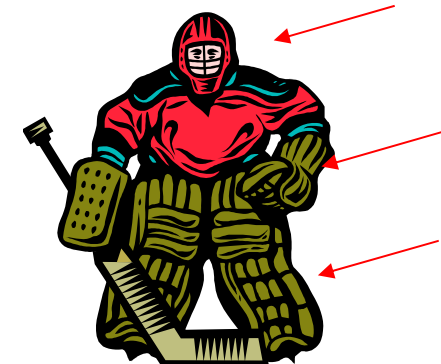
かわきます→

かわきやすいです



こしょう  
故障します→

こしょう  
故障しやすいです



けがをします→

けがをしにくいです



れんしゅう②

～やすい?～にくい?

このコップは丈夫じょうぶですから

割れわにくいです

やぶ  
破れます

この地図ちずは詳しいくわですから

わかりやすいです

このセーターは薄いうすですから

割れわます  
破れやぶやすいです

このえんぴつは短くみじかて

わかります  
書きかにくいです

コピーが薄くうすて

み  
見ます

み  
見にくいです

か  
書きます



じょうほう

## 情報コーナー

きんきゅう でんわ ばんごう

## 緊急電話番号

けいさつ

警察

こうつう じ こ

どろぼう、交通事故など

110

しょうぼうしょ

消防署

か じ  
火 事

119

けが、びょうき 病気

かいじょうほあんちょう

海上保安庁

うみ

じ こ

海での事故

118

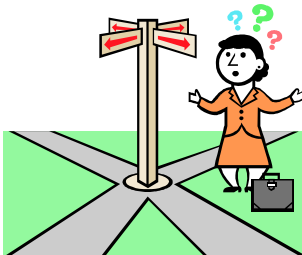


おわり



# くらしのにほんご とよなか VII. 訪問 A

かし か  
「お菓子もジュースもたくさん買っています。」





会話 A1-1

《 イルマの幼稚園の友達の家 》  
ようちえん　ともだち　いえ



ハスナ : こんにちは。



イルマ : こんにちは。

さとう  
佐藤 : あ、ハスナさん、イルマちゃん、いらっしやい。

きょう　よ  
ハスナ : 今日は呼んでいただいてありがとうございます。

佐藤 : いいえ、こちらこそ。

たんじょう　き  
みゆきの誕生パーティーに来てくれてありがとう。

き  
どうぞ。みんな来ていますよ。



ハスナ : おじゃまします。

たんじょうび  
イルマ : みゆきちゃん、お誕生日おめでとう。はい、こゝ

あ  
みゆき : ありがとう。開けてもいい？

イルマ : いいよ。



会話 A1-2

《 イルマの幼稚園の友達の家 》  
ようちえん    ともだち    いえ

ハスナ : 佐藤さん、日本では プレゼントは もらったら す  
いいですか。



佐藤 : うーん、昔の人は 開けてはいけないと 言った  
いま  
今は いいみたいよ。

ハスナ : そうですか。

インドネシアでも、プレゼントはすぐ開けないのが  
わたし あ  
でも、私は開けたいですけど。

佐藤 : よかった。私もそうよ。



会話 A-2

《 イルマの幼稚園の友達の家 》

ハスナ : わあ、おいしそうな料理が <sup>りょうり</sup>たくさんありますね。

佐藤 <sup>さとう</sup> : みんな色々なものを <sup>いろいろ</sup> <sup>も</sup>持ってきてくれたの。

これはアキちゃんのお母さん、

これは <sup>くん</sup>ひろと君のお父さんが <sup>とう</sup> <sup>つく</sup>作ったのよ。

ハスナ : <sup>わたし</sup>私もインドネシア料理を <sup>りょうり</sup> <sup>つく</sup> <sup>も</sup>作って持ってきました。

みんなのお口に合うといいけど。

佐藤 <sup>さとう</sup> : じゃあ、 <sup>さら</sup> <sup>も</sup>お皿を 持ってくるわね。

ハスナ : この瓶に <sup>びん</sup> <sup>はい</sup>ソースが 入っています。 <sup>りょうり</sup>料理にかけ

佐藤 <sup>さとう</sup> : じゃあ、はじめましょう。 <sup>かし</sup>お菓子もジュースも

<sup>か</sup>たくさん買ってあるから、 <sup>た</sup>たくさん食べてね。



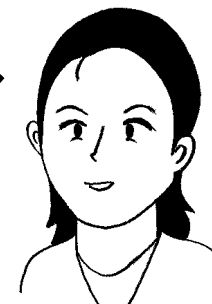
会話 A1-2

《 イルマの幼稚園の友達の家 》  
ようちえん    ともだち    いえ

ハスナ : 佐藤さん、日本では プレゼントは もらったら すぐ 開けても  
いいですか。



佐藤 : うーん、昔の人は 開けてはいけないと 言ったけれど、  
今は いいみたいよ。



ハスナ : そうですか。

インドネシアでも、プレゼントはすぐ開けないのがマナーです。

でも、私は開けたいですけど。

佐藤 : よかった。私もそうよ。

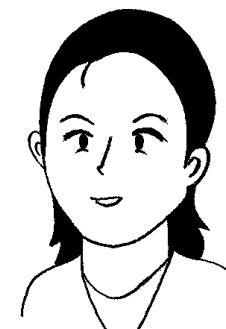
～のが／のは～です    ／のを～ます



[ス7]

会話 A-2

《 イルマの幼稚園の友達の家 》



ハスナ : わあ、おいしそうな料理が <sup>りょうり</sup>たくさんありますね。

佐藤 : みんな色々なものを <sup>も</sup>持ってきてくれたの。

これはアキちゃんのお母さん、

これは <sup>くん</sup>ひろと君のお父さんが <sup>つく</sup>作ったのよ。

ハスナ : 私もインドネシア料理を <sup>わたし</sup> <sup>りょうり</sup> <sup>つく</sup> <sup>も</sup>作って持ってきました。

みんなのお口に合うといいけど。

佐藤 : じゃあ、お皿を <sup>さら</sup> <sup>も</sup>持ってくるわね。

ハスナ : この瓶に <sup>びん</sup> <sup>はい</sup>ソースが <sup>りょうり</sup>入っています。料理にかけてください。

佐藤 : じゃあ、はじめましょう。お菓子もジュースも

たくさん <sup>か</sup>買ってあるから、たくさん <sup>た</sup>食べてね。

～が～ています／～は～ています



[ス26]

～てあります



[ス33]



(～のが)

導入1

スポーツが好きです



見るのが好きです

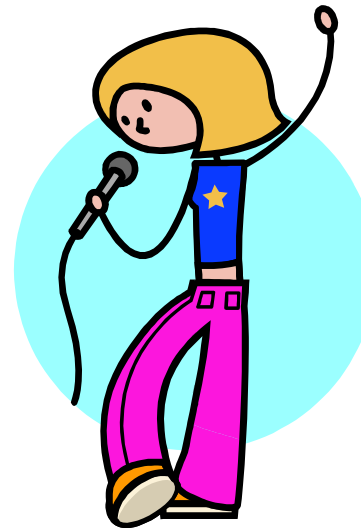


するのが好きです

音楽が好きです



聞くのが好きです



歌うのが好きです





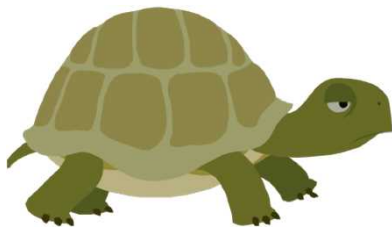
はなこ  
花子さんは  
つく  
ケーキを作るのが  
じょうず  
上手です。



こ  
よう子さんは  
りょうり つく  
料理を作るのが  
じょうず  
上手じゃないです。



やまだ ある はや  
山田さんは 歩くのが 速いです。



ある おそ  
カメは 歩くのが 遅いです。



わたしは スポーツを

み  
見る

の が

す  
好きです

うた  
歌を

うた  
歌う

へ た  
下手です

ある  
歩く

はや  
速いです

お  
起きる

おそ  
遅いです





じ　しよ　けい  
V(辞書形) のが

す  
好き  
きら  
嫌い  
じょうず  
上手  
へ た  
下手  
とく い  
得意  
にが て  
苦手  
はや  
速い  
おそ  
遅い  
⋮

です

れんしゅう



さけ の  
お酒を飲むのが

ひら  
パーティーを開くのが

ダンスをするのが

す  
好きです。

なに す  
あなたは何が好きですか。



え か  
絵を描きます



ほん よ  
本を読みます



そうじ  
掃除します



りょうり  
料理をします



た  
食べます



やま のぼ  
山に登ります

## インタビューをしましょう

なに　じょうず  
何が上手ですか。

|                | わたし | さん | さん | さん |
|----------------|-----|----|----|----|
| りょうり<br>料理     |     |    |    |    |
| はな<br>話す       |     |    |    |    |
| こ　あそ<br>子どもと遊ぶ |     |    |    |    |
| うそをつく          |     |    |    |    |



(～のは～です)

導入



うた うた  
歌を歌 うのは

たの  
楽しいです



おんせん はい  
温泉に入 るのは

き も  
気持ちがいいです



かんじ おぼ  
漢字を覚え るのは

たいへん  
大変です

どうし      じしょけい      けいようし  
動詞(辞書形) **のは** 形容詞です



## れんしゅう

みぎ ひだり むす ぶん つく  
右のことばと左のことばを結びつけて文を作しましょう。

れい ふろ はい  
例) お風呂に入ります

き も  
気持ちがいいです

ふ ろ はい き も  
お風呂に入るのは気持ちがいいです。

どうろ あそ  
道路で遊びます

たの  
楽しいです

とも しょくじ  
友だちと食事をします

き も  
気持ちがいいです

いちにち かんじ おぼ  
一日で漢字を100覚えます

たいへん  
大変です

がいこくご  
外国語でスピーチをします

からだ  
体にいいです

まいにち やさい た  
毎日野菜を食べます

むずか  
難しいです

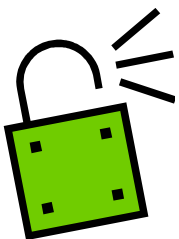
ふ ろ はい  
お風呂に入ります

あぶ  
危ないです

こ そだ  
子どもを育てます

むり  
無理です

(～のを～ます)



A: かぎをかけましたか。

B: あっ、<sup>わす</sup>忘れしました。

⇒Bさんはかぎをかけるの<sup>わす</sup>を忘れしました。



A: かさ<sup>も</sup>を持ってきましたか。

B: あっ、<sup>わす</sup>忘れしました。

⇒Bさんはかさ<sup>も</sup>を持ってくるの<sup>わす</sup>を忘れしました。



A: 宿題<sup>しゅくだい</sup>をしましたか。

B: あっ、<sup>わす</sup>忘れしました。

⇒Bさんは宿題<sup>しゅくだい</sup>をするの<sup>わす</sup>を忘れしました。

どうし    じしょ    けい                      わす  
動詞(辞書形)のを 忘れしました

し  
知っていますか。



## 導入2

きょう  
今日パーティーがあります。

きょう し  
今日パーティーがあるのを知っていますか。

でんしゃ じ こ  
電車の事故がありました。

でんしゃ じ こ し  
電車の事故があったのを知っていますか。

じんじゃ まつ  
神社でお祭りをしています。

じんじゃ まつ  
神社でお祭りをしているのを知っていますか。

あたな さかな やす  
新しいスーパーは魚が安いです。

あたな さかな やす  
新しいスーパーは魚が安いを知っていますか。

やました うた じょうず  
山下さんは歌が上手です。

やました うた じょうず  
山下さんは歌が上手<sup>な</sup>のを知っていますか。

やす  
あした休みです。

やす  
あした休み<sup>な</sup>のを知っていますか。

どうし ふつう けい

**動詞普通形**

けいようし ふつう けい

**い形容詞普通形**

けいようし

**な形容詞＋な**

めいし

**名詞＋な**

のを し 知っていますか。





普通、「知っていますか」の「いいえ」の場合の答えは「知りません」になります。

例) A: 山田さんのメールアドレスを知っていますか。

B: いいえ、知りません。

しかし、「～のを知っていますか」の「いいえ」の場合の答えは、「知りませんで  
した」になります。これは、その時点でもうその情報を手に入れてしまい、「知  
らない」ことが過去になるからです。

例) A: 今夜パーティーがあるのを知っていますか。

B: いいえ、知りませんでした。



## れんしゅう



A: 今日<sup>きょう</sup>パーティーがあるのを知<sup>し</sup>

B: いいえ、知<sup>し</sup>りませんでした。



A: 山田<sup>やまだ</sup>さんが結<sup>けっ</sup>婚<sup>こん</sup>したのを知<sup>し</sup>つ

B: いいえ、知<sup>し</sup>りませんでした。



A: 宋<sup>そう</sup>さんはカラオケが嫌<sup>きら</sup>いな

B: いいえ、知<sup>し</sup>りませんでした。



## (～のは～です)

### 導入

A: パーティーがあります。

B: いつですか。

A: 今日きょうの夕方ゆうがたです。

パーティーがあるのはいつですか。

パーティーがあるのは今日きょうの夕方ゆうがたです。

A: 事故じこがありました。

B: どこですか。

A: 駅前えきまえの交差点こうさてんです。

事故じこがあったのはどこですか。

事故じこがあったのは駅前えきまえの交差点こうさてんです。



どうし ふつうけい  
動詞普通形

けいようし  
い形容詞

けいようし  
な形容詞＋な

めいし  
名詞＋な

のは

いつ

どこ

だれ

どうして・なぜ

・

・

・

ですか。

どうし ふつうけい  
動詞普通形

けいようし  
い形容詞

けいようし  
な形容詞＋な

めいし  
名詞＋な

のは

めいし

名詞

めいし く

・名詞句

です。



ドリル

はじ  
パーティーが始まります。

いつ

はじ  
パーティーが始まるのはいつですか。

スピーチをします。

だれ

スピーチをするのはだれですか。

かいしゃ  
会社をやめます。

どうして

かいしゃ  
会社をやめるのはどうしてですか。

いちばん  
一番まじめです。

だれ

いちばん  
一番まじめなのはだれですか。

いそが  
忙しいです。

どうして

いそが  
忙しいのはどうしてですか。



「パーティーは午後6時に始まります」と「パーティーが始まるのは午後6時です」は内容は同じですが、「～のは～です」と言うと、情報の大切なところが強調されます。この文では「午後6時」という、始まる時間が大切な情報です。

また、「のは」の前の文の「は」は「が」になります。



ドリル

れい えきまえ こうさてん じ こ  
例) 駅前えきまえの交差点こうさてんで事故じこがありました。

⇒事故じこがあったのは駅前えきまえの交差点こうさてんです。

ご ご じ はじ  
パーティーは午後6時はじに始はじまります。

⇒パーティーが始はじまるのは午後6時ご ご じです。

わたし じ しんかんせん の  
私は7時じの新幹線しんかんせんに乘のります。

⇒私が乗わたし のるのは7時じの新幹線しんかんせんです。

むすめ す  
娘むすめはイチゴすのケーキが好すきです。

⇒娘むすめ すが好きなのはイチゴすのケーキです。

にほん がつ いちばん あつ  
日本にほんでは8月がが一番暑いいです。

⇒日本にほんでは一番暑いちばん あついのは8月がです。

そう た  
あそこそに宋さんたが立たっています。

⇒あそこたに立そうっているのは宋さんそうです。



ここで学習する「～ています」は前の動作の結果が残っている様子(状態)を表現する文型です。

例) 窓を開けました。今窓が開いています。

「窓を開けました」の「開ける」は他動詞、つまり、助詞「を」がついて、働きかける対象を持つ動詞ですが、「窓が開いています」の「開く」は自動詞、つまり働きかける対象を持たない動詞です。

「くつをはいています」「帽子をかぶっています」のように、他動詞でも動作の結果が残っている様子(状態)を表すことがあります。ここでは自動詞＋「～ています」の文を勉強します。

また、「開ける」「開く」「飛ぶ」「飛ばす」など自動詞・他動詞のペアがある動詞もありますが、「寝る」「(花が)咲く」など自動詞のみ、「食べる」「読む」など他動詞のみの動詞もあります。



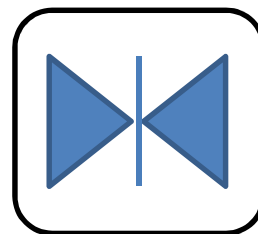
(～が～ています)

導入1

お  
リンゴが落ちます



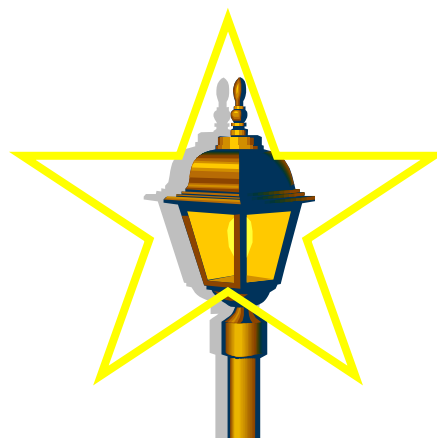
お  
リンゴが落ちています



し  
ドアが閉まります



し  
ドアが閉まっています



でんき  
電気がつきます



電気がついています



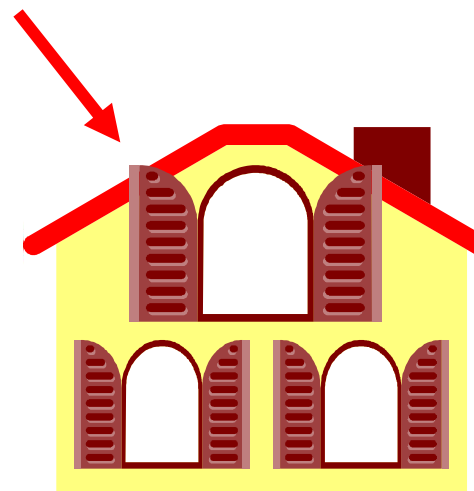


ひ  
火がついています

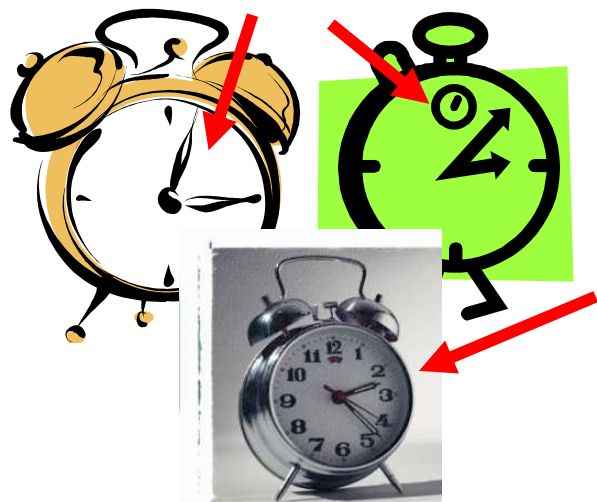
ひ き  
火が消えています



まど あ  
窓が開いています



まど し  
窓が閉まっています



とけい と  
時計が止まっています



くるま こしょう  
車が故障しています

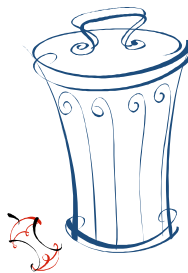


か  
かぎが掛かっています

ドリル



ひ  
火がついています。



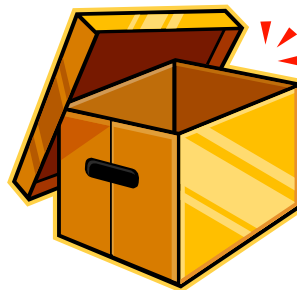
お  
ごみが落ちています。



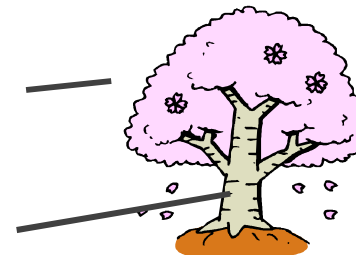
て よご  
手が汚れています。



ふく はい  
服が入っています。



あ  
ふたが開いています。



さくら さ  
桜が咲いています。



ポケットがついています。



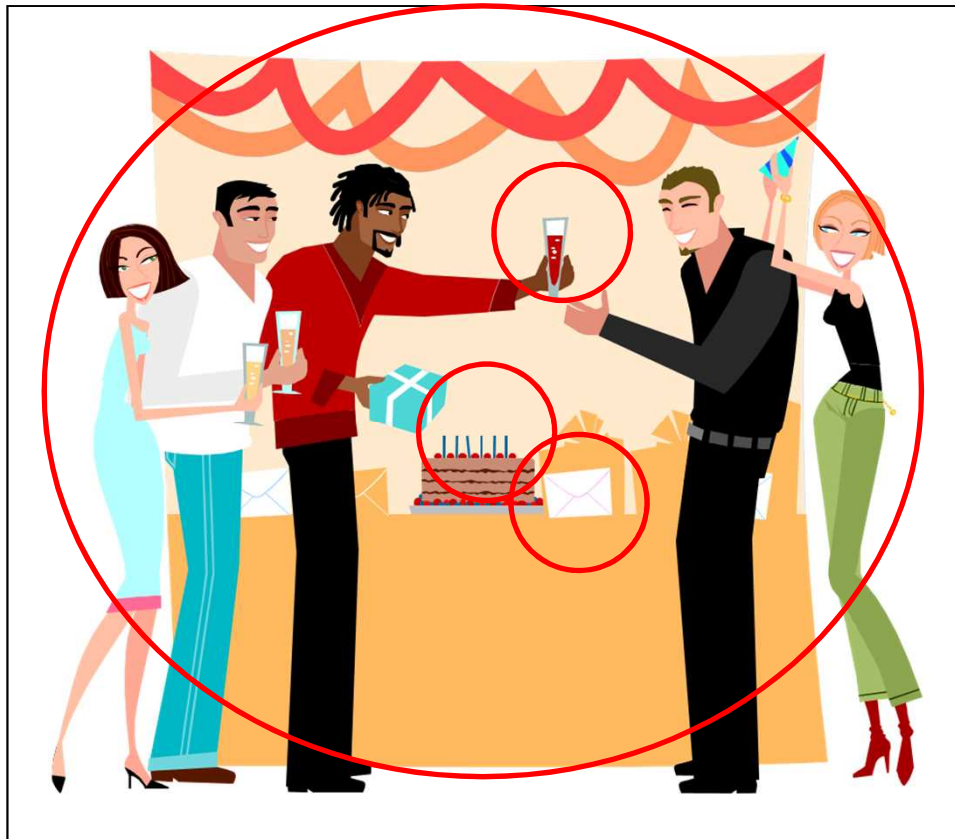
みち  
道がこんでいます。



まど わ  
窓ガラスが割れています。

## ゲーム

みぎ え ひだり え ちが さが ぜんぶ かたち  
右の絵と左の絵の違うところを探しましょう。全部で4つあります。「～ています」の形を  
つか せつめい  
使って説明してください。



た どうし  
他動詞

あ  
ドアを開けます  
し  
ドアを閉めます  
でんき  
電気をつけます  
でんき け  
電気を消します  
みず い  
水を入れます  
だ  
えんぴつを出します  
くるま と  
車を止めます  
たまご わ  
卵を割ります  
かみ やぶ  
紙を破ります  
こわ  
ドアを壊します  
なら  
いすを並べます  
あつ  
ごみを集めます  
じゆぎよう はじ  
授業を始めます  
と  
カードを取ります  
お  
さいふを落とします  
かみ き  
紙を切ります  
て あ  
手を上げます  
かぎをなくします

じ どうし  
自動詞

あ  
ドアが開きます  
し  
ドアが閉まります  
エアコンがつきます  
ひ き  
火が消えます  
むし はい  
虫が入ります  
で  
せきが出ます  
と  
エレベーターが止まります  
わ  
ガラスが割れます  
やぶ  
ふくろが破れます  
こわ  
パソコンが壊れます  
ひと なら  
人が並びます  
あつ  
ハトが集まります  
えいが はじ  
映画が始まります  
と  
ボタンが取れます  
お  
リンゴが落ちます  
き  
ひもが切れます  
ねつ あ  
熱が上がります  
かみ  
トイレの紙がなくなります



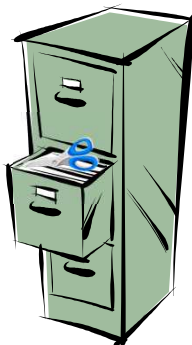
A: あれ？コピーができません。

B: あ、そのコピー機<sup>き</sup>は壊<sup>こわ</sup>れてい  
むこうのコピー機<sup>き</sup>を使<sup>つか</sup>ってくだ



A: (ノックをする)

B: かぎ<sup>あ</sup>は開<sup>あ</sup>いていま  
どうぞ入<sup>はい</sup>ってくださ



A: すみません、はさみはありま

B: はさみはその引き出し<sup>ひ</sup>に入<sup>だ</sup>って入<sup>はい</sup>って

## ( ～が～てあります )

### <意味>

「人が何かの意図や目的をもって行った行為の結果が現在も残っている」状態を表す。

◆前の(NがVています)は<物自体>の変化の結果を表すためVは「自動詞」だった。

◆この課では<人の動作>の結果を表すため「他動詞」が使われる。

### <形>

「NがV(て形)＋あります。」

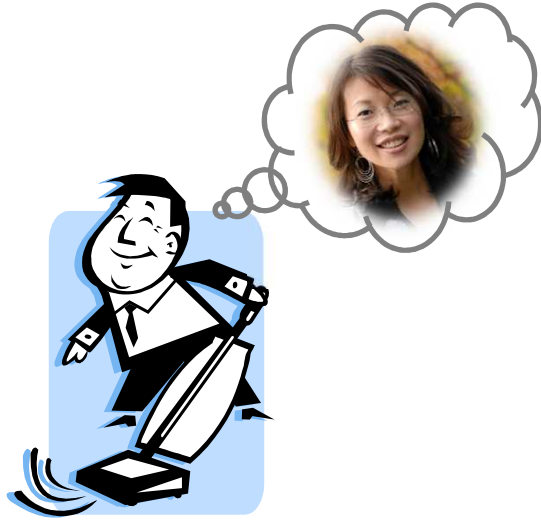
Vは「他動詞」。





(～が～てあります)

導入



かのじょ あそ  
彼女が遊びに来ますから、  
あさ へ や そうじ  
朝、部屋を掃除しました。



へ や そうじ  
部屋が掃除してあります。



ご ご かいぎ  
午後会議がありますから、  
ひるやす なら  
昼休みのあと、いすを並べました。



なら  
いすが並べてあります。



## れんしゅう

こんばん

今晚パーティーをしますから・・・



りょうり つく

料理を作りました。

りょうり つく

料理が作っています。



はな かざ

テーブルに花を飾りました。

はな かざ

テーブルに花が飾っています。



とも

よ

友だちをたくさん呼びました。

とも

よ

友だちがたくさん呼んでいます。

なに

ひつよう

みな

かんが

ほかに何が必要ですか。皆さんで考えてください。

## れんしゅう

れい  
例のように、<sup>りゆう</sup> しない理由を<sup>かんが</sup> 考えて<sup>かいわ</sup> 会話を<sup>つく</sup> 作りましょう。

<sup>れい</sup> 例) A: <sup>まど</sup> 窓を<sup>し</sup> 閉めてもいいですか。

<sup>し</sup> B: 閉めないでください。<sup>あつ</sup> 暑いから<sup>あ</sup> 開けてあるんです。

<sup>でんき</sup> A: 電気を<sup>け</sup> 消してもいいですか。

B:

<sup>し</sup> A: ドアを閉めてもいいですか。

B:

<sup>れいぞうこ</sup> A: ジュースを冷蔵庫に<sup>い</sup> 入れてもいいですか。

B:



準備ということでもなく、誰かが意図をもって何かをした後の結果が残っている場合も「～が～てあります」を使います。

例) 壁に絵が掛けてあります。

話題にしているものの所在や状態を言うときには「～は～てあります」を使います。

例) A: 日本語のDVDはどこにありますか。

B: 日本語のDVDは本棚の日本語のコーナーに並べてありますよ。



れんしゅう

へ や ようす はな  
部屋の様子を話しましょう。



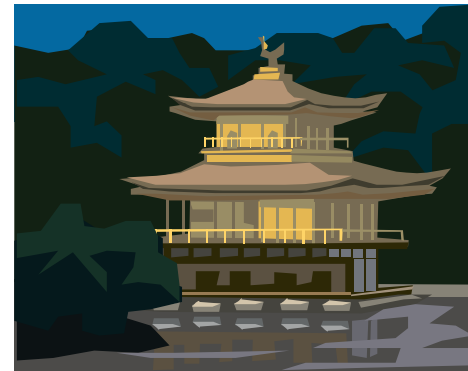
かべ え は  
壁に絵が貼ってあります。



かべ かがみ か  
壁に鏡が掛けてあります。



にわ はな う  
庭に花が植えてあります。



にわ いけ つく  
庭に池が作ってあります。



## ( もう～てあります )

### <意味>

「準備ができていること」を表す。

◆(～が／は～てあります)は「現在の状態」に重点がある。

◆(もう～てあります)は準備のため完了した「行為」に重点がある。

### <形>

「Nは、もうV(て形)＋あります。」

Vは「他動詞」。



( もう～てあります )

もうすぐパーティーが<sup>はじ</sup>始まりますが・・・

A: 料理<sup>りょうり</sup>は<sup>つく</sup>作っていますか。

B1: はい、もう<sup>つく</sup>作っています。

B2: いいえ、まだです。



A: テーブルに花<sup>はな</sup>は<sup>かざ</sup>飾っていますか。

B1: はい、もう<sup>かざ</sup>飾っています。

B2: いいえ、まだです。



れんしゅう

かいぎ  
これから会議です。



かちょう  
課長:

しゃいん  
社員:



かちょう  
課長:

しゃいん  
社員:



かちょう  
課長:

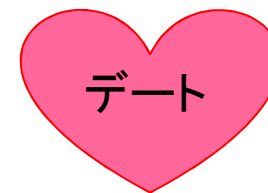
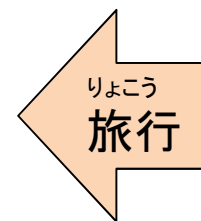
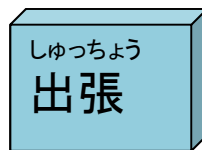
しゃいん  
社員:



## タスク

なに ひつよう みな かんが かいわ つく  
何が必要ですか。皆さんで考えて会話を作ってください。

れい  
例)



しんかんせん きっぷ  
A: もう新幹線の切符は

か  
買ってありますか。

か  
B: はい、もう買ってあります。



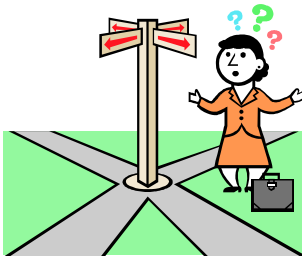


おわり



# くらしのにほんご とよなか VII. 訪問 B

いま つく  
「今、おでんを作っているところなんです。」



会話 B1-1

まつい たく げんかん  
《 松井さん宅玄関で 》



まつい  
松井 : あら、宗さん。お帰りなさい。上海はどう

そう  
宋 : おかげさまで、ひさか ぞく あ  
久しぶりに家族に会って、

まつい  
松井 : それはよかったですね。

そう  
宋 : あのう、これ、つまらないものですが、し

まつい  
松井 : ありがとうございます。おいしそうなお菓子かし

えん りょ  
遠慮なくいただきます。

そう  
宋 : いいにおいがしますね。

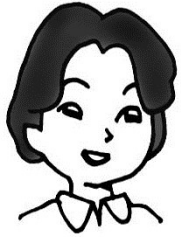
まつい  
松井 : ええ、いまつく  
今、おでんを作っているところなん

つく  
たくさん作っているから、おすそわけします

そう  
宋 : おすそわけって、なん  
何ですか。

会話 B1-2

まつい たく げんかん  
《 松井さん宅玄関で 》



まつい  
松井 : たくさんつくものやもらったものを他の人に  
で き こども も  
出来たら、子供に持っていかせます。

そう  
宋 : しゃんはい かえ れいぞう こ  
上海から帰ってきたばかりで、冷蔵庫がか  
たす  
助かります。

会話 B2-1

まつい      たく げんかん  
《 松井さん宅玄関で 》



そう  
宋      :    おでん、とてもおいしかったです。

おなべをお返しします。 ありがとうございます

まつい  
松井      :    どういたしまして。

そう                  た ろう くん  
宋                  :    あっ、 太郎君、 こんにちは。

たろう  
太郎      :    こんにちは。 おかあさん、 いきます。

まつい  
松井      :    いってらっしゃい。

た ろう          じゅく   い  
太郎は、塾へ行くんですよ。

そう                  じゅく  
宋                  :    塾ですか。

まつい                  らいねん   じゅけん                  じゅく   い  
松井                  :    ええ、来年、受験をさせるので、塾に行かせ

会話 B2-2

まつい たく げんかん  
《 松井さん宅玄関で 》



そう 宋 : わたし こども ちち べんきょう  
私も子供のころ、父にずいぶん勉強させら

それから、ピアノ<sup>なら</sup>を習わされました。

す じょうず  
ピアノは好きじゃなかったなので、上手には

た ろう くん じゅく ほか なに  
太郎君は塾の他に何かやっていますか。

まつい 松井 : きょうしつ い  
ええ、サッカー教室に行っています。

にちようび あさ はや わたし  
日曜日の朝早いので、私はいやだったん

た ろう い い い  
太郎が行きたいと言うので、行かせていま

そう 宋 : たいへん  
そうですか。大変ですね。

会話 B1-1

まつい たく げんかん  
《 松井さん宅玄関で 》

まつい  
松井 : あら、宗さん。お帰りなさい。上海はどうでしたか。

そう  
宋 : おかげさまで、久しぶりに家族に会って、ゆっくりできました。

まつい  
松井 : それはよかったですね。

そう  
宋 : あのう、これ、つまらないものですが、上海のお土産です。

まつい  
松井 : ありがとうございます。おいしそうなお菓子ですね。

えん りょ  
遠慮なくいただきます。

そう  
宋 : いいにおいがしますね。

まつい  
松井 : ええ、今、おでんを作っているところですよ。

つく  
たくさん作っているから、おすそわけしますよ。

そう  
宋 : おすそわけって、何ですか。

動詞辞書形／動詞ている／動詞た形＋ところです

➡ [ス12]

会話 B1-2

まつい たく げんかん  
《 松井さん宅玄関で 》



まつい  
松井 : たくさんつくものやもらったものを他のひとにわけることです。

でき こども も  
出来たら、子供に持っていかせます。

そう  
宋 : しゃんはい 上海から かえ 帰ってきたばかりで、れいぞう こ 冷蔵庫がからっぽなので、  
たす  
助かります。



動詞た形＋ばかりです



[ス20]



会話 B2-1

まつい たく げんかん  
《 松井さん宅玄関で 》

そう  
宋 : おでん、とてもおいしかったです。

おなべをお返しします。ありがとうございました。



まつい  
松井 : どういたしまして。

そう たらう くん  
宋 : あっ、太郎君、こんにちは。

たらう  
太郎 : こんにちは。おかあさん、いってきます。



まつい  
松井 : いってらっしゃい。

たらう じゅく い  
太郎は、塾へ。

そう じゅく  
宋 : 塾ですか。

まつい らいねん じゅけん じゅく い  
松井 : ええ、来年、受験をさせるので、塾に行かせているんです。

使役



[ス29]

会話 B2-2

まつい たく げんかん  
《 松井さん宅玄関で 》

そう 宋 : わたし こども ちち べんきょう  
私も子供のころ、父にずいぶん勉強させられました。



なら  
それから、ピアノを習わされました。

す じょうず  
ピアノは好きじゃなかったのですが、上手にはなりませんでした。

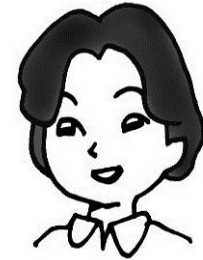
た ろう くん じゅく ほか なに  
太郎君は塾の他に何かやっていますか。

まつい 松井 : きょうしつ い  
ええ、サッカー教室に行っています。

にちようび あさ はや わたし  
日曜日の朝早いので、私はいやだったんですが、

た ろう い い い  
太郎が行きたいと言うので、行かせています。

そう 宋 : たいへん  
そうですか。大変ですね。



使役受け身

➡ [ス44]

## 「～ところです」

時間的位置を示す。



- ① 「V辞書形＋ところです」・・・ある動作が始まる直前であることを示す。  
「これから」「ちょうど 今から」が共に用いられる。
- ② 「Vて形いる＋ところです」・・・ある動作が行われている最中であることを示す。  
「今」が共に用いられる。  
無生物の動きを表す「雨が降る、風が吹く」や、状態を表す「ある、できる」などの動詞、また、「持つ、知る、住む、結婚する、閉まる、開く、壊れる」などの瞬間性の動詞は使えない。
- ③ 「Vた形＋ところです」・・・ある動作が終わった直後であることを示す。  
「たった今」が共に用いられる。

# 「～ところです」

## 〔 導入場面 (1) 〕

- ① 教師はクッキーなどの食べ物を用意する。
- ② クラスに向かって「クッキーです。」と示す。  
「これから食べます。」と言い、食べる動作に入り、  
「クッキーを**食べる**ところです。」と板書して文型を示す。
- ③ クッキーを食べて「クッキーを食べています。」と言い、  
⇒板書で「クッキーを**食べている**ところです。」
- ④ クッキーを食べ終わり、「クッキーを食べました。」と言い、  
⇒板書で「(たった)今クッキーを**食べた**ところです。」

## ※バリエーション

クッキーの代わりにコーヒー、ジュース、お茶で  
「飲むところです。」

## 〔 導入場面 (2) 〕

- ①新聞を用意する。
- ②朝ごはん(または晩ごはん)のあとで新聞を読む場面で  
「新聞を読むところです。」

**V辞書形**

**Vて形いる**

**Vた形**

**ところです**

(～ところです)

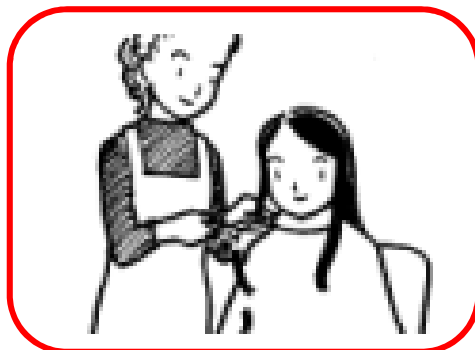
かみ き  
髪を切ります



いま  
今から／これから

かみ き  
髪を切る**ところです**

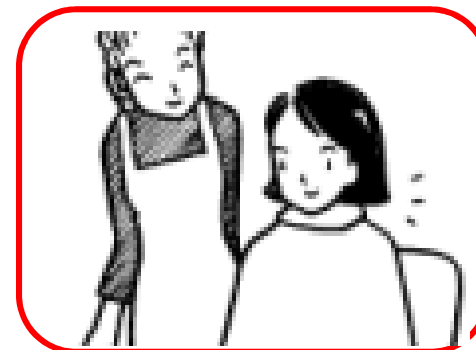
かみ き  
髪を切っています



いま  
今

かみ き  
髪を切っている**ところです**

かみ き  
髪を切りました



いま  
(たった)今

かみ き  
髪を切った**ところです**

いま  
今から

かみ  
髪を

き  
切る

ところです。

りょうり  
料理を

つく  
作る

しけん  
試験が

はじ  
始まる

いま  
今

かみ  
髪を

き  
切っている

ところです。

りょうり  
料理を

つく  
作っている

しけん  
試験を

している



いま  
たった今

かみ  
髪を

き  
切った

ところです。

りょうり  
料理が

できた

しけん  
試験が

お  
終わった

# 〔言ってください〕

ドリル1

例

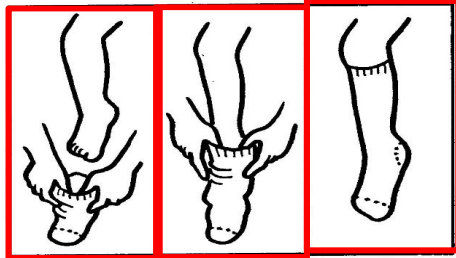
(1)

(2)

(3)

(4)

(5)



例:

くつした  
靴下を

(1)

くつした  
靴下を

(2)

くつした  
靴下を

(3)

りょうり  
料理を

(4)

りょうり  
料理を

(5)

さら  
お皿を

# 【言ってください】

ドリル2

例:

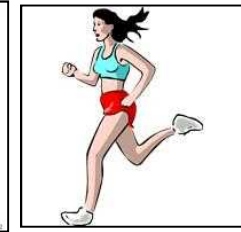
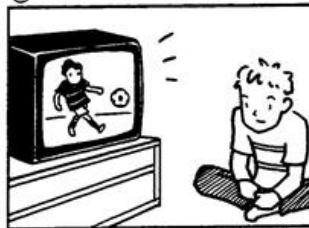
(1)

(2)

(3)

(4)

(5)



例: [これから **今** ・ たった今]

(1) [**これから** ・ 今 ・ たった今]

(2) [これから **今** ・ たった今]

(3) [これから ・ 今 ・ た**った今**]

(4) [これから ・ 今 ・ た**った今**]

(5) [これから **今** ・ たった今]

## 「～たばかりです」

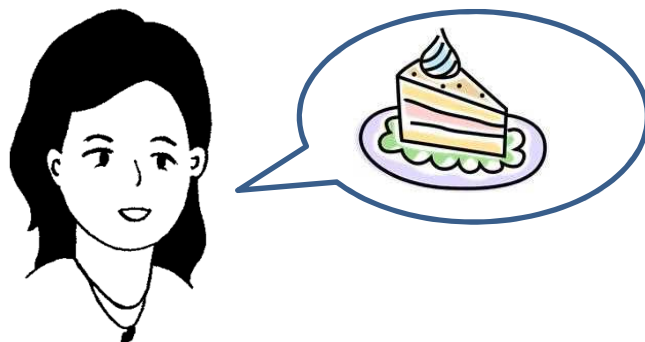
「～たばかりです」はある行為や出来事が行われてから、あまり時間が経っていないという話し手の気持ちを表す表現である。

### ※ 留意点

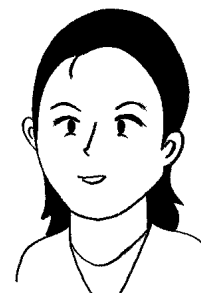
「～たばかりです」と「～たところです」は動作の完了直後を表す点では同じような意味になるが、「～たところ」は直後しか表さない。「～たばかりです」はある程度時間が経った場合でも話し手がその時間を心理的に短く感じていれば使える。したがって、「さっき」「たった今」など直後を表す語のほかに、「先週」「2ヶ月前に」「去年」なども使える。

Vた形 + ばかりです

(～たばかりです)



ケーキはいかがですか。



ありがとうございます。

でも、さっき<sup>ひる</sup>昼ごはんを<sup>た</sup>食べましたから。



さっき<sup>ひる</sup>昼ごはんを <sup>た</sup>食べたばかりですから

おなかがいっぱいです。

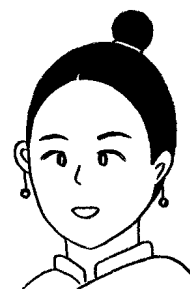
(～たばかりです)



A: <sup>しごと</sup>仕事はもう<sup>な</sup>慣れましたか。

B: いいえ、先月 <sup>せんげつ</sup> <sup>かいしゃ</sup>会社に <sup>はい</sup>入ったばかりですから、まだ何も<sup>なに</sup>わかりません。

A: そうですか。



こ  
子どもさんはいらっしゃいますか。

きょねん あき けっこん  
いいえ、去年の秋に 結婚したばかりで こ  
子どもはまだです。

そうですか。





せんしゅう かぜ」

先週 風邪が なおりました。

こんしゅう かぜ

今週 また風邪を ひきました。



せんしゅう かぜ

先週 風邪が **なおったばかり**なのに

こんしゅう かぜ

今週 また風邪を ひいてしまいました。



せんげつ くるま か

先月 車を 買いました。

こしょう

もう 故障しました。



せんげつ くるま

先月 車を **買ったばかり**なのに

こしょう

もう 故障してしまいました。

さつき ひる 昼ごはんを

た 食べた

ばかりです。

せんげつ かいしゃ 先月 会社に

はい 入った

きょねん あき 去年の秋に

けっこん 結婚した

さつき しごと 仕事が

お 終わった

例:

<sup>がいこく</sup> <sup>かえ</sup> <sup>れいぞうこ</sup> <sup>なに</sup>  
きのう外国から帰りました・冷蔵庫に何もありません。



きのう外国から帰ってきたばかりで、冷蔵庫に何もありません。

①

<sup>なら</sup> <sup>かんじ</sup> <sup>か」</sup>  
さっき習いました・その漢字は書けます



さっき習った ばかりですから、その漢字は書けます。

②

<sup>は</sup> <sup>みが</sup> <sup>なに</sup> <sup>た</sup>  
歯を磨きました・何も食べません



歯を磨いた ばかりですから、何も食べません。

③

<sup>せんげつ</sup> <sup>にほんごきょうし</sup> <sup>じゅぎょう</sup> <sup>じゅんぴ</sup> <sup>たいへん</sup>  
先月 日本語教師になりました・授業の準備が大変です



先月 日本語教師になった ばかりですから、授業の準備が大変です。

④

<sup>かんが</sup>  
みなさんで考えてください。



例:

せんげつ か こわ  
先月 パソコンを買いました・もう壊れました。



先月 パソコンを買ったばかりなのに、もう壊れました。

①

せんしゅう なら かんじ わす  
先週 習いました・その漢字を忘れました



先週習った ばかりなのに、その漢字を忘れました。

②

さっき た  
さっき ごはんを食べました・もうおなかがすきました



さっき ごはんを食べた ばかりなのに、もうおなかがすきました。

③

せんげつ にほんごきょうし おし かた じょうず  
先月 日本語教師になりました・教え方が上手です



先月 日本語教師になった ばかりなのに、教え方が上手です。

④

かんが  
みなさんで考えてください。



## 《使役形 1(自動詞)》

## 「Aは Bを～(さ)せます」

使役文は 上位者(親、兄、上司など)が 下位者(子、弟、部下など)に ある行為を指示・命令したり、下位者の 行為を 容認したりする場合に 用いられる。

自動詞の 場合の 使役は「Aは Bを ～(さ)せます」の 形になる。

AはBより上位の人。動作の主体を「を」で示す。

＜指示・命令＞ 「課長は マークさんを 東京へ 出張させます。」

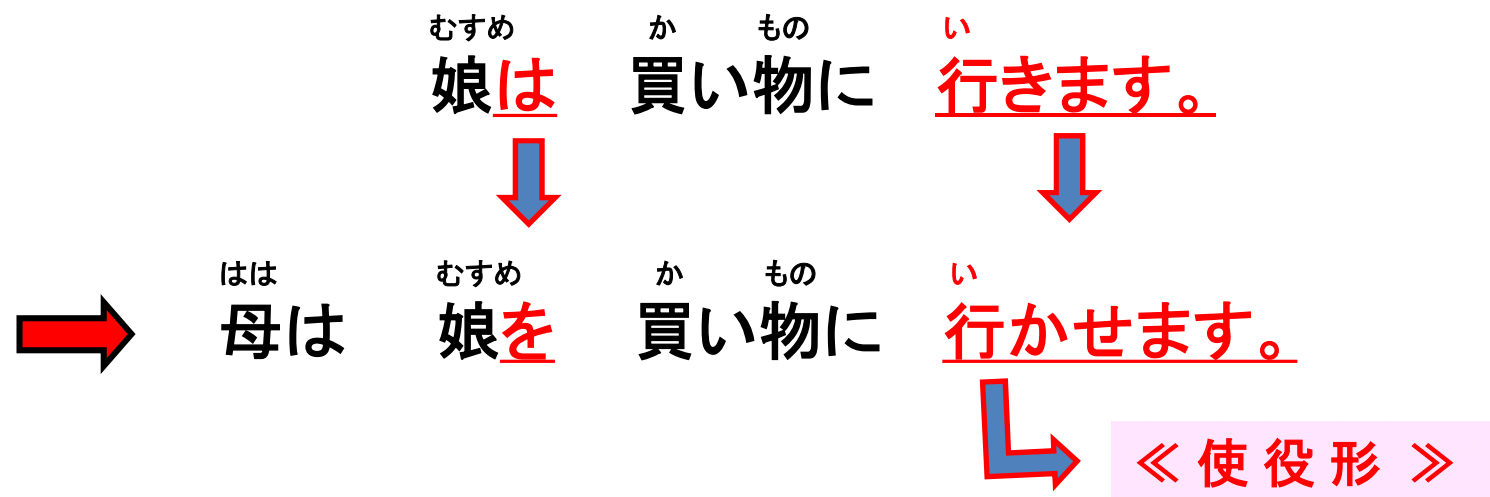
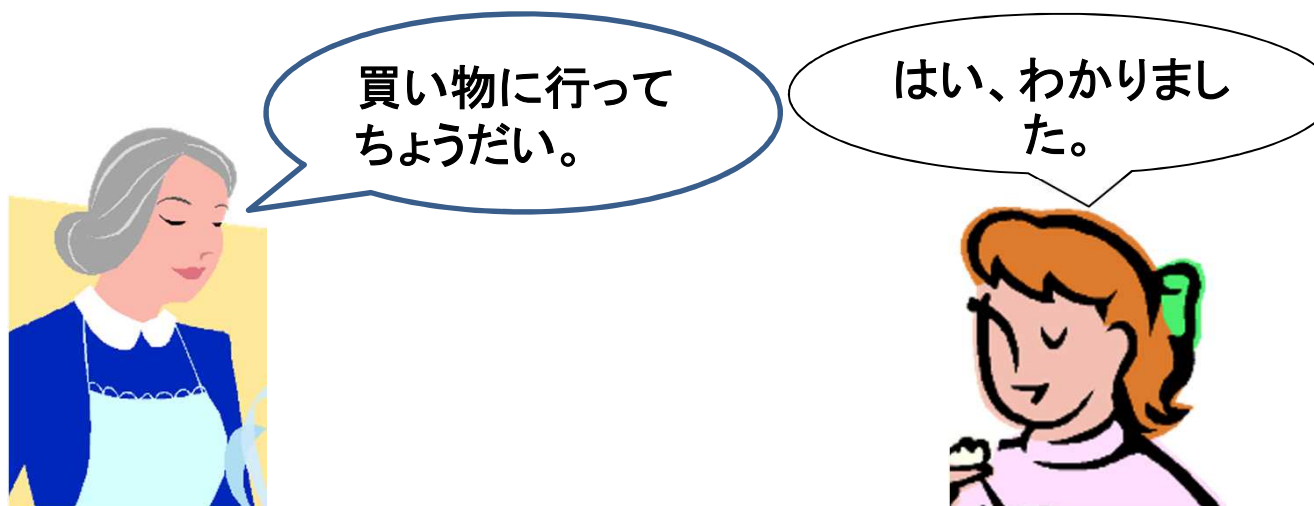
「母は 娘を 買い物に 行かせます。」

＜許可・容認＞ 「課長は マークさんを 1週間 休ませます。」

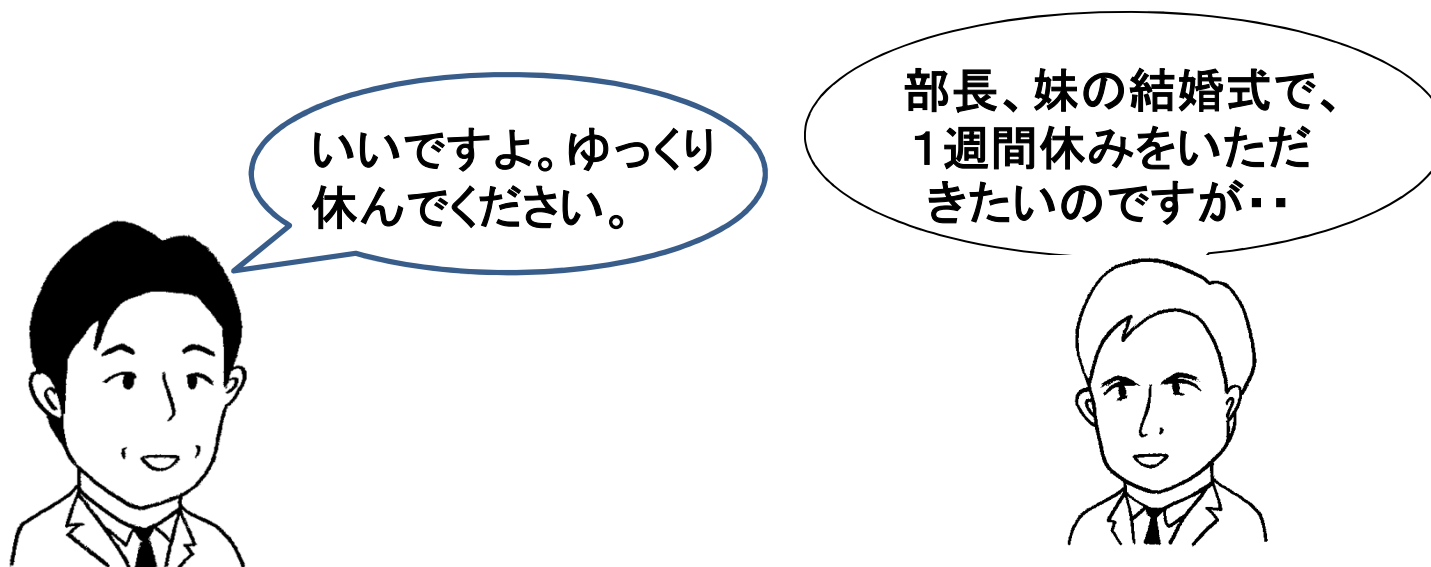
「母は 娘を 自由に 遊ばせます。」

N〈人〉 を 使役動詞  
(自動詞)

(～使役形 1・自動詞)



(～使役形 1・自動詞)



マークさん<sup>は</sup> <sup>いっしゅうかん</sup> 1週間 <sup>やす</sup> 休みます。



→ <sup>ぶちょう</sup> 部長は マークさん<sup>を</sup> <sup>いっしゅうかん</sup> 1週間 <sup>やす</sup> 休ませます。



《使役形》



# <使役形の作り方>

ます形



使役形

## I グループ

|   |              |    |    |
|---|--------------|----|----|
| 買 | <del>ひ</del> | わせ | ます |
| 笑 | <del>わ</del> | わせ | ます |
| 書 | <del>き</del> | かせ | ます |
| 働 | <del>き</del> | かせ | ます |
| 急 | <del>ぎ</del> | がせ | ます |
| 泳 | <del>ぎ</del> | がせ | ます |
| 待 | <del>ち</del> | たせ | ます |
| 持 | <del>ち</del> | たせ | ます |
| 死 | <del>に</del> | なせ | ます |
| 遊 | <del>び</del> | ばせ | ます |
| 呼 | <del>び</del> | ばせ | ます |
| 飲 | <del>み</del> | ませ | ます |
| 読 | <del>み</del> | ませ | ます |
| 帰 | <del>り</del> | らせ | ます |
| 取 | <del>り</del> | らせ | ます |

## II グループ

|    |              |              |    |
|----|--------------|--------------|----|
| 食  | べ            | <del>ま</del> |    |
| やめ | <del>さ</del> | させ           | ます |
| 覚え | <del>さ</del> | させ           | ます |

---

|      |              |    |    |
|------|--------------|----|----|
| 見(み) | <del>さ</del> | させ | ます |
| 着    | <del>さ</del> | させ | ます |
| い    | <del>さ</del> | させ | ます |

## III グループ

|     |              |     |    |
|-----|--------------|-----|----|
| 来   | <del>こ</del> | こさせ | ます |
| 持って | <del>来</del> | こさせ | ます |

---

|    |              |    |    |
|----|--------------|----|----|
|    | <del>も</del> | させ | ます |
| 勉強 | <del>も</del> | させ | ます |
| 散歩 | <del>も</del> | させ | ます |

《れんしゅう》

「使役形」にかえてください

お  
起きます

およ  
泳ぎます

あそ  
遊びます

ね  
寝ます

か  
書きます

の  
飲みます

あ  
合います

はな  
話します

い  
行きます

よ  
読みます

た  
食べます

はい  
入ります

も  
持ちます

き  
来ます

し  
死にます

か  
買います

だ  
出します

す  
吸います

べんきょう  
勉強します

と  
撮ります

み  
見ます

いそ  
急ぎます

かえ  
帰ります

き  
聞きます

よ  
呼びます

ま  
待ちます

けっこん  
結婚します

はは  
母は

むすめ  
娘

を

か もの  
買い物に

い  
行かせました。

ぶちよう  
部長は

マークさん

とうきよう  
東京へ

しゅっちよう  
出張させました。

はは  
母は

むすめ  
娘

じゆう  
自由に

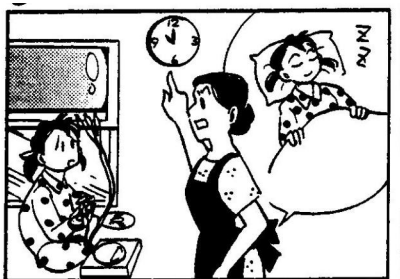
あそ  
遊ばせました。

ぶちよう  
部長は

マークさん

いっしゅうかん  
1週間

やす  
休ませました。



はは むすめ おそ ね  
母⇒娘 「もう遅いから寝なさい。」

れい はは むすめ ね  
例: 母・娘・「寝なさい」



はは むすめ はや がっこう い  
1: 母・娘・「早く学校へ行きなさい」



かちょう ごご かいぎ しゅっせき  
2: 課長・リーさん・「午後の会議に出席してください。」



せんせい がくせい あす じ き  
3: 先生・学生・「明日は9時に来てください。」



かんが  
4: みなさんで考えてください。





妻が病気なので今日は  
早く帰りたいんですが……。

れい  
例:



いいですよ。  
お大事に……。



1:



2:



3:



4:



## 《使役形 2(他動詞)》

「Aは Bに～を(さ)せます」

他動詞の場合の使役は「Aは Bに～を～(さ)せます」の形になる。  
この場合もAはBより上位者です。動作の主体を助詞「に」、動作の対象となるものを「を」で示す。

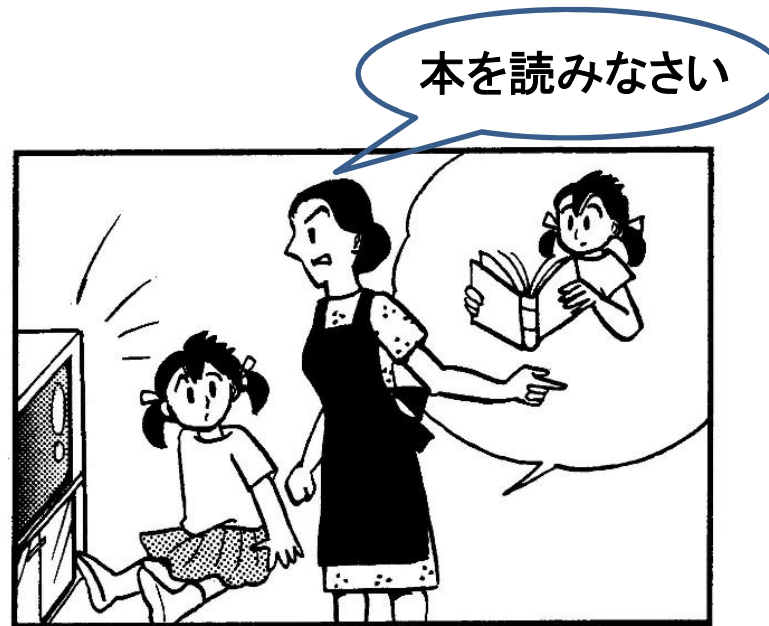
＜指示・命令＞ 「先生は 学生に 本を 読ませました。」

「母は 娘に 宿題を させます。」

＜許可・容認＞ 「社長は リーさんに 社長の車を 使わせます。」

「母は 娘に テレビを 見させます。」

**N<sub>1</sub>〈人〉に N<sub>2</sub>を 使役動詞**  
**(他動詞)**



むすめ  
娘は  
↓

ほん  
本を  
↓

よ  
読みます。  
↓

→ はは  
母は

むすめ  
娘に

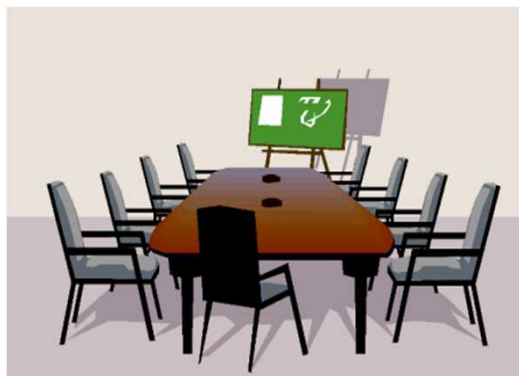
ほん  
本を

よ  
読ませます。



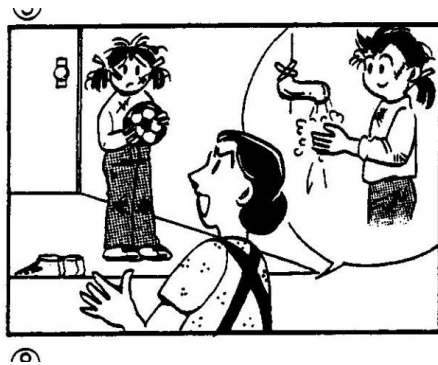
あすの会議で会議室を使ってもいいでしょうか。

はい、いいですよ。



たなか 田中さんは かいぎしつ 会議室を つか 使います。

→ ぶちよう 部長は たなか 田中さんに かいぎしつ 会議室を つか 使わせます。



はは むすめ て あら  
母⇒娘「手を洗いなさい。」

れい はは むすめ て あら  
例： 母・娘・手を洗います




はは むすめ りょうり てつだ  
1: 母・娘・料理を手伝います




かちょう ひこうき じかん しら  
2: 課長・リーさん・飛行機の時間を調べます




せんせい がくせい だ  
3: 先生・学生・レポートを出します




かんが  
4: みなさんで考えてください。





むすめ はは かあ た  
娘⇒母 「お母さん、ケーキ食べてもいい？」

はは むすめ  
母⇒娘 「いいですよ。」



れい はは むすめ た  
例: 母・娘・ケーキを食べます



はは むすめ けいたいでんわ も  
1: 母・娘・携帯電話を持ちます



しゃちょう しゃちょうしつ つか  
2: 社長・マークさん・社長室を 使います



せんせい がくせい じゅう けんきゅう  
3: 先生・学生・自由に研究をします



かんが  
4: みなさんで考えてください。



## 《使役受身形》

「Bは Aに～(さ)せられます」

使役受身文は  
使役文「Aは Bを ～(さ)せます。」を「B」の視点から見て言い換えた文で

「Bは Aに ～(さ)せられます。」となる。

※ I グループの動詞の場合 「行かせられます」「飲ませられます」の縮約型  
として「行かせられます」⇒「行かされます」

「飲ませられます」⇒「飲まされます」の形もある。

※《使役形》とは異なり「A」に強制されるという意味が強く「許可」「容認」の意味では使われない。

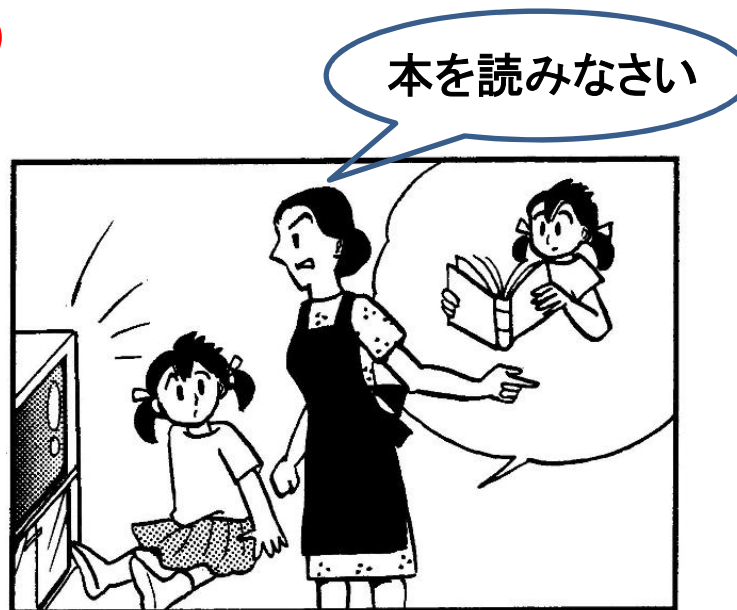
＜自動詞＞ 「マークさんは 社長に 東京へ 出張させられます。」

「娘は 母に 買い物に 行かせられます。／行かされます。」

＜他動詞＞ 「学生は 先生に レポートを 出させられました。」

「娘は 母に 料理を 手伝わせられます。／手伝わされます。」

(使役受身形)



はは 母 は むすめ 娘 に ほん 本 を よ 読ませます。

→ むすめ 娘 は はは 母 に ほん 本 を よ 読ませられます。

(よ 読まされます。)

↳ 《使役受身形》



買い物に行って  
ちょうだい。

はは むすめ か もの い

母⇒娘「買い物に行ってください。」

れい はは むすめ か もの い

例： 母は娘に 買い物に行かせます。



はい、わかりました。

ドリル



しゃちょう

1: 社長はリーさんをケニヤへ出張させました。

しゅつちょう



はは むすめ しゅくだい

2: 母は娘に宿題をさせます。



せんせい がくせい

3: 先生は学生にレポートを出させます。

だ



かんが

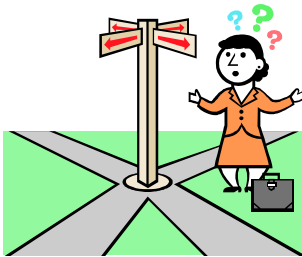
4: みなさんで考えてください。



おわり

# くらしのにほんご とよなか VII. 訪問C

あそ き さそ  
「遊びに来てください。」と誘われました。





会話 C1-1

かいしゃ  
《 会社で 》



にしだ き  
マーク : 西田さん、ちょっと 聞いていいですか。

にしだ なん  
西田 : はい、何でしょう。

じつ こう べ こうぎょう やまぐち こんど  
マーク : 実は、神戸工業の 山口さんから「今度の

あそ き さそ  
遊びに来ませんか」と 誘われているんです

あそ い まよ  
遊びに行っても いいかどうか 迷っていま

にしだ まよ  
西田 : どうして 迷うんですか。

まえ あそ き  
マーク : 前に「いつでも遊びに来てください。」と

かい じゃま  
それで2回ほど「お邪魔してもいいですか

かい よう じ こ  
2回とも「ちょっと用事があつて・・・。」と

やまぐち いそ  
それで きっと山口さんは とても 忙しいん

## 会話 C1-2

### 《 会社で 》 かいしゃ



にしだ  
西田 : あ、そうなんですか。でも、<sup>だいじょうぶ</sup>大丈夫です

マーク : どうして <sup>だいじょうぶ</sup>大丈夫だと わかるんですか。

にしだ  
西田 : 日本人は「いつでも <sup>あそ</sup>遊びに <sup>き</sup>来てください。

<sup>きゅう</sup>急に <sup>あそ</sup>遊びに <sup>こ</sup>来られるのは <sup>こま</sup>困るんです。

マーク : どうしてですか。

にしだ  
西田 : 「おもてなし」の <sup>じゅんび</sup>準備が できないからです。

でも、「〇〇日に <sup>にち</sup>来 <sup>き</sup>てください。」と <sup>い</sup>言わオ

<sup>じゅんび</sup>準備が できていますから <sup>だいじょうぶ</sup>大丈夫です。

マーク : 「おもてなし」って <sup>なん</sup>何ですか。

会話 C1-3

かいしゃ  
《 会社で 》



にしだ  
西田 : お客さんに 喜んでもらえるように いろいろ

マーク : へええ、そうなんですか。 知りませんでし

会話 C1-1

かいしゃ  
《 会社で 》



にしだ き  
マーク : 西田さん、ちょっと 聞いていいですか。

にしだ なん  
西田 : はい、何でしょう。

じつ こう べ こうぎょう やまぐち こんど にちようび  
マーク : 実は、神戸工業の 山口さんから「今度の日曜日、  
あそ き さそ ほんとう  
遊びに来ませんか」と誘われているんですが、本当に  
あそ い まよ  
遊びに行っても いいかどうか 迷っています。

にしだ まよ  
西田 : どうして 迷うんですか。

まえ あそ き い  
マーク : 前に「遊びに来てください。」と 言われていたので、

2回ほど「お邪魔してもいいですか。」と 電話したら、

かい よう じ ことわ  
2回とも「ちょっと用事があって・・・。」と 断られました。

やまぐち いそ おも  
それで きっと山口さんは とても 忙しいんじゃないかと思って・・・。

受身形



[ス7]

数量詞＋ほど



[ス30]

## 「(人)は～に(～を)～(ら)れます」

- 二者間の行為についてその事実を述べる時、二通りの言い方が可能である。  
一つは行為をする人の立場・視点に立っての言い方で、もう一つは行為を受ける人の立場・視点に立っての言い方である。

このように「行為を受ける側」からその事実をとらえて表現するときに「受身」が使われる。

◇普通の文 主語＝「動作主」(動作をする人)

◇受身文 主語＝「被動作主」(動作をうける人)

- 受身にはいろいろなタイプがあり、それぞれ意味も違う。  
学習者にそのどれを指導するかは、学習者の状況に応じて選択する。

### 〈1〉他動詞の受身 ～ 動作を直接受ける場合が中心。

例1: 「あきらくんは 先生に しかったです。」 ↔ ○「先生は あきらくんを しかったです。」

例2: 「わたしは 隣の人に 足を 踏まれました。」(所有物などの受身)

↔ ○「隣の人が わたしの足を 踏みました。」

例3: 「わたしは 母に 買い物を 頼まれました。」(間接目的語をとる)

↔ ○「母は わたしに 買い物を 頼みました。」

### 〈2〉自動詞の受身 ～ 受ける動作が間接的な場合が中心。

例 「(わたしは)子どもに 泣かれて 寝られませんでした。」 ↔ ×「子どもは わたしに 泣きました。」

### 〈3〉「もの」「こと」が主語 ～ 「動作主が問題でないとき」と「動作主を取り立てるとき」

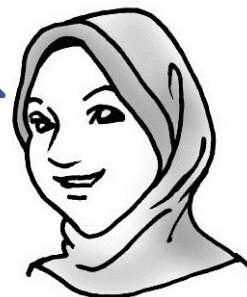
例1: 「2020年に 東京で オリンピックが 行われます。」(動作主は問題でないとき)

例2: 「カラオケは 日本人によって 作られました。」(動作主を取り立てるとき)

うけみけい  
〔受身形〕

はい

あ、  
キャシーさん

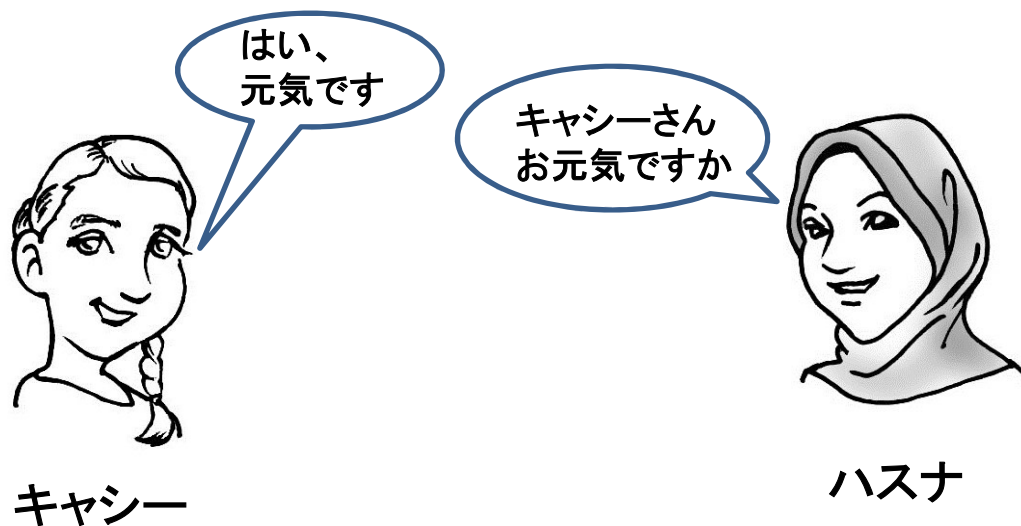


ハスナ

ハスナさん は キャシーさん を よびました。  
 キャシーさん は ハスナさん に よばれました。

うけみけい  
〔受身形〕

うけみけい  
〔受身形〕



ハスナさん **は** キャシーさん **に** 「お元気ですか？」と ききました。

キャシーさん **は** ハスナさん **に** 「お元気ですか？」と きかれました。

||

うけみけい  
〔受身形〕

あきらくん、100点だよ。  
すごいね。よくがんばったね。

先生



あきらくん

先生      は      あきらくん

あきらくん      は      先生

を      ほめました。

↓  
に      ほめられました。





先生 は あきらくん を しかりました。

あきらくん は 先生 に しかられました。



わたし



母

<sup>はは</sup>母 **は** わたし **に** <sup>か</sup> <sup>もの</sup>買い物 **を** <sup>たの</sup>頼みました。  
 わたし **は** <sup>はは</sup>母 **に** <sup>か</sup> <sup>もの</sup>買い物 **を** <sup>たの</sup>頼まれました。



きょう 電車の中で 隣の人が わたしの 足を 踏みました。

となり ひと 隣の人 が わたし の あし 足を 踏みました。

となり ひと 隣の人 は となり ひと 隣の人 に あし 足を 踏まれました。



きのうの晩 <sup>ばん こ</sup>子どもが <sup>な</sup>泣きました。 <sup>ね</sup>寝られませんでした。

<sup>こ</sup>子ども **が** <sup>な</sup>泣きました。 <sup>ね</sup>寝られませんでした。



(わたし **は**) <sup>こ</sup>子ども **に** <sup>な</sup>泣 **かれました**。 <sup>ね</sup>寝られませんでした。

わたしは

はは  
母に

しかられました。

か      もの  
買い物を

たのまれました。

となり      ひと  
隣の人に

あし  
足を

ふ  
踏まれました。

こ  
子どもに

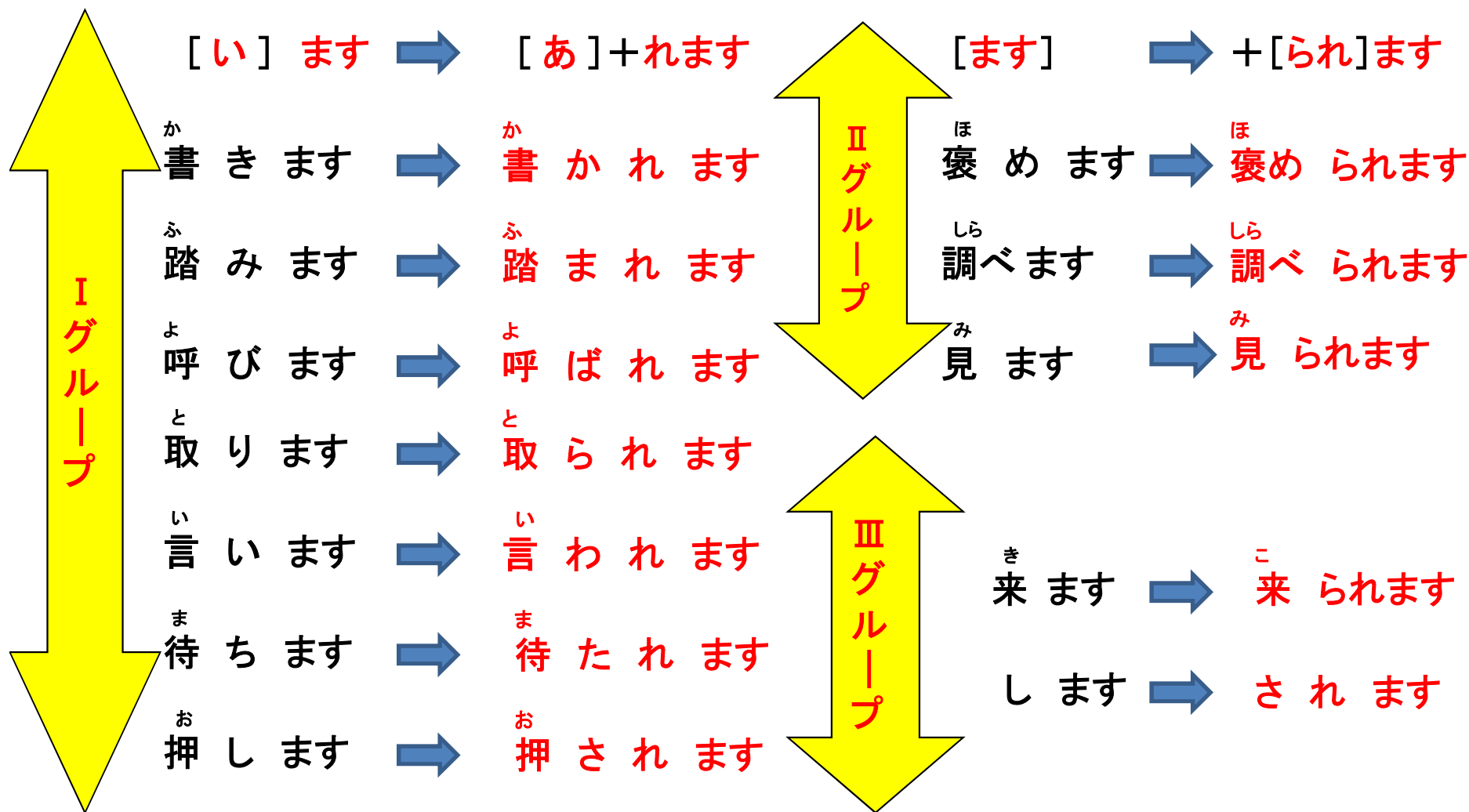
な  
泣かれました。

※ 学習者が受身の意味と形を理解できたら、次に動詞のグループ別に受身動詞の作りかたを説明する。

□ 次のスライドを使う。

※ さらに次のスライドで動詞の変換ドリルをする。

うけ み      つく      かた  
**< 受身の作り方 >**



うけみけい か  
受身形に変えてください

〔言ってください〕

I グループ

い  
言います

か  
書きます

はな  
話します

た  
立ちます

よ  
呼びます

ふ  
踏みます

と  
取ります

わら  
笑います

き  
聞きます

お  
押します

ま  
待ちます

あそ  
遊びます

よ  
読みます

かえ  
帰ります

い  
行きます

け  
消します

やす  
休みます

き  
切ります

II グループ

み  
見ます

た  
食べます

お  
起きます

おし  
教えます

かけます

III グループ

き  
来ます

します

も き  
持って来ます

ちゅうい  
注意します

でんわ  
電話します



例: お母<sup>かあ</sup>さんは 太郎<sup>たろう</sup>くんを しかったです。

太郎<sup>たろう</sup>くんは お母<sup>かあ</sup>さんに しかったです。

1: 先生<sup>せんせい</sup>は マリア<sup>ちゅうい</sup>さんを 注意<sup>ちゅうい</sup>しました。

マリア<sup>ちゅうい</sup>さんは 先生<sup>せんせい</sup>に 注意<sup>ちゅうい</sup>されました。

2: ハスナ<sup>そう</sup>さんは 宗<sup>か</sup>さんに 買<sup>もの</sup>い物<sup>たの</sup>を 頼<sup>たの</sup>みました。

宗<sup>そう</sup>さんは ハスナ<sup>か</sup>さんに 買<sup>もの</sup>い物<sup>たの</sup>を 頼<sup>たの</sup>まれました。

3: マーク<sup>しょうたい</sup>さんは わたし<sup>しょうたい</sup>を パーティーに 招待<sup>しょうたい</sup>しました。

わたし<sup>しょうたい</sup>は マーク<sup>しょうたい</sup>さんに パーティーに 招待<sup>しょうたい</sup>されました。

4: 父<sup>ちち</sup>は わたし<sup>びょういん</sup>を 病院<sup>つ</sup>へ 連<sup>い</sup>れて行きました。

わたし<sup>ちち</sup>は 父<sup>ちち</sup>に 病院<sup>びょういん</sup>へ 連<sup>つ</sup>れて行<sup>い</sup>かれました。

5: みな<sup>かんが</sup>さんで 考<sup>かんが</sup>えてください。



例: はは 母は <sup>につき</sup>わたしの日記を <sup>よ</sup>読みました。

➤ <sup>はは</sup>(わたしは) <sup>につき</sup>母に <sup>よ</sup>日記を 読まれました。

1: おとうと 弟は <sup>た</sup>わたしの ケーキを 食べました。

➤ <sup>おとうと</sup>わたしは <sup>た</sup>弟に ケーキを 食べられました。

2: こ 子どもが <sup>こわ</sup>わたしの パソコンを 壊しました。

➤ <sup>こ</sup>わたしは <sup>こわ</sup>子どもに パソコンを 壊されました。

3: でんしゃ 電車で <sup>となり</sup>隣の <sup>ひと</sup>人が <sup>あし</sup>足を <sup>ふ</sup>踏みました。

➤ <sup>でんしゃ</sup>わたしは <sup>となり</sup>電車で <sup>ひと</sup>隣の人に <sup>あし</sup>足を <sup>ふ</sup>踏まれました。

4: どろぼう 泥棒が <sup>きん</sup>金さんの <sup>さいふ</sup>財布を <sup>と</sup>盗りました。

➤ <sup>きん</sup>金さんは <sup>どろぼう</sup>泥棒に <sup>さいふ</sup>財布を <sup>と</sup>盗られました。

5: <sup>かんが</sup>みなさんで 考えてください。

➤

例: <sup>きゅう</sup>急に <sup>あそ</sup>マークさんが <sup>き</sup>遊びに <sup>こま</sup>来ました。 <sup>こま</sup>困りました。

↳ <sup>きゅう</sup>急に <sup>あそ</sup>マークさんに <sup>こ</sup>遊びに <sup>こま</sup>来られて <sup>こま</sup>困りました。

1: <sup>こ</sup>子どものころ <sup>ちちおや</sup>父親が <sup>し</sup>死に <sup>たいへん</sup>ました。 <sup>たいへん</sup>大変でした。

↳ <sup>こ</sup>子どものころ <sup>ちちおや</sup>父親に <sup>し</sup>死な <sup>たいへん</sup>れて <sup>たいへん</sup>大変でした。

2: <sup>きゅう</sup>急に <sup>あめ</sup>雨が <sup>ふ</sup>降りました。 <sup>ふ</sup>ぬれてしまいました。

↳ <sup>きゅう</sup>急に <sup>あめ</sup>雨に <sup>ふ</sup>降られて <sup>ふ</sup>ぬれてしまいました。

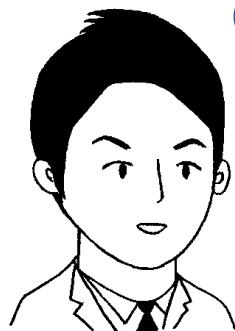
3: <sup>よる</sup>夜 <sup>こ</sup>子どもが <sup>な</sup>泣きました。 <sup>ね</sup>寝られませんでした。

↳ <sup>よる</sup>夜 <sup>こ</sup>子どもに <sup>な</sup>泣かれて <sup>ね</sup>寝られませんでした。

4: <sup>かんが</sup>みなさんで <sup>かんが</sup>考えてください。

↳

1. あなたが子どものころ、どんなことをほめられましたか/しかったですか。話してください。
2. あなたが 人からされて 困ったこと、嬉しかったことがありますか。話してください。



2020年に 東京で  
オリンピックが **行われます**



ねん とうきょう 2020年に 東京で オリンピック **を** おこな 行います。

ねん とうきょう 2020年に 東京で オリンピック **が** 行われます。



例: 2020年に 東京で オリンピックを 行います。

2020年に 東京で オリンピックが 行われます。

1: 水曜日に 日本語教室を 開いています。

水曜日に 日本語教室が 開かれています。

2: 1970年に 万博公園の 太陽の塔を 造りました。

1970年に 万博公園の 太陽の塔が 造られました。

3: リオデジャネイロで サッカーの ワールドカップを 開催します。

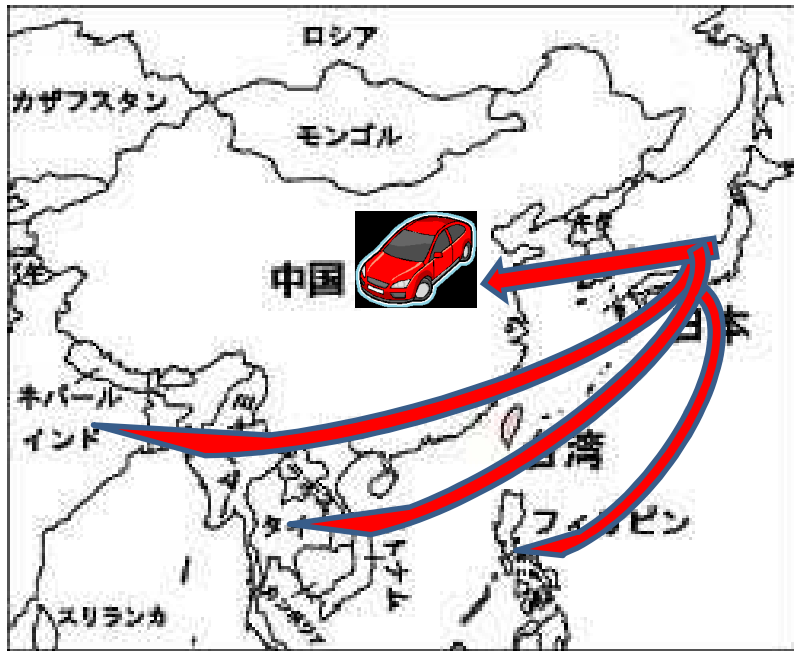
リオデジャネイロで サッカーの ワールドカップが 開催されます。

4: 去年 アベノハルカスを 建てました。

去年 アベノハルカスが 建てられました。

5: みなさんで 考えてください。






いろいろな国に 日本にほんの車くるま を 輸出ゆしゅつしています。

いろいろな国に 日本にほんの車くるま が 輸出ゆしゅつされています。

例: <sup>くに</sup> <sup>にほん</sup> <sup>くるま</sup> <sup>ゆしゆつ</sup>  
いろいろな国に 日本の車を 輸出しています。

 <sup>くに</sup> <sup>にほん</sup> <sup>くるま</sup> <sup>ゆしゆつ</sup>  
いろいろな国に 日本の車が 輸出されています。

1: <sup>かんじ</sup> <sup>ちゅうごく</sup> <sup>かんこく</sup> <sup>にほん</sup> <sup>つか</sup>  
漢字は 中国と 韓国と 日本で 使っています。

 <sup>かんじ</sup> <sup>ちゅうごく</sup> <sup>かんこく</sup> <sup>にほん</sup> <sup>つか</sup>  
漢字は 中国と 韓国と 日本で 使われています。


2: <sup>くに</sup> <sup>ご</sup> <sup>はな</sup>  
たくさんの国で スペイン語を 話しています。

 <sup>くに</sup> <sup>ご</sup> <sup>はな</sup>  
たくさんの国で スペイン語が 話されています。

3: <sup>せかいじゅう</sup> <sup>むらかみはるき</sup> <sup>ほん</sup> <sup>よ</sup>  
世界中で 村上春樹の本を 読んでいます。

 <sup>せかいじゅう</sup> <sup>むらかみはるき</sup> <sup>ほん</sup> <sup>よ</sup>  
世界中で 村上春樹の本が 読まれています。

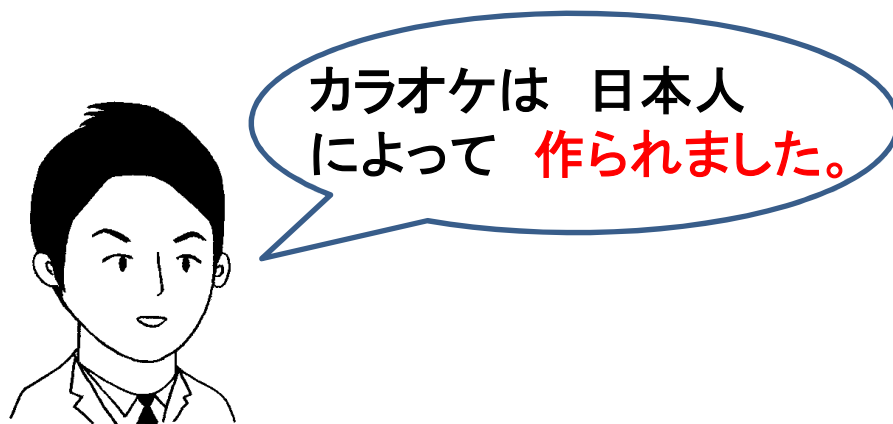
4: <sup>くに</sup> <sup>にほん</sup> <sup>み</sup>  
いろいろな国で 日本のアニメを 見えています。

 <sup>くに</sup> <sup>にほん</sup> <sup>み</sup>  
いろいろな国で 日本のアニメが 見られています。

5: <sup>かんが</sup>  
みなさんで 考えてください。







<sup>にほんじん</sup>  
 日本人 **が** カラオケ  
 カラオケ **は** <sup>にほんじん</sup> 日本人

つく  
 作りました。  
**を**  
 によって つく  
作られました。

例: 日本人<sup>にほんじん</sup>が カラオケ<sup>つく</sup>を 作りました。

カラオケ<sup>は</sup> 日本人<sup>にほんじん</sup>によって 作<sup>つく</sup>られました。

1: ノーベル<sup>はつめい</sup>が ダイナマイト<sup>はつめい</sup>を 発明<sup>はつめい</sup>しました。

ダイナマイト<sup>は</sup> ノーベル<sup>はつめい</sup>によって 発明<sup>はつめい</sup>されました。

2: シェークスピア<sup>か</sup>は 「ハムレット」<sup>か</sup>を 書<sup>か</sup>きました。

「ハムレット」<sup>は</sup> シェークスピア<sup>か</sup>によって 書<sup>か</sup>けられました。

3: スティーブ・ジョブズ<sup>しゃ そくりつ</sup>は アップル社<sup>しゃ</sup>を 創立<sup>そくりつ</sup>しました。

アップル社<sup>しゃ</sup>は スティーブ・ジョブズ<sup>そくりつ</sup>によって 創立<sup>そくりつ</sup>されました。

4: 豊臣秀吉<sup>とよとみひでよし</sup>が 大阪城<sup>おおさかじょう</sup>を 建<sup>た</sup>てました。

大阪城<sup>は</sup> 豊臣秀吉<sup>とよとみひでよし</sup>によって 建<sup>た</sup>てられました。

5: みなさん<sup>かんが</sup>で 考<sup>かんが</sup>えてください。



- あなたの国(くに)の有名(ゆうめい)な 建物(たてもの)/ 人物(じんぶつ)/行事(ぎょうじ)などについて調(しら)べて発表(はっぴょう)しましょう。
  
- 例(れい):  
アメリカ・・・自由(じゆう)の女神(めがみ)、フランス・・・エッフェル塔(とう)、  
中国(ちゅうごく)・・・万里(ばんり)の長城(ちょうじょう)

## 「(数量詞)ほど～」

数量詞について「だいたいの量・数」(概数)を表す。

「～ぐらい」の意味。

例: A:「何回電話しましたか。」  
B:「3回ほど電話しました。」

A:「車の修理にどれくらいかかりますか。」  
B:「4日ほどかかります。」

A:「パーティーには何人ぐらい集まりましたか。」  
B:「そうですね。 50人ほど集まったと思います。」

A:「あなたの国で 家を建てるのに いくらくらいかかりますか。」  
B:「5百万円ほど かかります。」



どのぐらい カットしますか。

5センチ ぐらい カットしてください。



いつ  
5センチ ほど カットしてください。

## (数量詞＋ほど)

例) A: <sup>くるま</sup>車の<sup>しゅうり</sup>修理に <sup>しゅうかん</sup>どのくらい かかりますか。

B: <sup>しゅうかん</sup>1週間 ⇒ <sup>しゅうかん</sup>1週間ほど かかります。

1) A: <sup>にほんご</sup>どれくらい 日本語を <sup>べんきょう</sup>勉強しましたか。

B: <sup>げつ</sup>6か月 ⇒ <sup>げつ</sup>6か月ほど <sup>べんきょう</sup>勉強しました。

2) A: <sup>なんにん</sup>パーティーには 何人 <sup>き</sup>来ましたか。

B: <sup>にん</sup>30人 ⇒ <sup>にん</sup>30人ほど <sup>き</sup>来ました。

3) A: <sup>くに</sup>あなたの国で <sup>けっこんしき</sup>結婚式に <sup>まんえん</sup>どのくらい かかりますか。

B: <sup>まんえん</sup>50万円 ⇒ <sup>まんえん</sup>50万円ほど かかります。

4) A: <sup>なんぼん</sup>パーティーの <sup>ようい</sup>ワイン 何本 <sup>ぼん</sup>用意しましょうか。

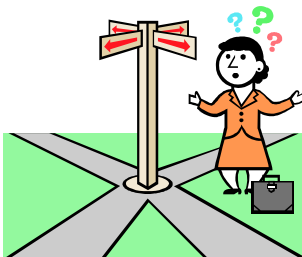
B: <sup>ぼん</sup>そうですね。、10本。 ⇒ <sup>ぼん</sup>そうですね、10本ほど <sup>ようい</sup>用意しましょう。

おわり

# くらしのにほんご とよなか

## VIII. 趣味・余暇 A

いえ つく  
「ぜひ家でも作ってみたいです。」





会話 A1

こくさいこうりゅう りょうりきょうしつ  
《 国際交流センターの料理教室で 》



こうし 講師 : はい、今日は 肉じゃがを 作りましょう。

みんな : はい。

こうし 講師 : 用意するものは 何ですか。



ハスナ : 肉と ジャガイモです。

こうし 講師 : そうですね。肉は 牛肉でも豚肉でもいいです

きょう ぶたにく た  
今日は 豚肉を食べられない ハスナさんが い

そう 宋 : それから、たま にんじん  
玉ねぎと しらたきと、人参と グリー

こうし 講師 : 人参や グリーンピースは なくてもいいですが、

えいよう いろ きょう い  
栄養があるし、色も きれいだから、今日は

会話 A 2

こくさいこうりゅう りょうりきょうしつ  
《 国際交流センターの料理教室で 》



こうし 講師 : まず、ジャガイモと 人参と 玉ねぎの皮を 剥  
これぐらいの大きさに 切ってください。

みず  
ジャガイモは 水に さらしておきます。

そう 宋 : 水に さらすって、どういう意味ですか。

こうし 講師 : 切った野菜を 水につけておくことですよ。

みず お  
ジャガイモは 水に さらさないで置いておくと、  
いろ わる  
色が 悪くなってしまうです。

~~~~~

こうし 講師 : はい、できましたね。では、お皿に 入れまし。

さら い うえ  
お皿に入れたら、グリーンピースを 上からパ

で き あ た  
これで出来上がりです。では、食べましょう。



会話 A 3

《 国際交流センターの料理教室で 》



そう  
宋 : おいしいですか。

ハスナ : とても おいしいです。

いえ いちど つく  
ぜひ家で もう一度 作ってみたい

そう  
宋 : 私も じょうず 上手に できました。よかった



会話 A1

こくさいこうりゅう りょうりきょうしつ  
《 国際交流センターの料理教室で 》



こうし 講師 : はい、今日は 肉じゃがを 作りましょう。

みんな : はい。

こうし 講師 : 用意するものは 何ですか。

ハスナ : 肉と ジャガイモです。



こうし 講師 : そうですね。肉は 牛肉でも豚肉でもいいじゃ、

今日は 豚肉を食べられない ハスナさんが いますから、牛肉にします。

そう 宋 : それから、玉ねぎと しらたきと、人参と グリーンピースです。

こうし 講師 : 人参や グリーンピースは なくてもいいですが、

栄養があるし、色も きれいだから、今日は 入れましょう。



～し、～し／～し～から



[ス8]



会話 A 2

こくさいこうりゅう りょうりきょうしつ  
《 国際交流センターの料理教室で 》



こうし 講師 : まず、ジャガイモと にんじん たま かわ  
これぐらいの大きさに き 切ってください。

みず  
ジャガイモは 水に さらしておきます。

そう 宋 : みず 水に さらすって、い み どういう意味ですか。

こうし 講師 : き やさい みず 切った野菜を 水につけておくことですよ。

みず 水に さらさないで お 置いておくと、

いろ 色が わる 悪くなってしまう。



～て／～ないで



[ス18]

～くなります／～になります



[ス25]



会話 A 3

《 国際交流センターの料理教室で 》

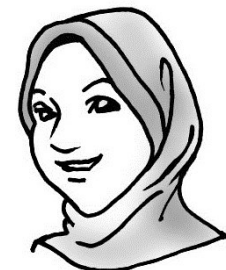


そう  
宋 : おいしいですか。

ハスナ : とても おいしいです。

いえ いちど つく  
ぜひ家で もう一度 作ってみたいです。

そう  
宋 : 私 わたし じょうず 上手に できました。よかった。



～てみます



[ス29]

形容詞＋動詞



[ス33]



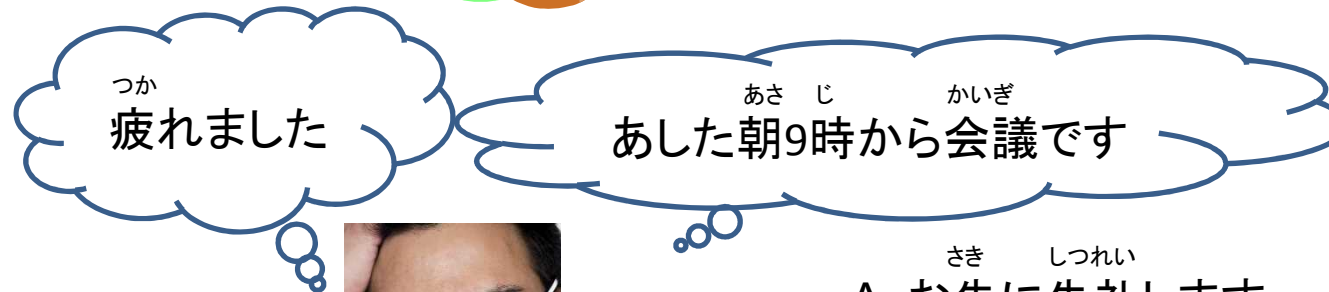
(～し～から)



<sup>いぬ す</sup>  
A: 犬が好きです。  
B: どうしてですか。

A: かわいいですから。

<sup>あたま</sup>  
A: かわいいし、頭もいいですから。



<sup>さき しつれい</sup>  
A: お先に失礼します。

<sup>かえ</sup>  
B: もう帰るんですか。

<sup>つか あさ じ かいぎ</sup>  
A: 疲れたし、あした朝9時から会議ですから。

(～し、～し、)

<意味>

状況・理由などを述べる時、ひとつだけでなく他に[つけ加える]という話し手のニュアンスを表す表現。

<内容>

1) 複数の理由 I. [～し、～から]

例:「どうしてベトナムが好きなんですか。」

「食べ物もおいしいし、物価も安いですから。」

2) 複数の理由 II. [～し、～し、結論]

例:「ベトナムは食べ物もおいしいし、物価も安いし、わたしはベトナムが好きです。」

3) 状況・状態の「追加」(何かを説明するとき) [～し、～し、それに～]

例:「ベトナムは食べ物もおいしいし、物価も安いし、それに人も明るいです。」  
「それに」はない場合もある。





### <助詞の変化>

助詞「が」「を」などは「も」になる場合が多い。

例:「ベトナムは食べ物がおいしいです。物価が安いです。人が明るいです。」

⇒「ベトナムは食べ物もおいしいし、物価も安いし、人も明るいです。」

例:「私はお酒を飲みます。タバコを吸います。」

⇒「私はお酒も飲むし、タバコも吸います。」

### <普通形への変化>

「～し、」の前の述語は普通形にするのが一般的だが、丁寧形のままだもよい。

例:「ベトナムは食べ物もおいしい(です)し、物価も安い(です)し、……」

「私はお酒も飲む(飲みます)し、タバコも吸います。」



かれ けっこん  
どうして 彼と結婚したんですか。

やさしい

し、

まじめです

から。

とし  
年 も

ちか  
近い

しゅみ  
趣味 も

あ  
合います

ハンサムだ

あたま  
頭 も

いいです

ユーモア も ある

せいかく  
性格 も

いいです



い  
どうしてよくあのレストランへ行くんですか。

やす

安いです

おいしいです

やす

安いし、おいしいですから。

ちか

近いです

おお

メニューが多いです

ちか

近いし、メニューも多いですから。

おお

きれいです

サービスがいいです

きれいだし、サービスもいいですから。

い  
どうしてみんなといっしょにカラオケに行かないんですか。

しごと

仕事があります

かね

お金がありません

しごと

仕事もあるし、お金もありませんから。

かね

つか

疲れています

いた

のどが痛いです

つか

疲れているし、のども痛いですから。

いた

うた にがて

歌は苦手です

やくそく

ほかに約束があります

うた にがて

歌は苦手だし、ほかに約束もありますから。

やくそく

(~し、~し、...)

いぬ す  
犬が大好きです。

かわいいです。

あたま  
頭がいいです。

あたま いぬ す  
かわいいし、頭もいいし、犬が大好きです。

さき しつれい  
お先に失礼します。

つか  
疲れました。

あさ じ かいぎ  
あした朝9時から会議です。

つか あさ じ かいぎ さき しつれい  
疲れたし、あした朝9時から会議だし、お先に失礼します。



ひと ぶん  
一つの文にしましょう。

い  
1) タクシーで行きましょう

じかん  
時間がありません

あめ ふ  
雨が降っています


しょくじ  
2) そろそろ食事にしましょう

つか  
疲れました

なか  
お腹がすきました


た  
3) このレストランで食べましょう

やす  
安いです

おお  
メニューが多いです


4) このノートパソコンにしましょう

かる  
軽いです

つか  
使いやすいです



# (～し、～し、それに...)

1)



A: マークさんはどんな人ですか。

B: 頭あたまもいいし、楽しいたのし、それに親切しんせつな人ひとですよ。

2)

A: 豊中とよなかはどんな町まちですか。

B: 静かしずだし、便利べんりだし、それに安全あんぜんな町まちですよ。

3)



A: 新しくできたスーパーはどうですか。

B: 品物しなものも安いやすし、新鮮しんせんだし、それにサービスもいいですよ。

B2: う～ん、あまり... 高いたかし、品物しなものもよくないですね。

## れんしゅう

ひだり みぎ く あ せつめい ぶん つく  
左のことばと右のことばを組み合わせて、「～し～し」で説明する文を作しましょう。

あたら  
Q: 新しい～はどうですか。

あたら  
新しいパソコン

たら がくせい  
新しいバイトの学生

新しいレストラン

わる  
サービスがいい／悪い

かんたん  
簡単

つか  
使いやすい／にくい

おいしい

はたら  
よく働く

かる  
軽い

やす  
よく休む

むずか  
難しい

まじめだ

こえ おお  
声が大きい

きれいだ

たか  
高い



あなたのおすすめを教えてください

レストラン

か もの ばしょ  
買い物の場所

病院  
びょういん

けんこうほう  
健康法

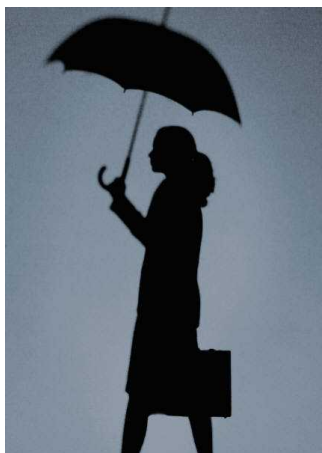
えいが  
映画

こうえん  
公園

れい わたし こうえん  
例) 私のおすすめの公園は  
はっとり りよくち こうえん  
服部緑地公園です。  
はっとり りよくち こうえん ひろ  
服部緑地公園は広いし、  
き おお  
木も多いし、いろいろな  
スポーツもできます。



(～て～)



ぼうしを かぶって  
かさを さして で 出かけます。  
コート<sup>き</sup>を 着て



どうし けい どうし  
動詞1 <て形> + 動詞2

# 【言ってください】

ドリル

1)



めがねをかけて新聞を読みます  
しんぶん よ

2)



鍵をかけて出かけます  
かぎ で

3)



かさを持って出かけます  
も で

4)



立って電話をかけます  
た でんわ

5)



座って寝ます  
すわ ね

6)



寝て本を読みます  
ねほんよ



## (～ないで～ 1)



めがねをかけて本<sup>ほん</sup>を<sup>よ</sup>読みます。

めがねをかけないで本を読みます。

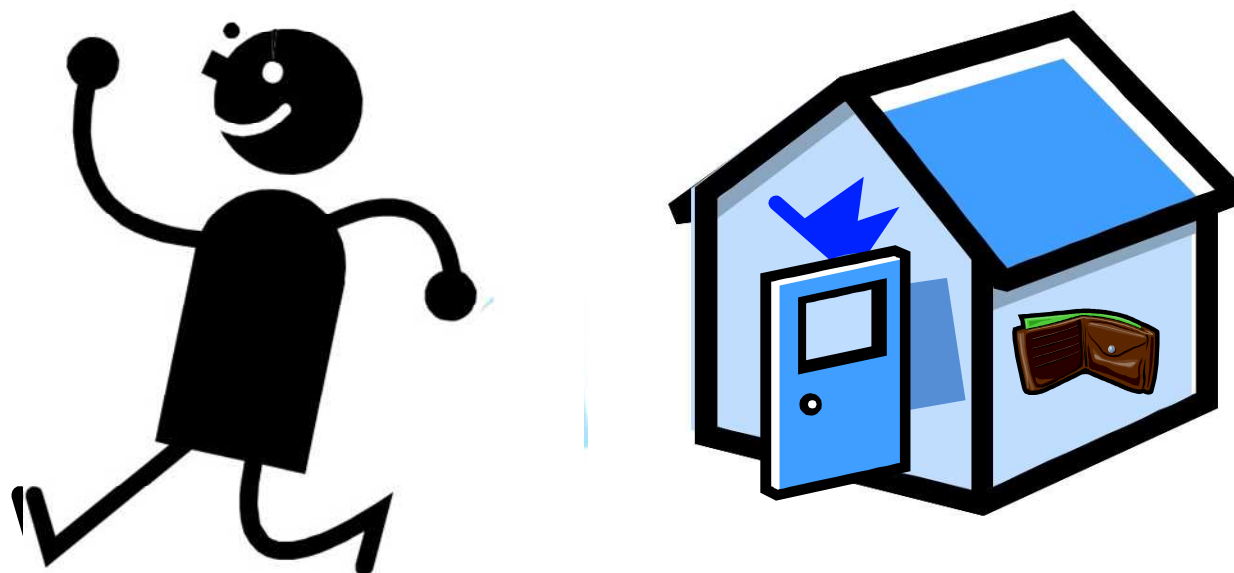


かさ<sup>も</sup>を持って<sup>で</sup>出かけました。

かさを持たないで出かけました。

どうし 動詞1    けない形    どうし 動詞2

【言ってください】



ぼうしを かぶらないで 出かけます。

かばんを 持たないで 出かけます。

さいふを 持たないで 出かけます。

ドアを閉めないで 出かけます。



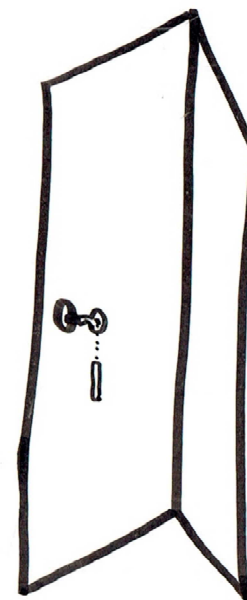
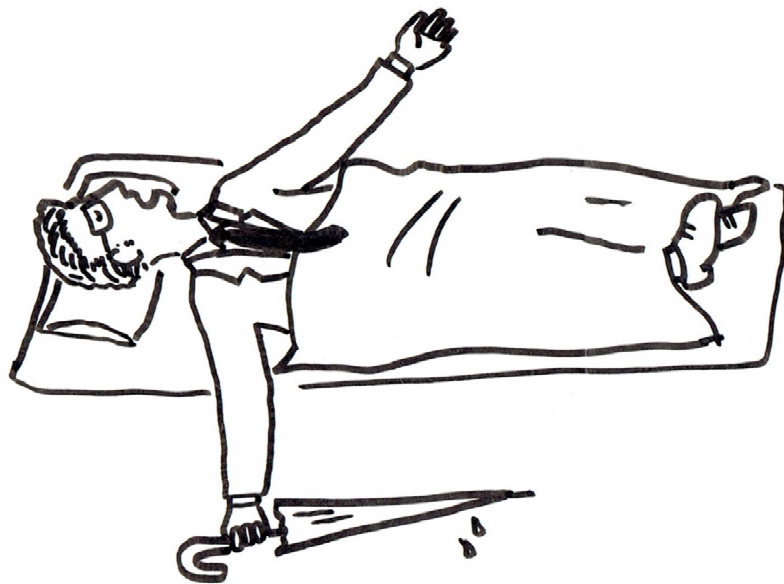
## れんしゅう

やまだ さけ す  
山田さんはお酒が好きです。

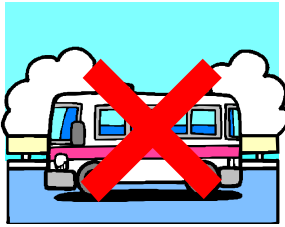
きょう さけ の かえ  
今日もお酒をたくさん飲んだ帰ってきました。

でも、いろいろなことをしないで寝てしまいました。

なに なに ね  
何をして／何をしないで寝てしまいましたか。



(～ないで～ 2)



の  
バスに乗りません



ある  
歩きます

の  
バスに乗らないで ある  
歩きます。



た  
ケーキを食べません



リンゴを食べます

た  
ケーキを食べないで  
た  
リンゴを食べます。



ね  
寝ませんでした



べんきょう  
勉強しました

ね  
寝ないで べんきょう  
勉強しました。



# 【言ってください】

で  
どこも出かけません

いえ  
家にいます

の  
エレベーターに乗りません

かいだん    つか  
階段を使います

ね  
きのう寝ませんでした

えいが    み  
映画を見ました

い  
レストランへ行きません

いえ    しょくじ  
家で食事しましょう

す  
捨てません

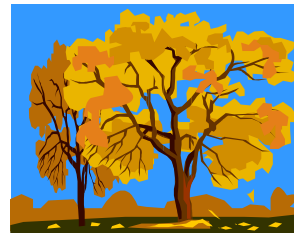
しゅうり  
修理します

ひとり    き  
一人で決めません

そうだん  
相談してください



(～く／になります)



きいろ  
黄色くなります



きれいになります



いしや  
医者になります



よくなります





けいようし  
い形容詞 ~~い~~

+く

けいようし  
な形容詞 ~~な~~

+に

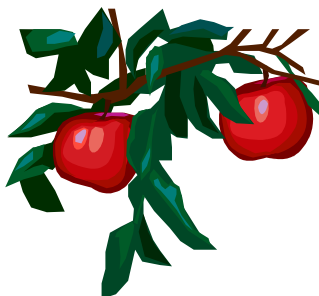
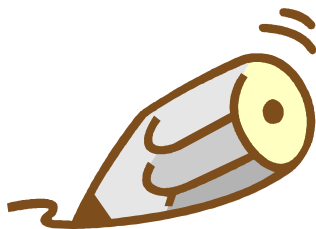
めいし  
名詞

+に

なります



どうなりますか。



～てみます

教師用メモ

「～てみます」は「おいしいかどうか」「サイズが合うかどうか」などを確かめるために、試す、という意味で使います。

また、まだ経験していないことを経験したいというようなときにも使います。

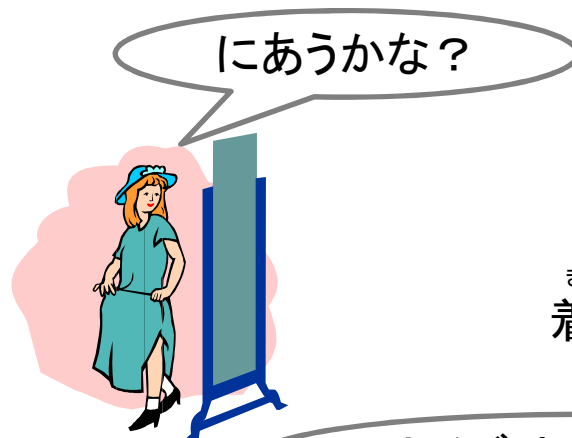
例) 北海道へ行ってみたいです。

てんぷらを食べてみたいです。



(～てみます)

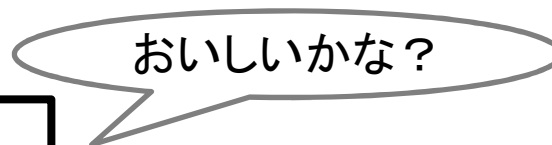
みせ  
お店で



き  
着てみます



はいてみます



た  
食べてみます

りょうり つく  
料理を作りながら



どうし けい  
動詞 て形 + みます

き  
着ます

き  
着てみます

はきます

はいてみます

の  
乗ります

の  
乗ってみます

い  
行きたいです

い  
行ってみたいです

き  
聞きたいです

き  
聞いてみたいです

か  
書いてください

か  
書いてみてください

でんわ  
電話してください

でんわ  
電話してみてください

た  
食べてください

た  
食べてみてください

の  
飲んでもいいですか

の  
飲んでみてもいいですか



## れんしゅう



とき い  
こんな時、どう言いますか。

きやく くるま  
客: この車、いいですね。

てんいん  
店員: いいですよ。どうぞ。



きやく  
客: あのギター、

てんいん  
店員: いいですよ。どうぞ。



わたし つく  
私が作ったケーキです。



にほん い  
日本で、してみたいこと、行ってみたいところがありますか。  
みな はな  
みんなで話してみましよう。

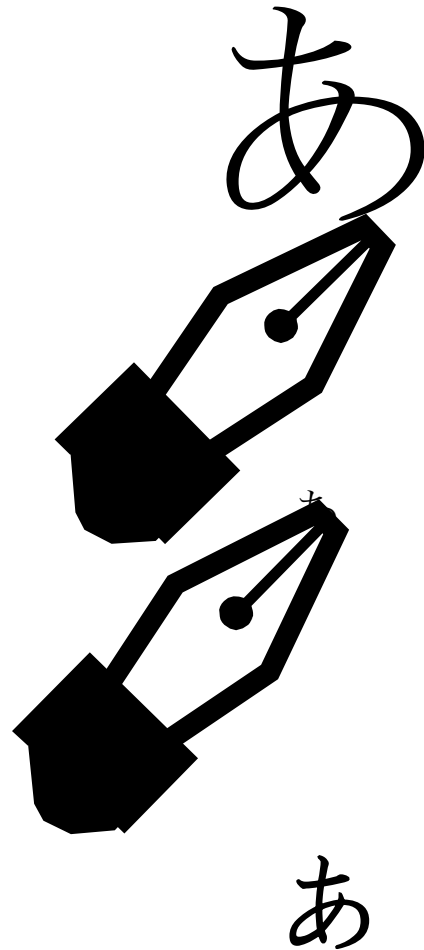
れい わたし おきなわ い  
例)私は 沖縄へ 行ってみたいです。

おきなわ うみ み  
沖縄で きれいな 海を 見たいです。

おきなわ おんがく き  
沖縄の 音楽も 聞きたいです。



けいようし どうし  
(形容詞＋動詞)



か  
書きます

おお  
大きいです



おお か  
大きく 書きます

か  
書きます

ちい  
小さいです



ちい か  
小さく 書きます

か  
書きます

ていねい  
丁寧です



ていねい か  
丁寧に 書きます



けいようし  
い形容詞 ~~い~~

+く

けいようし  
な形容詞 ~~な~~

+に

～ます



# 〔言ってください〕

れい お  
例) 起きます

はや  
早いです

→

はし  
走ります

はや  
速いです

→

うた  
歌います

じょうず  
上手です

→

そうじ  
掃除します

きれいです

→

せつめい  
説明します

くわ  
詳しいです

→

おど  
踊りたいです

じょうず  
上手です

→

べんきょう  
勉強してください

まじめです

→



## れんしゅう

ひだり ぶん

左の文のようなとき、どうしますか。右の形容詞と動詞を使って文を作ってください。

みぎ けいようし どうし つか ぶん つく

あか

ね

赤ちゃんが寝ています

あさ じ

あしたの朝6時の

しんかんせん の

新幹線に乗ります

ともだち

あそ

き

友達が遊びに来ます

あしたテストがあります

じ

よ

字が読めません

スピーチコンテストです

はやいです

じょうず

上手です

まじめです

しず

静かです

きれいです

おお

大きいです

ていねい

丁寧です

お

起きます

ね

寝ます

はし

走ります

ある

歩きます

そうじ

掃除します

はな

話します

か

書きます

れんしゅう

練習します

にく つく かた  
肉じゃがの作り方♪

材料(二人分)

肉(牛肉または豚肉のうす切り) 100g  
じゃがいも 2~3個  
たまねぎ 1個  
にんじん 1/2本  
しらたき 1袋  
さとう大さじ 2  
しょうゆ大さじ 1~2



Koji Horaguchi  
<http://www.flickr.com/photos/horaguchi/5501985108/>(CC BY 2.0)

- 1)じゃがいもの皮をむき、4分の1か6分の1ぐらいに切り、水につけて、さらしておく。たまねぎ、にんじんは皮をむいて一口大に切る。しらたきはお湯であく抜きをし、食べやすい長さに切っておく。
- 2)じゃがいも、にんじん、たまねぎを鍋かフライパンに入れ、1カップの水を入れて、ふたをして強火で煮る。(たまねぎは少し後でもいい)
- 3)沸騰して3分ぐらいしたら肉としらたきを入れ、砂糖を入れ、しょうゆを入れる。(しょうゆは少なめに入れ、後で味を見ながら足す)
- 4)沸騰して10分ぐらいでふたを取り、煮汁を煮詰めてできあがり。(煮汁は残っていてもいい)



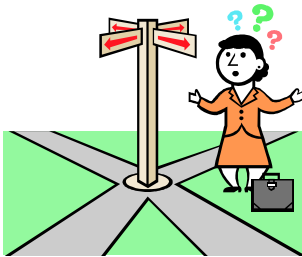
おわり



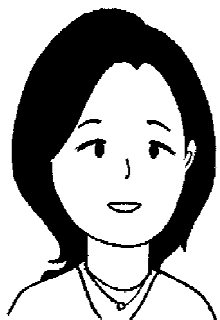
# くらしのにほんご とよなか Ⅷ. 余暇C

さどう つづ

「これからも茶道を続けるつもりです。」



## 会話（会社で）



にしだ  
西田 : マークさん、きのうの<sup>ちやか</sup>お茶会はどうでしたか

マーク : びっくりしました。

にしだ  
西田 : どうしたんですか。

さ どう すわ むずか  
マーク : 茶道って、座るのも難しいんですね。

いちばんはし せき すわ ちゅうい  
一番端の席に座ったら注意されました。

にしだ  
西田 : あ、<sup>いちばんはし</sup>一番端の席は、<sup>ひ</sup>その日の「主賓」が

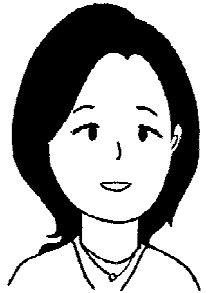
マーク : そうですか。

ちゃ じ かん なが  
それにお茶をいただく時間が長すぎます。

お た あし いた た  
終わって立とうとしたとき、足が痛くて立てま



## 会話（会社で）



にしだ            せいざ            たいへん  
西田    :   正座するのは 大変でしょう？

なが すわ                            ちゃかい    い    まえ    まいにちれ.  
マーク :   長く座れるように、 お茶会に行く前に毎日続

にしだ                            さ どう  
西田    :   じゃ、もう茶道はやめますか。

                                 おもしろ    にほん    ぶんか  
マーク :   いいえ、 とても面白いし日本の文化がわか

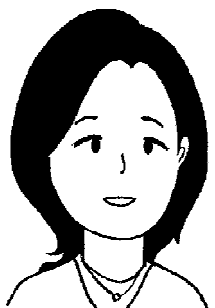
                                 つづ  
                                 これからもずっと続けるつもりです。

にしだ    さ どう    す  
西田    :   そうですね。 きっとますます茶道が好きにな





## 会話（会社で）



にしだ  
西田 : マークさん、きのうのお茶会<sup>ちやかい</sup>はどうでしたか。

マーク : びっくりしました。

にしだ  
西田 : どうしたんですか。

さ どう すわ むずか  
マーク : 茶道<sup>さ どう</sup>って、座<sup>すわ</sup>るのも難<sup>むずか</sup>しいんですね。

いちばんはし せき すわ ちゅうい  
一番端<sup>いちばんはし</sup>の席<sup>せき</sup>に座<sup>すわ</sup>ったら注意<sup>ちゅうい</sup>されました。

にしだ  
西田 : あ、一番端<sup>いちばんはし</sup>の席<sup>せき</sup>は、その日の「主賓<sup>しゅひん</sup>」が 座<sup>すわ</sup>る席<sup>せき</sup>なんですよ。

マーク : そうですか。

ちや じ かん なが  
それにお茶<sup>ちや</sup>をいただく時間<sup>じ かん</sup>が長<sup>なが</sup>すぎます。

お た あし いた た  
終わ<sup>お</sup>って立<sup>た</sup>とうとしたとき、足<sup>あし</sup>が痛<sup>いた</sup>くて立<sup>た</sup>てませんでした。



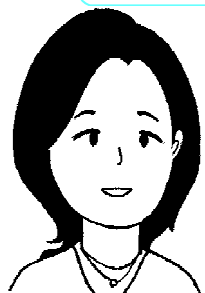
～すぎます



[ス7]

会話（会社で）

《 VIII. C 余暇 -2 》



にしだ せいざ たいへん  
西田 : 正座するのは 大変でしょう？

なが すわ ちゃかい い まえ まいにちれんしゅう  
マーク : 長く座れるように、お茶会に行く前に毎日練習していたのに・・・。

にしだ さ どう  
西田 : じゃ、もう茶道はやめますか。

おもしろ にほん ぶんか  
マーク : いいえ、とても面白いし日本の文化がわかるし、

つづ  
これからもずっと続けるつもりです。

にしだ さ どう す  
西田 : そうですね。きっとますます茶道が好きになるでしょう。

～のに～



[ス13]

～つもりです



[ス21]

～でしょう



[26]



## (～すぎます)

- 「～すぎます」は動作や状態の程度が度を越していることを表す。従って、普通あまり望ましくない状態の場合に使われる。
- 「～すぎます」によって動詞は複合動詞となり、形容詞は動詞化して、いずれもⅡグループの活用になる。



(～すぎます)

はん た  
ご飯を たくさん 食べました。

き も わる  
気持ちが 悪いです。



はん た  
ご飯を 食べすぎました。



# (～すぎます)

いそが  
とても 忙しいです。

やす じかん  
休む 時間が ありません。



いそが  
忙しすぎます。



こ げんき  
子どもは 元気です。

ときどき けがをします。



こ げんき  
子どもは 元気すぎます。



**V**ます形

い形容詞 (~~～い~~)

な形容詞 [~~な~~]

**すぎます**



ごはんを

た  
食べ

すぎました。

テレビを

み  
見

カラオケで

うた  
歌い



例: このケーキ・<sup>おお</sup>大きい。 <sup>はんぶん</sup>半分にしましょう。

➤ このケーキは<sup>おお</sup>大きすぎます。 <sup>はんぶん</sup>半分にしましょう。

1: <sup>やちん</sup>家賃<sup>まんえん</sup>10万円・<sup>たか</sup>高い。 <sup>やす</sup>もっと安いところを探します。 <sup>さが</sup>

➤ <sup>やちん</sup>家賃10万円は<sup>まんえん</sup>高すぎます。 <sup>たか</sup>もっと安いところを探します。 <sup>やす</sup> <sup>さが</sup>

2: <sup>かね</sup>バーゲンセールで<sup>つか</sup>お金を使いましたので <sup>かね</sup>お金がありません。

➤ <sup>かね</sup>バーゲンセールで<sup>つか</sup>お金を使いすぎましたので、<sup>かね</sup>お金がありません。

3: <sup>みせ</sup>この店は<sup>はなし</sup>にぎやかですね。 <sup>はなし</sup>話ができませんね。

➤ <sup>みせ</sup>この店は<sup>はなし</sup>にぎやかすぎますね。 <sup>はなし</sup>話ができませんね。

4: <sup>きのう</sup>昨日はちょっと <sup>きび</sup>厳しいことを <sup>い</sup>言いました。 <sup>い</sup>ごめんなさい。

➤ <sup>きのう</sup>昨日はちょっと <sup>きび</sup>厳しいことを <sup>い</sup>言いすぎました。 <sup>い</sup>ごめんなさい。

5: <sup>かんが</sup>みなさんで <sup>かんが</sup>考えてください。

➤



## 「～のに、～」

「～のに、～」は、前に述べられた事実から、当然予想される結果とは違う結果が、後に述べられるときに用いられる。後述の部分でその意外感、不満感が表される。

## 「～のに」「～ても」「～が」の相違点

「～のに」「～が」の 違い

「～のに」は必ず話し手の不満や意外感の気持ちが込められるが、「～が」は前件と後件の事実関係を単に対立的に捉えるだけで、話者のムードは含まない中位的な表現である。

例： わたしの 夫は ハンサムですが、 背が 低いです。  
「良いこと」⇔「悪いこと」

「～のに」「～ても」の 違い

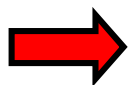
「～のに」は 既定の事実のみ

例： × あした 晴れるのに、出かけません。  
○きのう 晴れたのに、出かけませんでした。

(～のに～)



ねつ 熱が あります。くすり の 薬を 飲みました。でも ねつ さ 熱が 下がりません。



くすり の 薬を 飲んだ **のに** ねつ さ 熱が 下がりません。



ねつ さ 熱が 下がりません。でも はたら 働きます。

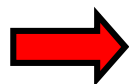


ねつ さ 熱が下がらない **のに** はたら 働きます。

(～のに～)



くるま あたら この車は新しいです。 こしょう でも、よく故障します。

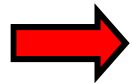


くるま あたら この車は新しい のに こしょう よく故障します。

(～のに～)



この <sup>かしゅ</sup>歌手は <sup>ゆうめい</sup>有名です。 でも <sup>うた</sup>歌が <sup>へた</sup>下手です。



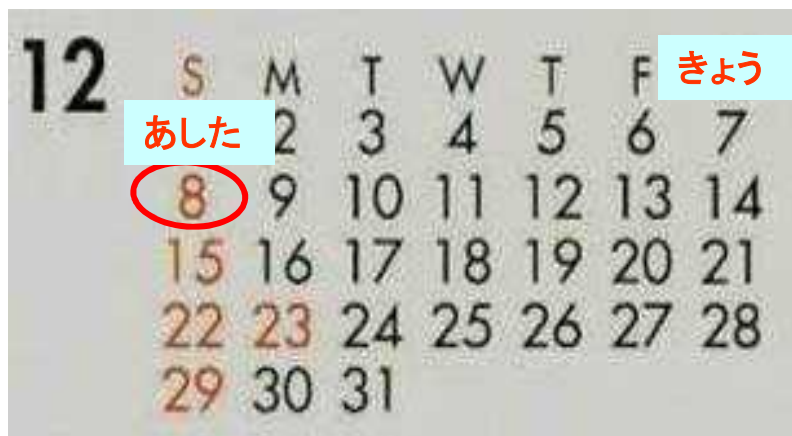
この <sup>かしゅ</sup>歌手は <sup>ゆうめい</sup>有名な **のに** <sup>うた</sup>歌が <sup>へた</sup>下手です。

<sup>うた</sup>歌が <sup>じょうず</sup>上手じゃないです。 でも <sup>にんき</sup>人気があります。

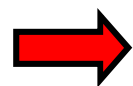


<sup>うた</sup>歌が <sup>じょうず</sup>上手じゃない **のに** <sup>にんき</sup>人気があります。

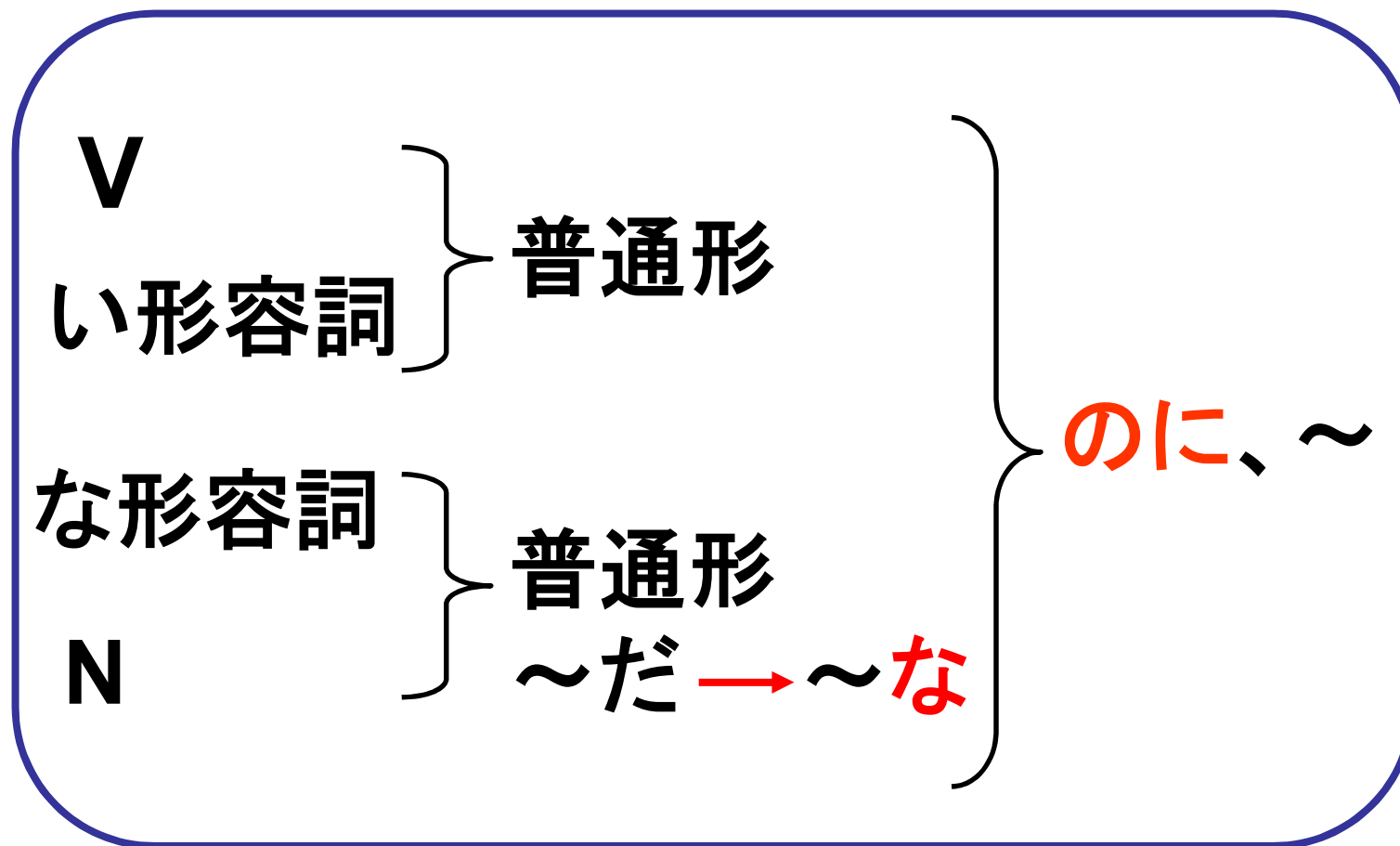
(～のに～)



あしたは <sup>にちようび</sup>日曜日です。でも <sup>はたら</sup>働きます。



あしたは <sup>にちようび</sup>日曜日<sup>な</sup> <sup>はたら</sup>のに 働きます。



くすりを <sup>の</sup>飲んだ <sup>のに、</sup> <sup>ねつ</sup> <sup>さ</sup>熱が下がりません。

<sup>ねつ</sup>熱が <sup>さ</sup>下らない

<sup>はたら</sup>働きます。

<sup>くるま</sup>この車は <sup>たか</sup>高かった

<sup>こしょう</sup>よく故障します。

<sup>かしゅ</sup>この歌手は <sup>ゆうめい</sup>有名な

<sup>うた</sup> <sup>じょうず</sup>歌が上手じゃありません。

あしたは 日曜日な

<sup>はたら</sup>働きます。



例: よく寝ねました・ ねむいです。

よく寝ねたのに、ねむいです。

1: 薬くすりを飲のみました・ 風邪かぜが治なおりません。

薬くすりを飲のんだのに、風邪かぜが治なおりません。

2: 梅雨つゆです・ 雨あめが降ふりません。

梅雨つゆなのに、雨あめが降ふりません。

3: あのレストランはおいしいです・ お客きやくさんが来きません。

あのレストランは おいしいのに、お客きやくさんが来きません。

4: 宋そうさんは料理りょうりが上じょうず手です・ あまり作つくりません。

宋そうさんは料理りょうりが上じょうず手なのに、あまり作つくりません。

5: みなさんで 考かんがえてください。





## [V辞書形]／[Vない形]＋つもりです

### <意味>

「話し手が将来計画している具体的な行為」を表す文型。

[V意向形]＋と思っています とほとんど同じだが、話し手自身の確信度が高い。



(～つもりです)

導入1

<sup>だいがく</sup> トウイさんは <sup>ねんせい</sup> 大学4年生です。トウイさんは <sup>かんが</sup> 考えています。

<sup>だいがく</sup> <sup>そつぎょう</sup> 大学を卒業したら、<sup>にほん</sup> <sup>い</sup> 日本へ行こう。

<sup>にほん</sup> <sup>だいがくいん</sup> 日本の大学院でもっと <sup>にほんご</sup> <sup>べんきょう</sup> 日本語を勉強しよう。

<sup>かね</sup> お金がないからアルバイトをしよう。

<sup>かえ</sup> <sup>にほんご</sup> <sup>せんせい</sup> ベトナムへ帰ったら日本語の先生になろう。



<sup>だいがく</sup> <sup>せんせい</sup> <sup>はな</sup> 大学で先生と話しました。

先生: <sup>だいがく</sup> <sup>そつぎょう</sup> 大学を卒業したらどうする？

トウイ: <sup>にほん</sup> <sup>い</sup> <sup>おも</sup> 日本へ行こうと思っています。

先生: <sup>にほん</sup> <sup>なに</sup> 日本で何をするの？

トウイ: <sup>にほん</sup> <sup>だいがくいん</sup> <sup>にほんご</sup> <sup>べんきょう</sup> <sup>おも</sup> 日本の大学院でもっと日本語を勉強しようと思っています。

先生: <sup>かね</sup> いいね。それでお金は？

トウイ: <sup>かね</sup> お金がないですから、アルバイトをするつもりです。

先生: <sup>たいへん</sup> <sup>だいがくいん</sup> <sup>お</sup> そう。大変だね。大学院が終わったら？

トウイ: <sup>かえ</sup> <sup>にほんご</sup> <sup>おし</sup> ベトナムへ帰って 日本語を 教えるつもりです。

<sup>だいがくいん</sup> <sup>お</sup> <sup>かえ</sup> 大学院が 終わるまで ベトナムへ 帰らないつもりです。



**V**ます形

**V**ない形

つもりです



わたしは

にほん  
日本で

はたら  
働く

つもりです。

にほんご しけん  
日本語の試験を

う  
受ける

パーティーに

さんか  
参加しない

ことし かいがいりょこう  
今年海外旅行に

い  
行かない



例: <sup>こんど</sup> 今度の <sup>にちようび</sup> 日曜日 <sup>なに</sup> 何をしますか。 <sup>えいが</sup> 映画 <sup>み</sup> を見 <sup>い</sup> に行きます。

➤ <sup>えいが</sup> 映画 <sup>み</sup> を見 <sup>い</sup> に行くつもりです。

1: <sup>けっこん</sup> マリアさんといつ結婚するんですか。 <sup>らいねん</sup> 来年 <sup>けっこん</sup> 結婚します。

➤ <sup>らいねん</sup> 来年 <sup>けっこん</sup> 結婚するつもりです。

2: <sup>にほんごのうりよくしけん</sup> 日本語能力試験を受けますか。 <sup>う</sup> はい、受けます。

➤ <sup>う</sup> はい、受けるつもりです。

3: <sup>だいがく</sup> 大学を卒業したら <sup>そつぎょう</sup> 日本 <sup>にほん</sup> で働 <sup>はたら</sup> きますか。 <sup>くに</sup> いいえ、国 <sup>かえ</sup> へ帰ります。

➤ <sup>くに</sup> いいえ、国 <sup>かえ</sup> へ帰るつもりです。

4: <sup>せんせい</sup> このことを先生 <sup>はな</sup> に話しますか。 <sup>はな</sup> いいえ、話しません。

➤ <sup>はな</sup> いいえ、話さないつもりです。

5: <sup>かんが</sup> みなさんで 考えてください。

➤

## (～でしょう)

[動詞]／[い形容詞] [普通形]

[な形容詞]／[名詞] [普通形] [~~た~~]

+でしょう

### <意味>

「話し手の推量」を表す文型。

「～かもしれません」に比べて、話し手がそのことを真実と考えている度合いが高く、「たぶん」「きっと」などと共に用いられることが多い。



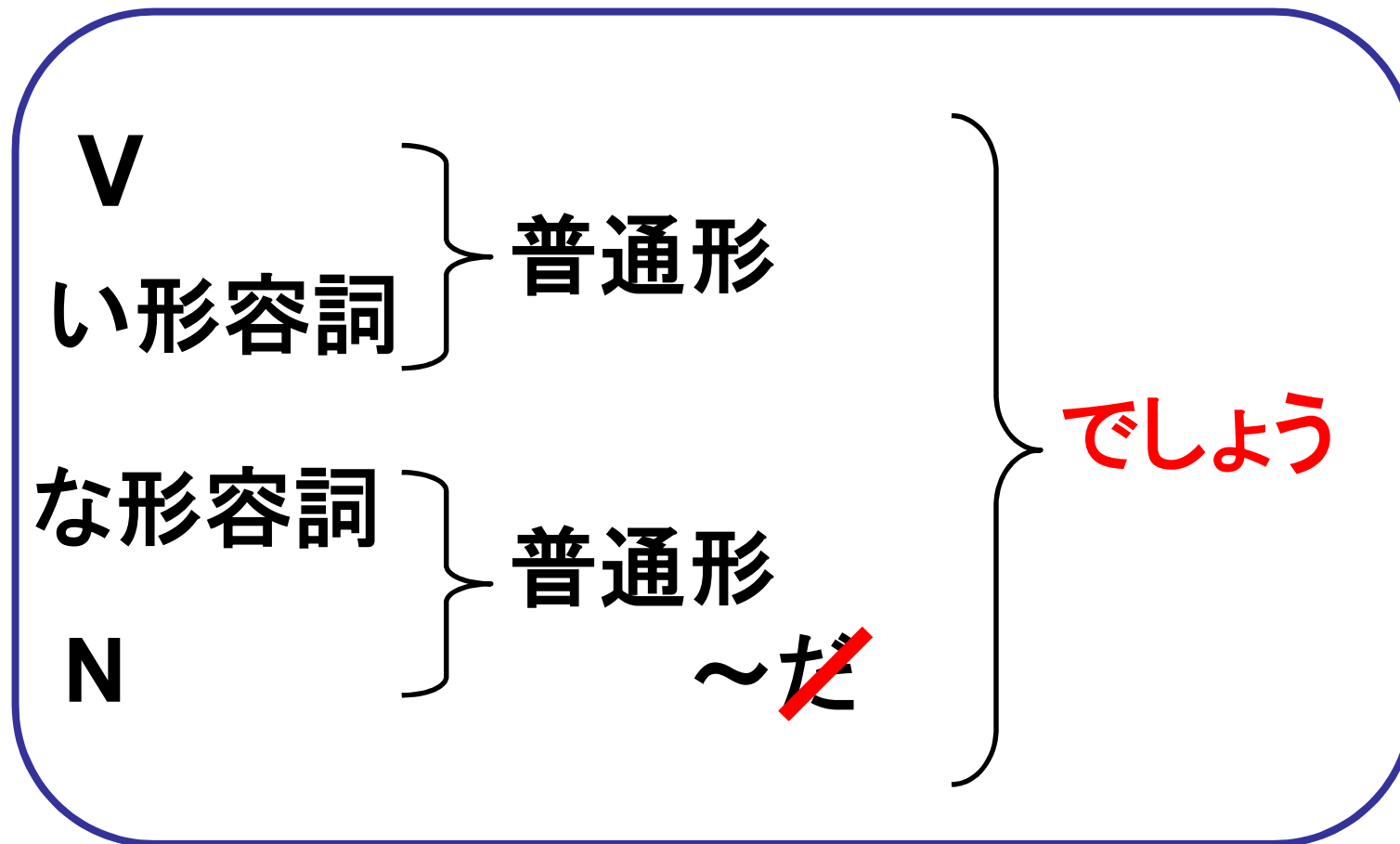
(~でしょう)

夕日がきれいですね。



そうですね。きっと明日も  
いい天気になるでしょう。







例: そら あか 空が明るくなってきたのもうすぐ あめ (雨がやみます。)

そら あか 空が明るくなってきたのもうすぐ あめ 雨がやむでしょう。

1: さいきん れんらく 最近連絡していないので国に りょうしん 両親は しんぱい (心配しています。)

さいきん れんらく 最近連絡していないので国に りょうしん しんぱい 心配しているでしょう。

2: にほんご あいさつ 日本語で挨拶もできないのだから日本にほん かいしゃ 会社で働くのは むり (無理です。)

にほんご あいさつ 日本語で挨拶もできないのだから日本にほん かいしゃ 会社で働くのは無理でしょう。

3: しごと いそが い 仕事が忙しいと言っていたのでマークさんにほんご クラスに き (来ません。)

しごと いそが い 仕事が忙しいと言っていたのでマークさんにほんご クラスに 来ないでしょう。

4: しょくりょうひん 食料品はコンビニで買うよりスーパーで買うほうが やす (安い。)

しょくりょうひん 食料品はコンビニで買うよりスーパーで買うほうが安いでしょう。

5: かんが みなさんで 考えてください。



## 【談話(だんわ)練習(れんしゅう)】

- AさんはBさんに聞(き)いてください。  
Bさんは「～つもりです」を使(つか)って、答(こた)えてください。
- ・ 今晚(こんばん)何(なに)をしますか。
  - ・ いつ国(くに)へ帰(かえ)りますか。
  - ・ 夏休(なつやす)みにどこへ行(い)きますか/何(なに)をしますか。
  - ・ 自由(じゆう)に質問(しつもん)してください。

## 【タスク】

- 日本(にほん)には「茶道(さどう)」「華道(かどう)」「歌舞伎(かぶき)」などの伝統的(でんとうてき)なものがあります。

あなたの国(くに)には、どのような伝統的(でんとうてき)なものがありますか。クラスで発表(はっぴょう)しましょう。

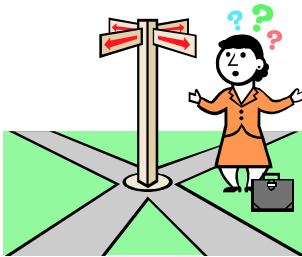


おわり



# くらしのにほんご とよなか IX. 通信 A

ゆうびんきょく き  
「郵便局で聞いてきます。」



会話 A1-1

《 松井<sup>まつい</sup>さんの家<sup>うち</sup>で 》



ハスナ : 松井<sup>まつい</sup>さん、すみません、聞<sup>き</sup>きたいことが

松井<sup>まつい</sup> : あら、ハスナさん、こんにち<sup>き</sup>は。聞<sup>き</sup>きたし

ハスナ : インドネシアに 荷物<sup>にもつ</sup>を 送<sup>おく</sup>りたいんですが、

いくらぐらいかかるかわかりますか。

松井<sup>まつい</sup> : あ、それ<sup>わたし</sup>は 私<sup>し</sup>も知りません。

国<sup>くに</sup>や重<sup>おも</sup>さによ<sup>ちが</sup>って 違<sup>ちが</sup>いますから…。

ハスナ : そう<sup>じつ</sup>ですか。 実<sup>じつ</sup>は、イン<sup>し</sup>ターネッ<sup>ら</sup>トで 調<sup>しら</sup>べ

全<sup>ぜんぶ</sup>部<sup>ぶ</sup> 日<sup>に</sup>本<sup>ほん</sup>語<sup>ご</sup>な<sup>ご</sup>ので わか<sup>わ</sup>らな<sup>な</sup>くて…。

松井<sup>まつい</sup> : あ、じゃあ、一<sup>いっしょ</sup>緒<sup>しょ</sup>に 見<sup>み</sup>てみ<sup>み</sup>ましょ<sup>う</sup>うか。

ハスナ : あ、あ<sup>あ</sup>りが<sup>あ</sup>ら<sup>ら</sup>ご<sup>ご</sup>ざ<sup>ざ</sup>い<sup>い</sup>ま<sup>ま</sup>す。

会話 A1-2

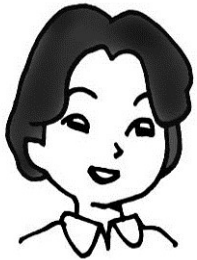
《 松井<sup>まつい</sup>さんの家<sup>うち</sup>で 》

まつい  
松井 : わあ、いろいろ種類<sup>しゅるい</sup>や 条件<sup>じょうけん</sup>が あるん

むずか わたし  
難しく<sup>むずか</sup>て私も わからない……。

ハスナ : じゃ、郵便局<sup>ゆうびんきょく</sup>で 聞<sup>き</sup>いてきます。

ありがとうございました。



会話 A 2-1

ゆうびんきょく  
《 郵便局で 》



ハスナ : 外国に 荷物を 送りたいんですが、い

ゆうびんきょくいん あてさき  
郵便局員: 宛先は どちらですか。

ハスナ : 宛先？

ゆうびんきょくいん おく  
郵便局員: どこに 送りますか。

ハスナ : インドネシアです。

ゆうびんきょくいん だいに ちい き  
郵便局員: インドネシアは 第二地域ですね。 ど

ハスナ : 1キロぐらいです。

ゆうびんきょくいん おお  
郵便局員: 大きさは どれぐらいですか。

ハスナ : ええと、これぐらいの 大きさです。



会話 A 2-2

ゆうびんきょく  
《 郵便局で 》



ゆうびんきょくいん  
郵便局員： それでしたら、 小型包装物で 送った方が

こうくうびん えん こうくうびん  
航空便は 1450円、 エコノミー航空便は

こうくうびん こうくうびん ちが  
ハスナ ： 航空便と エコノミー航空便は どう違いますか？

ゆうびんきょくいん こうくうびん しゅうかん つ  
郵便局員： 航空便は 1週間ぐらいで 着きます。

こうくうびん しゅうかん  
エコノミー航空便なら2週間は かかります。

しゅうかん  
ハスナ ： 2週間も かかるんですか。 わかりましたか？

ゆうびんきょくいん にもつ いちばん なが  
郵便局員： では、荷物は 一番長いところが 60センチ

なが はば あつ た  
長さ、幅、厚さを足して 90センチまでの

い もの い も  
入れ物に入れて 持ってきてください。

ハスナ ： ありがとうございます。



会話 A1-1

《 松井さんの家で 》



ハスナ : 松井さん、すみません、聞きたいことが あるんですが。

松井 : あら、ハスナさん、こんにちは。聞きたいことって 何ですか。

ハスナ : インドネシアに 荷物を 送りたいんですが、

いくらぐらいかかるかわかりますか。

松井 : あ、それは 私も知りません。

くに おも 国や重さによって ちが 違いますから…。

ハスナ : そうですか。実は、インターネットで 調べようと思ったんですが、

ぜんぶ にほんご 全部 日本語なので わからなくて…。

松井 : あ、じゃあ、一緒に 見てみませんか。

ハスナ : あ、ありがとうございます。



～によって

➡ [ス9]

会話 A1-2

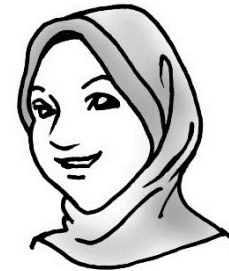
《 松井さんの家で 》

まつい  
松井 : わあ、いろいろ種類や 条件が あるんですね。

むづか わたし  
難しくても わからない……。

ゆうびんきょく き  
ハスナ : じゃ、郵便局で 聞いてきます。

ありがとうございました。



～て(原因・理由)



[ス12]

～てきます



[ス18]



会話 A 2-2

ゆうびんきょく  
《 郵便局で 》



ゆうびんきょくいん

郵便局員： それでしたら、 小型包装物で 送った方が 安いですよ。

こうくうびん えん こうくうびん えん  
航空便は 1450円、 エコノミー航空便は 880円です。

こうくうびん こうくうびん ちが  
ハスナ： 航空便と エコノミー航空便は どう違いますか。

ゆうびんきょくいん

こうくうびん しゅうかん つ  
郵便局員： 航空便は 1週間ぐらいで 着きます。

こうくうびん しゅうかん  
エコノミー航空便なら2週間<sup>は</sup> かかります。

しゅうかん  
ハスナ： 2週間<sup>も</sup> かかるんですか。 わかりました。

ゆうびんきょくいん

にもつ いちばん なが  
郵便局員： では、荷物は 一番長いところが 60センチまで、

なが はば あつ た  
長さ<sup>と</sup>幅<sup>と</sup>厚さ<sup>を</sup>足して 90センチまでの

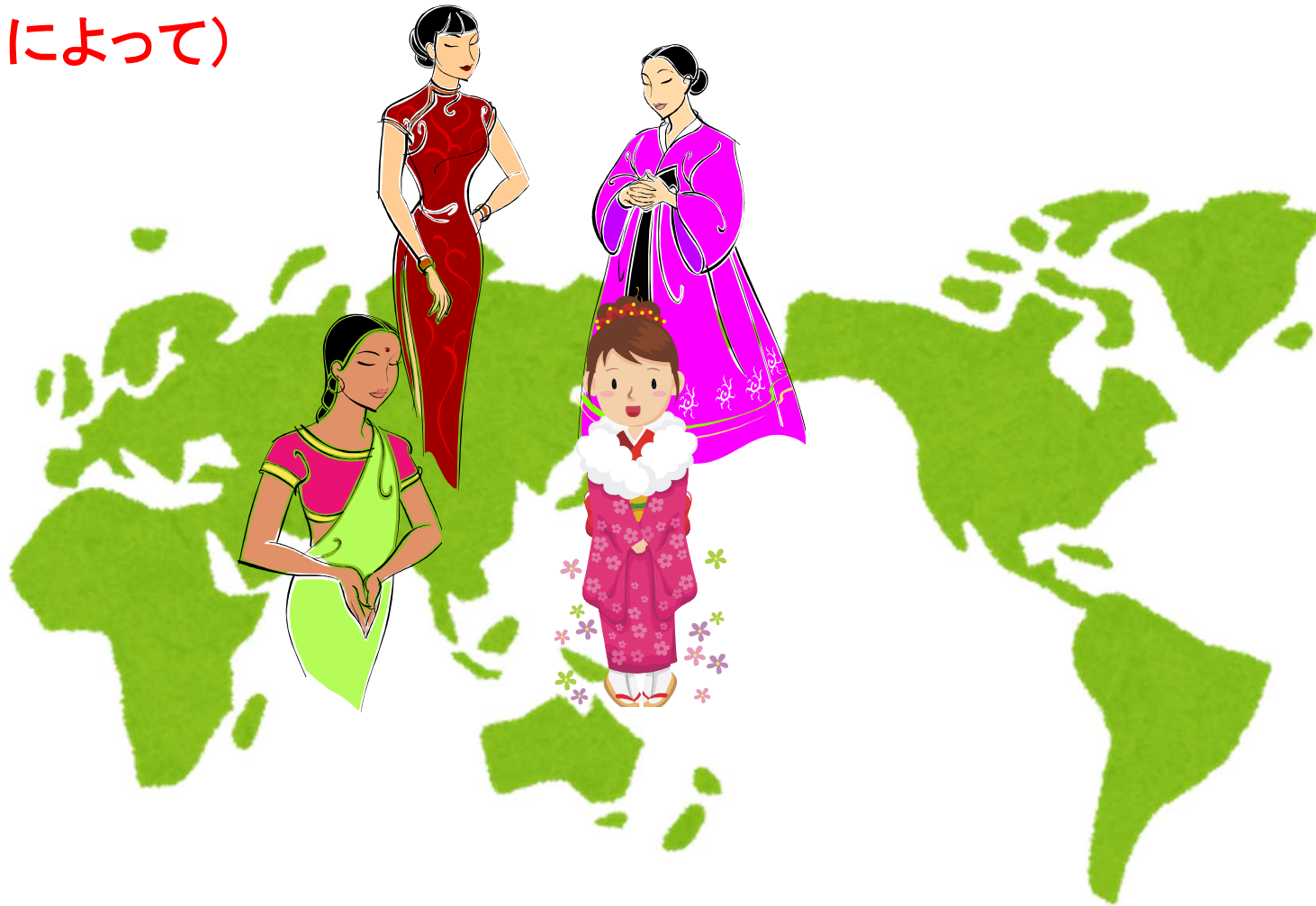
い もの い も  
入れ物に入れて 持ってきてください。

ハスナ： ありがとうございます。

～は／～も

➡ [ス21]

(～によって)



くに ちが  
国が違います。

き ちが  
着るものが違います。



くに き ちが  
国によって 着るものが違います。

じ き      ちが  
時期が違います

ひこうき      ねだん      ちが  
飛行機のチケットの値段が違います

→ 時期によって 飛行機のチケットの値段が違います。

ちが  
クラスが違います

べんきょう      ないよう      ちが  
勉強する内容が違います

→ クラスによって 勉強する内容が違います。

しごと      ちが  
仕事は違います

きゅうりょう      ちが  
給料が違います

→ 仕事によって 給料が違います。

みせ      ちが  
店が違います

あじ      ちが  
味が違います

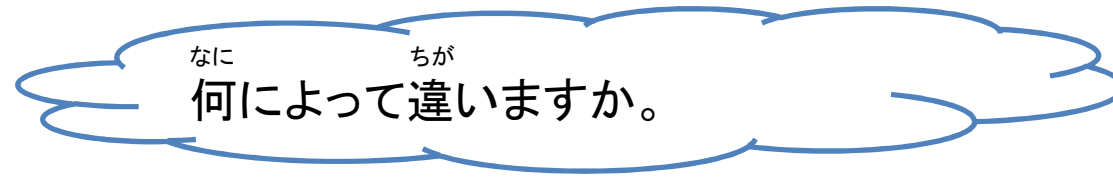
→ 店によって 味が違います。

くに      ちが  
国が違います

かんが      かた      ちが  
考え方が違います

→ 国によって 考え方が違います。





ひこうき      ねだん  
飛行機   の   チケット   の   値段

きゅうりょう  
給料

た  
食べるもの

かね    つか    かた  
お金の使い方

ちいき  
地域

じかん  
時間

おも  
重さ

くに  
国

ねんれい  
年齢

きせつ  
季節

しゅるい  
種類

ひと  
人

みせ  
店

しごと  
仕事

ようび  
曜日

せいべつ  
性別

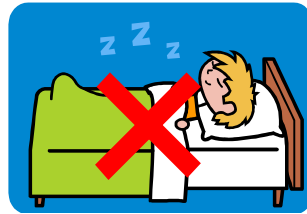
かいしゃ  
会社



げんいん りゆう  
(～て・～で(原因・理由))



あつ  
暑いです



ね  
寝られません

あつ      ね  
暑くて    寝られません。



かね  
お金がありません



か  
買えません

かね      か  
お金がなくて    買えません。



プレゼントをもらいました    うれしいです

プレゼントをもらって    うれしいです。



「～て・～で」(原因・理由)

前の文で述べられたことが原因・理由となって、後の文で表されることが起きることを表します。

後ろの文の内容は話し手の意志とは関係なく起きたことで、そのため、後ろの文には意志的な内容の文は来ません。

例) ○台風が来て、学校が休みになりました。

× 台風が来て、学校を休みました。(話し手の意志的動作)

後ろの文は動詞の否定形や感情表現のことばが来ることが多いです。

また、「から」や「ので」ほど理由を明確にしません。





けいようし  
い形容詞＋くて

けいようし  
な形容詞＋で

どうし      けい  
動詞    て形

どうし  
動詞    ない形＋くて

めいし  
名詞＋で

けっか  
結果



ふた      ぶん      ひと  
二つの文を一つにしましょう。

れい  
例) プレゼントをもらいました

うれしいです

プレゼントをもらって、うれしいです。

ともだち      くに      かえ  
友だちが国に帰りました

さびしいです

とも      くに      かえ  
友だちが国に帰って、さびしいです。

にほんご      よ  
日本語が読めません

こま  
困りました

にほんご      よ      こま  
日本語が読めなくて、困りました。

ようじ  
用事があります

あそ  
遊べません

ようじ      あそ  
用事があって、遊べません。

あつ  
熱いです

さわれません

あつ  
熱くて、さわれません。

ふくざつ  
複雑です

よくわかりません

ふくざつ  
複雑で、よくわかりません。

あめ  
雨です

ちゅうし  
中止になりました

あめ      ちゅうし  
雨で、中止になりました。

じこ  
事故です

けがをしました

じこ  
事故で、けがをしました。



## れんしゅう

ひだり ぶん みぎ ぶん あ ひと ぶん  
左の文と右の文をうまくつなぎ合わせて一つの文にしましょう。

こ う  
子どもが生まれました

いそが  
忙しいです

かんたん もんだい まちが  
簡単な問題を間違えました

とも  
友だちがいません

ねぼう  
寝坊しました

さむ  
寒いです

わす  
さいふを忘れました

み  
ニュースを見ました

こま  
困りました

よてい でんしゃ の  
予定の電車に乗れませんでした

お  
起きられません

さびしいです

びっくりしました

は  
恥ずかしかったです

とも あ  
友だちに会えません

うれしいです



「～て・～で」を使<sup>つか</sup>って、選<sup>えら</sup>んだカードにあ<sup>ぶん</sup>う文<sup>つく</sup>を作<sup>つく</sup>りましょ<sup>う</sup>う。

①

⑤

⑨

②

⑥

⑩

③

⑦

⑪

④

⑧

⑫



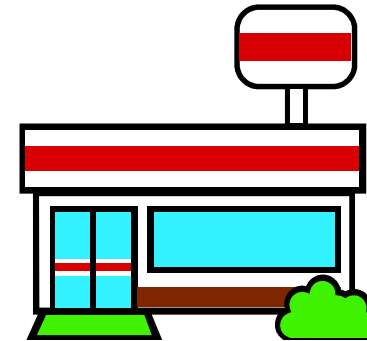
(～てきます)

<sup>い</sup>  
トイレへ行きます。



<sup>い</sup>  
トイレへ行ってきました。

<sup>か</sup>  
コンビニでジュースを買ってきます。



<sup>か</sup>  
コンビニでジュースを買って来ました。

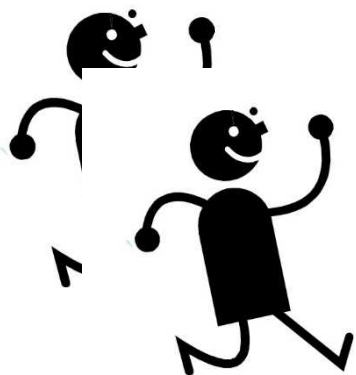


<sup>どうし</sup>動詞 <sup>けい</sup>て形 + きます

<sup>ばしょ</sup>場所 <sup>で</sup> <sup>どうし</sup>動詞 <sup>けい</sup>て形 + きます

<sup>ばしょ</sup>場所 <sup>へ</sup> <sup>い</sup>行ってきます





はん た  
ご飯を食べる

まど し  
窓を閉める

ほん かえ  
本を返す

きっぷ か  
切符を買う

くるま ちゅうしゃじょう と  
車を駐車場に止める

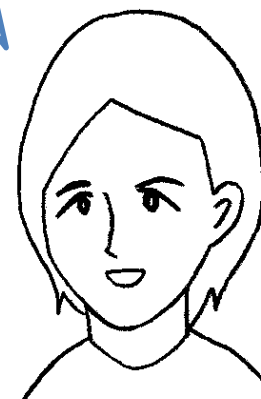
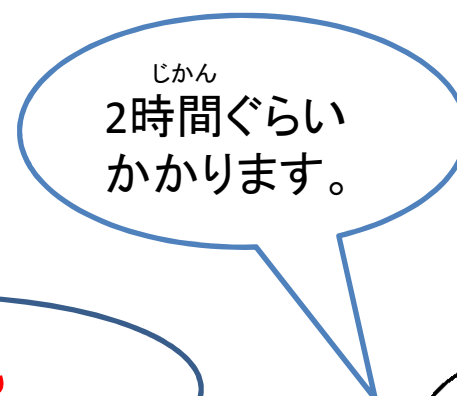
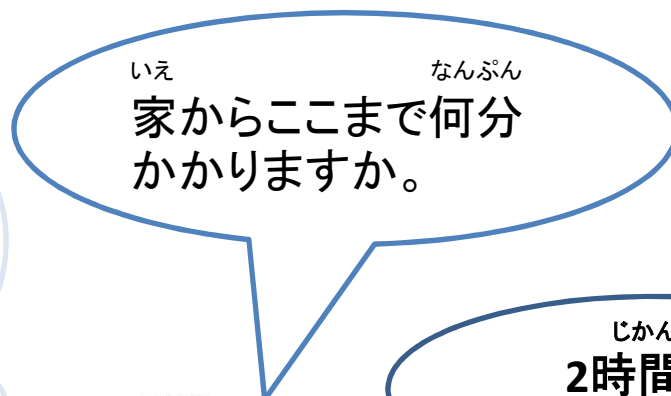
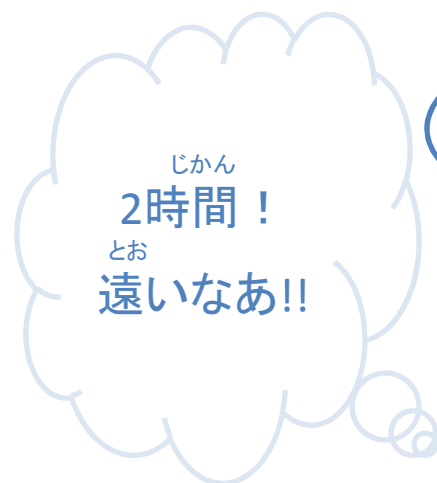
の もの か  
コンビニで飲み物を買う

ぎんこう かね だ  
銀行でお金を出す

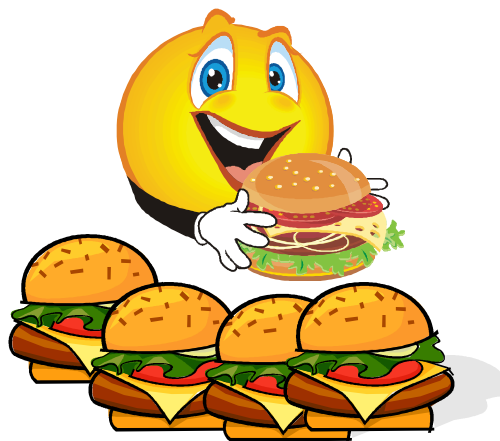
い  
スーパーへ行く



(～も)







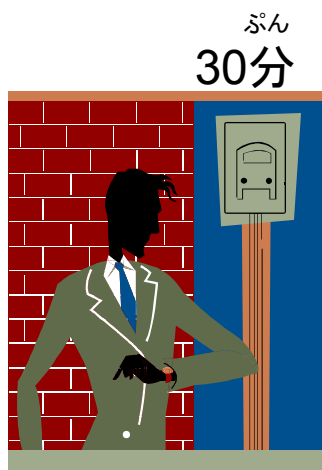
いつ た  
ハンバーガーを五つも食べます。



まんえん かい もの  
10万円も買い物をしました。



ある  
30キロも歩きます。



ぶん ま  
30分も待っています。



いぬ びき  
犬が3匹もいます。



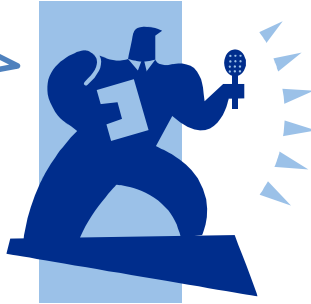
ど  
39度もあります。



(～は)

まいにち なん

毎日何キロ  
はし  
走りますか。



まいにち

はし

毎日5キロは走ります。



おお とき

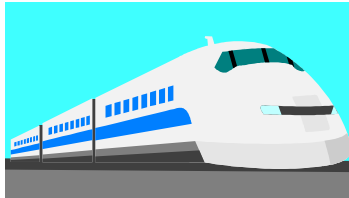
多い時は10キロ、

すく とき

少ない時でも

5キロか6キロは走ります。

おおさか  
大阪



とうきょう  
東京

おおさか

とうきょう

A: 大阪から東京まで どれぐらいかかりますか。

いちばん はや しんかんせん

じかん

ぷん いじょう

B: 一番早い新幹線で 2時間30分以上かかります。

しんかんせん

じかん

ぷん

新幹線で2時間30分はかかります。

つか い  
「～は」を使って、言いかえましょう。

まいにち じかん いじょう べんきょう  
毎日2時間以上勉強します。

まいにち じかん べんきょう  
毎日2時間は勉強します。

きゅうりょう まんえん いじょう  
給料は20万円以上ほしいです。

きゅうりょう まんえん  
給料は20万円はほしいです。

いえ かいしゃ じかん いじょう  
家から会社まで1時間以上かかります。

いえ かいしゃ じかん  
家から会社まで1時間はかかります。

こ にん いじょう  
子どもは3人以上ほしいです。

こ にん  
子どもは3人はほしいです。

まいにち ばい いじょう の  
毎日コーヒーを3杯以上飲みます。

まいにち ばい の  
毎日コーヒーを3杯は飲みます。

まい いじょう か  
レポートを30枚以上書いてください。

まい か  
レポートを30枚は書いてください。



つか じぶん はな  
「も」「しか」「は」を使って、自分のことを話しましょう。

はな ひと おお おお おも すく ちい おも  
話す人が多い、大きいと思うときには「も」、少ない、小さいと思うときには「しか～ない」、  
おお とき すく とき かなら いじょう つか  
多い時と少ない時があるが、必ずそれ以上だ、というときには「～は」を使います。

ね じかん  
寝る時間

いえ  
家からここまで

とも  
友だち

べんきょう じかん  
勉強する時間

なか かね  
さいふの中のお金

おわり

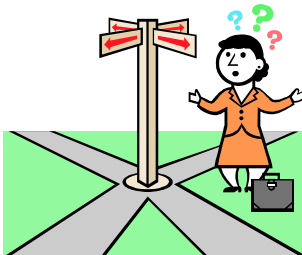


# くらしのにほんご とよなか IX. 情報C

かんたん

むずか

「ワードは簡単ですが、エクセルは難しいです。」



## 会話 C 1

### 《 神戸電気で 》 こうべでんき



やま ぐち  
山 口 : マークさん、パソコンの

マ ー ク : いいえ、そんなに詳しくな  
くわ

やま ぐち  
山 口 : ワードは簡単ですが、エ  
かんたん

マ ー ク : そうですね。でもワード

エクセルは数字の計算  
すうじ けいさん

それにパソコンは使えば  
つか

やま ぐち  
山 口 : そうですね。わたしも最  
さい

パソコンのスイッチを入  
い

データを入力するのが楽  
にゆうりよく た

## 会話 C 2

### こうべでんき 《神戸電気で》



マ ー ク：<sup>つか</sup> パワーポイントは使いまし

やま ぐち 山 口：<sup>つか</sup> いいえ、まだ使っていま  
エクスセルが使えるようにな

マ ー ク： そうですね。

パワーポイントは エクセ

エクセルではアニメーション

そして、いろいろなプレゼン

<sup>にゆうりよく</sup>  
入力のしかたは マニユア

やま ぐち 山 口：<sup>おし</sup> そうですね。 でもマニユ

マークさん 教えてください

マ ー ク： ええ、いいですよ。 がん



## 会話 C 1

### こうべでんき 《神戸電気で》



やま ぐち 山 口 : マークさん、パソコンのこと詳しいでしょう？

マ ー ク : いいえ、そんなに詳しくないですけど…。

やま ぐち 山 口 : ワードは簡単ですが、エクセルは難しいですね。

マ ー ク : そうですね。でもワードは文章しか書けませんが、

エクセルは数字の計算やグラフができて便利ですよ。

それにパソコンは使えば使うほど面白くなりますよ。

やま ぐち 山 口 : そうですね。わたしも最近毎日パソコンを使っています。

パソコンのスイッチを入れて、ファイルを開いて、

データを入力するのが楽しくなってきました。



～は、～は

➡ [ス6]

～しか

➡ [ス10]

～ば～ほど

➡ [ス15]

～ています

➡ [ス22]

～て～て

➡ [ス26]

## 会話 C 2

### こうべでんき 《神戸電気で》

マ ー ク：<sup>つか</sup> パワーポイントは使いましたか。

やま ぐち 山 口：<sup>つか</sup> いいえ、まだ使っていません。

<sup>つか</sup> エクセルが使えるようになってから<sup>べんきょう</sup>勉強します。

マ ー ク： そうですね。

パワーポイントは エクセルよりも <sup>おもしろ</sup> もっと面白いです。

エクセル<sup>では</sup>アニメーションができませんがパワーポイント<sup>では</sup>できます。

そしていろいろなプレゼンテーションをする<sup>つか</sup>のに使えます。

<sup>にゆうりよく</sup> 入力のしかたは マニュアルのとおりによればできます。

やま ぐち 山 口：<sup>よ</sup> そうですか。でもマニュアルは いくら読んでもわかりません。

マ ー クさん <sup>おし</sup> 教えてくださいませんか。

マ ー ク： ええ、いいですよ。がんばってください。

まだ～ていません

➡ [ス29]

～てから

➡ [ス33]

～では、～では

➡ [ス38]

～のに～

➡ [ス50]



## (～は～が、～は～)[対比]

<意味>

□ 対比

「A は ○ ですが、B は × です。」

「わたしは ビールは飲めますが、ウィスキーは 飲めません。」

「いもうとは 中国語が話せますが、わたしは 話せません。」



你好

ちゅうごくご はな

いもうとは中国語が話せます。



你好

ちゅうごくご はな

わたしは中国語が話せません。

⇒ いもうとは 中国語が話せますが、 わたしは 中国語が話せません。



の

わたしは ビールを 飲みます。



の

わたしは ウイスキーを 飲みません。

⇒ わたしは ビールは 飲みますが、 ウイスキーは 飲みません。

えいご  
英語  
さけ  
お酒

は

はな  
話せます  
の  
飲みます

が

ちゅうごくご  
中国語  
たばこ

は

はな  
話せません。  
す  
吸いません。

# 〔れんしゅう〕

れい かんたん かんじ か ふくざつ かんじ か  
例： わたしは簡単な漢字が書けます。 複雑な漢字が書けません。

⇒ わたしは簡単な漢字は書けますが、 複雑な漢字は書けません。

1: このビルにコンビニがあります。 スーパーがありません。




2: わたしは山が好きです。 海があまり…。  
やま す うみ




3: わたしは車を持っています。 自転車を…。  
くるま も じてんしゃ



わたしは

4: [みなさんで考えてください]



## (ぎゅうにゅうしか ありません)

れいぞうこ    なか                      の    もの  
□ 冷蔵庫の中にいろいろな飲み物がありました。

の                      の  
ビールを飲みました。    ワインを飲みました。    ビールとワインがなくなりました。

の                      ちゃ    の                      ちゃ  
ジュースを飲みました。    お茶を飲みました。    ジュースとお茶もなくなりました。

いま    ぎゅうにゅう

今、牛乳 だけ あります。

いま    ぎゅうにゅう

⇒ 今、牛乳 **しか**    **ありません**。



わたしは

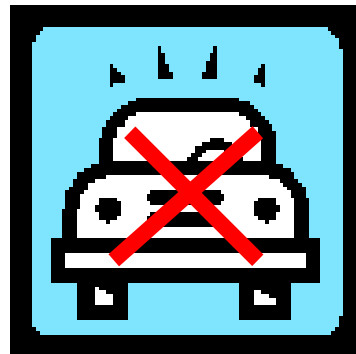
えいご しんぶん  
英語の新聞  
いちど  
かぶきを 一度  
あさ  
朝 コーヒー  
かんじ すこ  
漢字を少し

しか

よ  
読めません。  
み  
見たことが ありません。  
の  
飲みませんでした。  
べんきょう  
勉強しませんでした。



(～しか)



わたしは <sup>くるま</sup> 車に <sup>の</sup> 乗れません。

わたしは <sup>の</sup> バイクに 乗れません。

わたしは <sup>じてんしゃ</sup> 自転車 だけ <sup>の</sup> 乗れます。

わたしは <sup>じてんしゃ</sup> 自転車 しか <sup>の</sup> 乗れません。



## [バイクは少し(または1台／2台)しかありません]

※授業の前に確認しておく

□ 駅前に S全 を連れて行く。自転車がたくさんある。

バイクが少し(または1台／2台)ある。

T 「自転車がたくさんあります。

バイクは？」

⇒ S 「バイクが少し(または1台／2台)あります。」

T バイクは？」

⇒ S 「バイクは少し(または1台／2台)しかありません。」

□ 事務所へ(とよなか国際交流センターの場合)

T 「女の人が〇〇人(たくさん)います。

男の人は？」

⇒ S 「男の人は一人／二人しかいません。」

□ 事務所横の本棚へ(とよなか国際交流センターの場合)

日本語の本がたくさん。〇〇の本が少し。△△の本が1冊。

T 「〇〇の本は？」

⇒ S 「〇〇の本は少ししかありません。」

T 「△△の本は？」

⇒ S 「△△の本は1冊しかありません。」

□ その他お茶汲み場、CCスペースなどで同様に場面を探す。

(～ば～ほど～／～なら～ほど～)

動詞、い形容詞、な形容詞の程度の変化につれ、それに比例して「～」の部分の程度も変化するという意味である。



まいにち は <sup>みが</sup>  
毎日 歯を 磨きます。

は  
歯は どう になりますか。 → きれいに になります。

<sup>みが</sup>  
もっと 磨きます。 → もっと きれいに になります。



は <sup>みが</sup> <sup>みが</sup>  
歯は 磨けば 磨くほど きれいに になります。

きゅうりょう  
給料



もらいます

多いです

もっと多いです

もっともっと多いです

きゅうりょう おお  
給料が 多くなります。嬉しいです。

おお  
もっと多 くなります。 もっと嬉しいです。



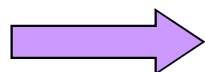
きゅうりょう おお  
給料が 多ければ 多いほど 嬉しいです。



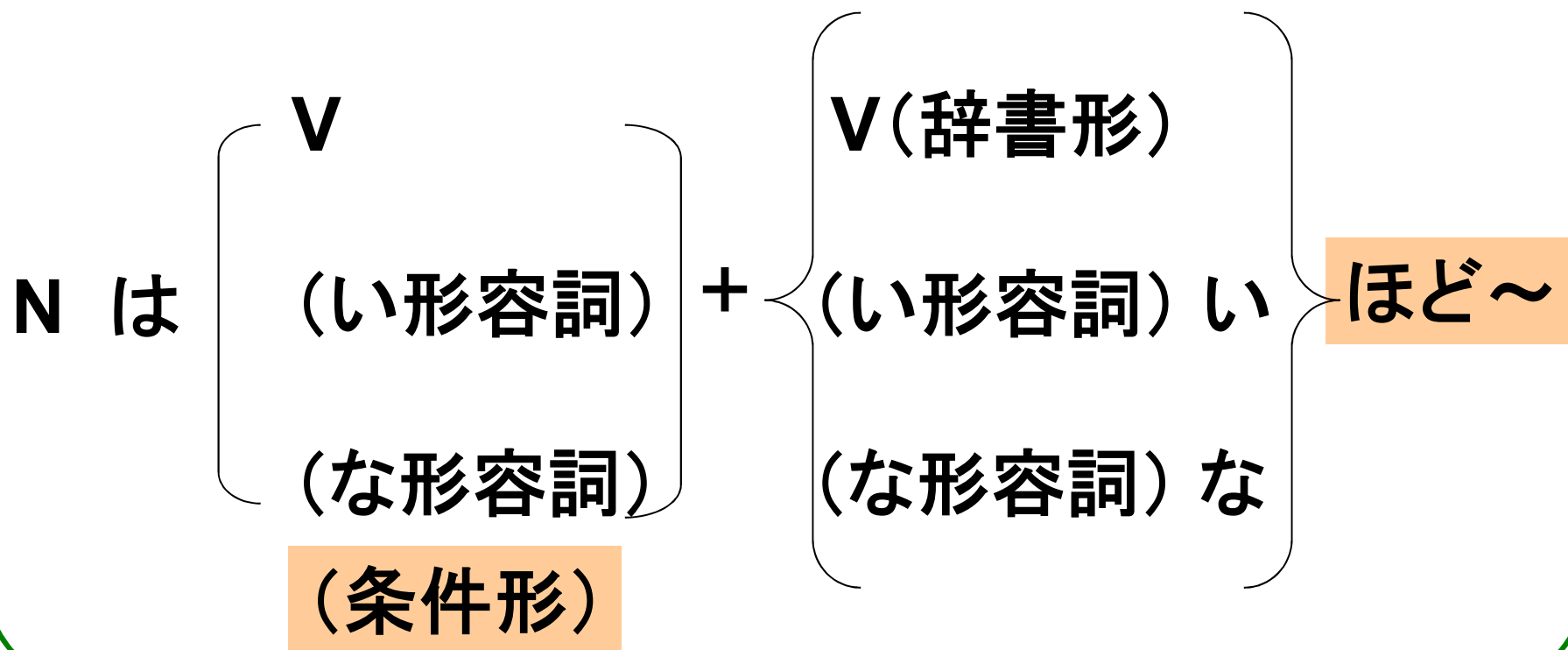
わたしの <sup>こ</sup>子どもは  
<sup>まえ</sup>前は <sup>げんき</sup>あまり元気じゃ  
 ありませんでした。

<sup>いま</sup>今  
<sup>げんき</sup>元気になりました。

<sup>げんき</sup>でも、もっと元気に  
 なってほしいです。



<sup>こ</sup>子どもは <sup>げんき</sup>元気なら <sup>げんき</sup>元気なほど いいです。



は  
歯は  
きゅうりょう  
給料は  
かのじょ  
彼女は

みが  
磨けば  
たか  
高ければ  
きれいな

みが  
磨く  
たか  
高い  
きれいな

ほど

きれいになります。  
うれ  
嬉しいです。  
いいです。



## 〔れんしゅう〕

れい にほんご べんきょう  
例： 日本語・勉強します・おもしろくなります

⇒ にほんご べんきょう  
日本語は 勉強すればするほど おもしろくなります。

ほん よ  
1： この本・読みます・わからなくなります

⇒

いえ えき ちか やちん たか  
2： 家・駅に近いです・家賃が高くなります

⇒

たの  
3： パーティー・にぎやかです・楽しいです

⇒

かんが  
4： [みなさんで考えてください]

⇒

(Vています)

<意味>

日常の習慣的な行為

<内容>

L15 の長期的な習慣に近いが、より短期的で動作性？

例： 毎晩、お酒を飲んでいきます。

いつも土曜日にサッカーをしています。

## (Vています)

□ わたしは <sup>まいにち</sup>毎日 <sup>じ</sup>9時から <sup>じ</sup>5時まで <sup>はたら</sup>働きます。

□ わたしは <sup>まいしゅう</sup>毎週 <sup>にちようび</sup>日曜日 <sup>ともだち</sup>友達と サッカーをします。



□ わたしは <sup>まいにち</sup>毎日 <sup>じ</sup>9時から <sup>じ</sup>5時まで <sup>はたら</sup>働いています。

□ わたしは <sup>まいしゅう</sup>毎週 <sup>にちようび</sup>日曜日 <sup>あさ</sup>友達と サッカーをしています。



□ みなさんは <sup>まいにち</sup>毎日 <sup>なに</sup>何をしていますか。

□ みなさんは <sup>にちようび</sup>日曜日 <sup>なに</sup>いつも 何をしていますか。



れい 例 ⇒ わたしは <sup>まいにち</sup>毎日 <sup>だいがく</sup>大学で <sup>べんきょう</sup>勉強しています。

れい 例 ⇒ わたしは <sup>にちようび</sup>日曜日 ジョギングを しています。

わたしは まいにち 毎日 じ 9時から じ 5時まで はたら 働いて います。

まいしゅう にちようび 毎週 日曜日 ともだち 友達と サッカーを して









ひまなとき え 絵をかいたり、か 買い物に もの 行ったり い して

みなさんは にちようび 日曜日 なに 何を して ……か。

やす ひ なに  
〔 休みの日、いつも何をしていますか 〕

例1 やす ひ 休みの日 ジョギングを しています。

例2 やす ひ ともだち 休みの日 友達と サッカーをし たり 喫茶店へ行っ たり しています。

かぞく 家族と	ジョギングします	さんぽ 散歩します		
ともだち 友達と	サッカーをします	きっさてん い 喫茶店へ行きます		
かれかのじよ 彼/彼女と	か もの 買い物します	ほん よ 本を読みます		
...	み ビデオを見ます	テニスをします		
〇〇〇と	〇〇〇	〇〇〇	たり	たり

い  
〔 言ってください 〕

やす ひ なに  
〔 休みの日、いつも何をしていますか 〕

例1 やす ひ  
休みの日  しています。

例2 やす ひ ともだち  
休みの日 (友達と)  たり  たり しています。

かぞく 家族と	ジョギングします	さんぽ 散歩します
ともだち 友達と	サッカーをします	きっさてん い 喫茶店へ行きます
かれかのじょ 彼/彼女と	か もの 買い物します	ほん よ 本を読みます
...	み ビデオを見ます	テニスをします
〇〇〇と	〇〇〇	〇〇〇
(考えてください)	(考えてください)	たり (考えてください) たり



(～て～て)



あさ お  
朝 起きます



は みが  
歯を 磨きます



た  
ごはんを食べます



でかけます

あさ お ~~て~~  
朝 ~~起きます~~

は みが ~~いて~~  
歯を ~~磨きます~~

た ~~て~~  
ごはんを食べ~~ます~~

でかけます

わたしは <sup>あさ</sup>朝 <sup>お</sup>起きて <sup>は</sup>歯を <sup>みが</sup>磨いて <sup>あさ</sup>朝ごはんを <sup>た</sup>食べて でかけま  
す。

<sup>にちようび</sup> 日曜日 <sup>ともだち</sup> 友達と <sup>あ</sup>会って テニスを して <sup>の</sup> ビールを飲みました。



<言ってください>



(まだ～ていません) < Bさんの こんしゅう 今週の よてい 予定 >

導入

月	火	水	木	金	土	日	月
を買った 恋人の誕生日プレゼント	きょう	漢字を復習する	漢字の試験	恋人の誕生日		レポートを書く	レポートを出す

A: こいびと 恋人の たんじょうび 誕生日のプレゼントは か もう買いましたか。

B: はい、もう か 買いました。

A: あさって かんじ 漢字の しけん 試験ですね。もう、かんじ 漢字の ふくしゅう 復習をしましたか。

B: いいえ、**まだ** ふくしゅう 復習していません。あした 復習します。

A: レポートは か もう 書きましたか。

B: いいえ、**まだ** か 書いていません。こんしゅうちゅう 今週中に か 書きます。

まだ ホテルの予約を <sup>よやく</sup> して いません。  
<sup>ひ こう き</sup> 飛行機 <sup>きっぷ</sup> の切符を <sup>か</sup> 買って

まだ[Vて形]+いません

< Aさんの <sup>こんげつ</sup> 今月の予定 <sup>よてい</sup> >

A calendar for December (12) showing days of the week (S, M, T, W, T, F, S) and dates (1-31). Several dates are highlighted with red boxes and connected to callout boxes:

- 日本語の試験 (Japanese Language Exam) points to December 1st.
- 友達の誕生日 (Friend's Birthday) points to December 8th.
- クリスマスパーティー (Christmas Party) points to December 25th.
- レポートを出す (Submit Report) points to December 12th.
- 国へ帰る (Return to Country) points to December 27th.

S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

< Aさんに聞いてください >

れい 例: <sup>くに</sup> 国の <sup>りょうしん</sup> 両親の <sup>か</sup> おみやげは もう買いましたか。

(～てから～)

導入

「VてからV」

- ◆家に帰ったあと、「シャワーを浴びる」と「晩ごはんを食べる」のどちらを先にするか。
- ◆ご飯を食べた後、「テレビを見る」「新聞を読む」「家族と話す」「勉強する」などの行為をトピックにして、その前後関係をSに述べさせる。

(～てから～)



は <sup>みが</sup> ~~いて~~ <sup>た</sup> ~~磨きます~~ から ごはんを食べます



ごはんを食べ<sup>た</sup>~~ます~~<sup>て</sup> から は <sup>みが</sup> ~~磨きます~~












は  
歯を

みが  
磨いて

から、

あさ た  
朝ごはんを食べます。

レストランで

しょくじ  
食事して

えいが み い  
映画を見に行きました。

さい  
20歳に

なって

さけ の  
お酒を飲みます。

## <みなさんはどちらですか？>

ドリル



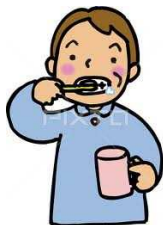
れい  
例:

シャワーを<sup>あ</sup>浴びます : ごはんを<sup>た</sup>食べます

A: シャワーを<sup>あ</sup>浴びてから ごはんを<sup>た</sup>食べま

B: ごはんを<sup>た</sup>食べてから シャワーを<sup>あ</sup>浴びます。

## <みなさんはどちらですか？ 言ってください >



1: ごはんを<sup>た</sup>食べます : <sup>は</sup> <sup>みが</sup> 歯を磨きます

A: <sup>た</sup> ごはんを食べてから <sup>は</sup> <sup>みが</sup> 歯を磨きます。

B: <sup>は</sup> <sup>みが</sup> 歯を磨いてから <sup>た</sup> ごはんを食べます。



2: <sup>くに</sup> (国で) <sup>にほんご</sup> 日本語を勉強しました : <sup>にほん</sup> <sup>き</sup> 日本へ来ました

A: <sup>くに</sup> (国で) <sup>にほんご</sup> 日本語を勉強してから <sup>にほん</sup> <sup>き</sup> 日本へ来ました。

B: <sup>にほん</sup> <sup>き</sup> 日本へ来てから <sup>にほんご</sup> <sup>べんきょう</sup> 日本語を勉強しました。



(～には、～では、～からは、・・・)

(～にも、～でも、～からも、・・・)[複合助詞]

### <意味>

- 格助詞(「を」「が」「に」「で」「から」「まで」・・・)  
＋取り立て助詞(「は」「も」など)

#### 1) (を)(が)＋取り立て助詞 のとき

⇒(を)(が)は省略する。

「小さい鳥(を)は飼えますが、猫(を)は飼えません。」

「ビール(を)も好きですが、ワイン(を)も好きです。」

#### 2) その他の格助詞「に」「で」「から」「まで」＋取り立て助詞 のとき

⇒(に)(で)(から)(まで)・・・などは省略しない。

「教室にはプロジェクターがありますが、事務所にはありません。」

「スーパーで自野菜を売っています。コンビニでも売っています。」

「私の家から山が見えます。あなたの家からも見えますか。」

#### 3) 「へ」のときは省略しても省略しなくてもいい。

「東京へは / は新幹線で行きますが、北海道へは / は飛行機で行きます。」

(～には、～では、～からは、・・・)

(～にも、～でも、～からも、・・・)[複合助詞]

- 事務所に時計があります。教室に時計がありません。  
⇒事務所**には**時計がありますが、教室**には**時計がありません。
- 事務所にエアコンがあります。教室にエアコンがあります。  
⇒事務所にエアコンがあります。教室**にも**エアコンがあります。
- 日本語センターでみんなで勉強します。家で一人で勉強します。  
⇒日本語センター**では**みんなで勉強します。家**では**一人で勉強します。
- 毎日日本語センターで日本語を勉強します。毎日家で勉強します。  
⇒ 毎日日本語センターで日本語を勉強します。家**でも**勉強します。
- 東京から福岡まで5時間かかります。大阪から2時間半です。  
⇒福岡まで、東京**からは**5時間かかりますが、大阪**からは**2時間半です。
- 誕生日に恋人からネックレスをもらいました。友達もネックレスをくれました。  
⇒誕生日に恋人からネックレスをもらいました。友達**からも**ネックレスもらいました。

( ~では )

パソコンで できること／できないこと

	エクセル	パワーポイント
文章を書く	○	○
絵や写真を使う	○	○
計算する	○	×
グラフを作る	○	×
アニメーション	×	○
プレゼンテーション	×	○

けいさん  
エクセルでは計算ができますが、

けいさん  
パワーポイントでは（計算が）できません。

エクセルではアニメーションができませんが、

パワーポイントでは（アニメーションが）できます。

( ~でも )

パソコンで できること／できないこと

	ワード	エクセル
文章を書く	○	○
絵や写真を使う	○	○

ワード<sup>ぶんしょう か</sup>で文章を書くことができます。

エクセル<sup>ぶんしょう か</sup>でも文章を書くことができます。

ワード<sup>え しゃしん つか</sup>で絵や写真を使うことができます。

エクセル<sup>え しゃしん つか</sup>でも絵や写真を使うことができます。

(～には )

じむしょ かいぎしつ  
事務所と会議室に あるもの／ないもの

	事務所	会議室
いす	○	○
机	○	○
パソコン	○	×
カーテン	×	○

じむしょ かいぎしつ  
事務所にはパソコンがありますが、会議室 には (パソコンが)ありません。

じむしょ かいぎしつ  
事務所にはカーテンがありませんが、会議室 には (カーテンが)あります。

(～にも )

じむしょ かいぎしつ  
事務所と会議室に あるもの／ないもの

	事務所	会議室
いす	○	○
机	○	○
カーテン	○	×
パソコン	×	○

じむしょ かいぎしつ  
事務所にいすがあります。 会議室 にも いすがあります。

じむしょ つくえ かいぎしつ つくえ  
事務所に机があります。 会議室 にも 机があります。

<sup>じむしょ</sup>事務所 **には** パソコンがありますが、<sup>かいぎしつ</sup>会議室 **には** ありません。

<sup>かい</sup>1階 **には** トイレがありますが、<sup>かい</sup>2階 **には** ありません。

エクセル **では** <sup>けいさん</sup>計算ができますが、パワーポイント **では** できません。

<sup>みせ</sup>この店で現金 **では** <sup>か</sup>買えますが、カード **では** <sup>か</sup>買えません。

じむしょ  
事務所  
かいぎしつ  
会議室

に  
にも

いすがあります。

いすがあります。

ワード  
エクセル

で  
でも

ぶんしょう か  
文章を書ことができます。

ぶんしょう か  
文章を書ことができます。



# <れんしゅう>

ドリル1

じむしょ      かいぎしつ  
事務所と会議室に あるもの／ないもの

れい  
例:

1:

2:

	事務所	会議室
いす	○	○
机	○	○
パソコン	○	×
カーテン	×	○
ファクス	○	×
カレンダー	○	×

れい  
例:

じむしょ      かいぎしつ  
事務所にはカーテンがありませんが、会議室には（カーテンが）あります。

1:

じむしょ      かいぎしつ  
事務所にはファクスがありますが、会議室には（ファクスが）ありません。

2:

じむしょ      かいぎしつ  
事務所にはカレンダーがありますが、会議室には（カレンダーが）ありません。

# <れんしゅう>

## パソコンで できること／できないこと

ドリル2

	ワード	エクセル	パワーポイント
文章を書く	○	○	○
絵や写真を使う	○	○	○
れい 例: 計算する	×	○	×
1: グラフを作る	×	○	×
アニメーション	×	×	○
3: プレゼンテーション	×	×	○

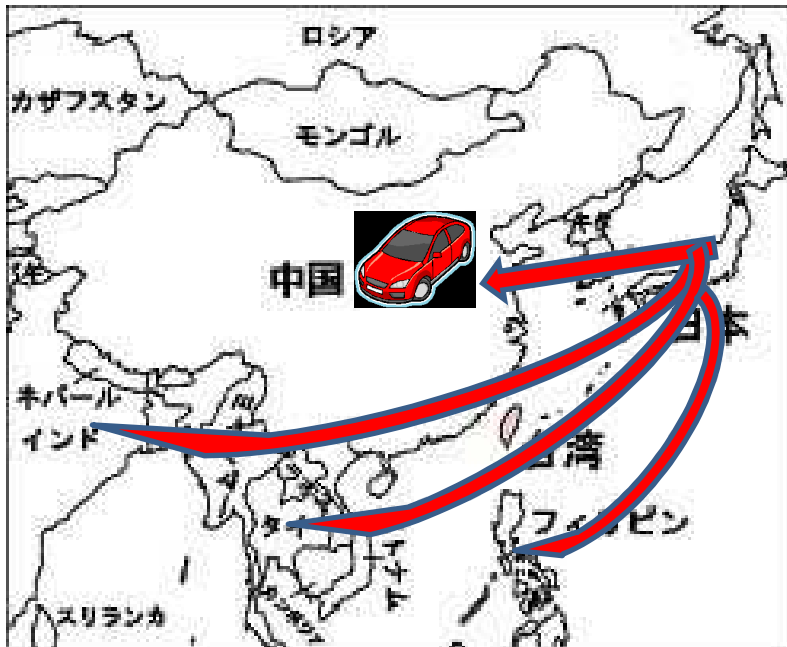
れい  
例: エクセル<sup>けいさん</sup>では計算ができますが、 パワーポイント<sup>けいさん</sup>では（計算が）できません。

1: ワード<sup>つく</sup>ではグラフを作ることができませんが、 エクセル では できます。

2: エクセル<sup>つく</sup>ではグラフを作ることができませんが、 パワーポイント では できません。

3: エクセルではプレゼンテーションができませんが、 パワーポイント では できます。

( ~へも、~からも )



にほん ちゅうごく くるま ゆしゆつ  
日本は中国 へ 車を 輸出しています。

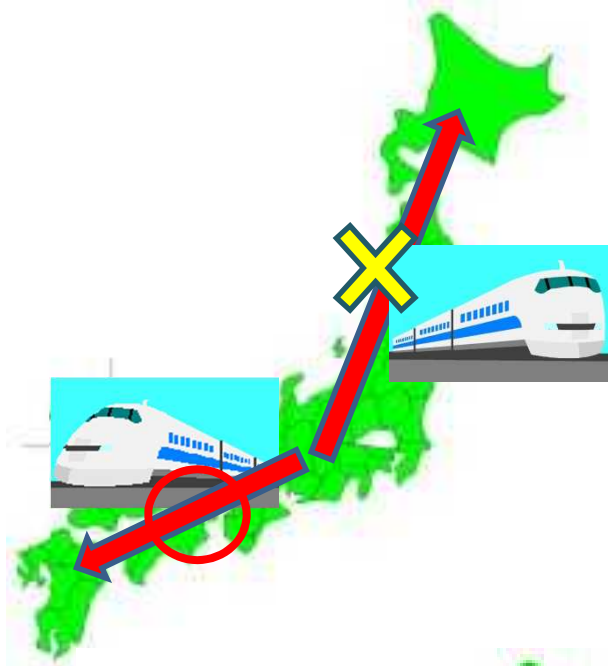
ほか くに くるま ゆしゆつ  
他の国 へも (車を) 輸出しています。



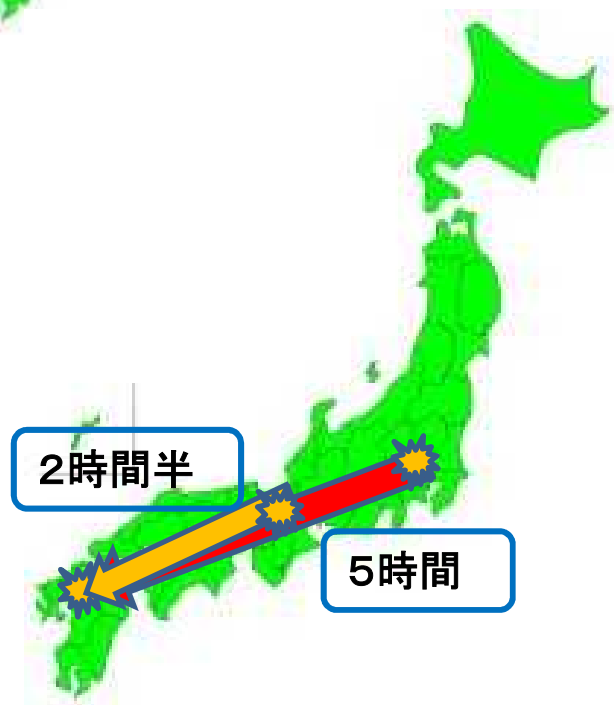
にほん にほん やさい くだもの  
日本は 中国 から 野菜や果物を  
ゆにゆう  
輸入しています。

ほか くに やさい くだもの  
他の国 からも (野菜や果物を)  
ゆにゆう  
輸入しています。

( ~へは、~からは )



きゅうしゅう 九州	へ	しんかんせん 新幹線で	い 行けます。
ほっかいどう 北海道	へ	しんかんせん 新幹線で	い 行けません。
きゅうしゅう 九州	へは	しんかんせん 新幹線で	い 行けませんが、
ほっかいどう 北海道	へは	しんかんせん 新幹線で	い 行けません。



とうきょう 東京	から	ふくおか 福岡まで	じかん 5時間かかります。
おおさか 大阪	から	ふくおか 福岡まで	じかん 2時間半です。
とうきょう 東京	から	ふくおか 福岡まで	じかん 5時間かかりますが、
おおさか 大阪	からは	じかん 2時間半です。	

かい かい  
< 1階にトイレがあります。2階にもトイレがあります。 >

教師用メモ

タスク1

じむしょ とけい きょうしつ  
< 事務所には時計がありますが、教室にはありません。 >

1. クラス全員に教室の階と他の階にあるもの/ないものを考えさせる。  
あるものとないものを対比させて文を作らせる。  
両方ともにある/ない場合の文も作らせる。

例：「1階には事務所がありますが、3階(教室のある階)にはありません。」

例：「1階にトイレがあります。3階(教室のある階)にも(トイレが)あります。」

※ 次の2. のタスクの準備用なのでたくさんする必要はない。

参考：1階にある施設～受付、事務所、トイレ、エレベーター、応接室(未習)

2. ①クラス全員に教室にあるものをメモさせる  
②受付へ連れて行き、あるものをメモさせる  
③事務所に入らせて、あるものをメモさせる(人・先生も)  
④教室に帰り発表させる。

例：「事務所には時計がありますが、教室にはありません。」

※ 個人別、またはチーム別でたくさん言えることを競争させる。

※工業団地や他の事務所などの場合は環境をよく見ておき、「工場」などに置き換えてする。

## ( ~のに~／ ~に )

名詞および名詞相当句「辞書形＋の」に付いて後の述語との間にいろいろな関係を表す助詞「に」の用法を教える。この課では「～に使います」(用途)、「～にいいです／便利です／役に立ちます」(評価)、「～に(時間、お金)がかかります／必要です」(所用時間・経費)などの言い表し方を教える。

「～のに」「～に」の前件は基本的に「目的」とする動作の辞書形または動作性名詞。

( ~のに~/ ~に )

**V**辞書形 **の**

**N**

**に~**

( ~の<sup>に</sup>~ / ~<sup>に</sup> )

T: これは <sup>なん</sup> 何ですか。

S: はさみです。

T: はさみで <sup>なに</sup> 何をしますか。

S: <sup>かみ</sup> 紙を <sup>き</sup> 切ります。



T: <sup>かみ</sup> 紙を <sup>き</sup> 切る <sup>つか</sup> の<sup>に</sup> 使います。

はさみは <sup>かみ</sup> 紙を <sup>き</sup> 切る <sup>つか</sup> の<sup>に</sup> 使います。

《 辞書形 + の ⇒ N(名詞) 》





T: これは <sup>なん</sup> 何ですか。

S: そろばんです。

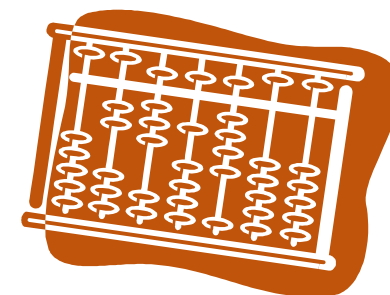
T: そろばんは <sup>なん</sup> <sup>つか</sup> 何に 使いますか。

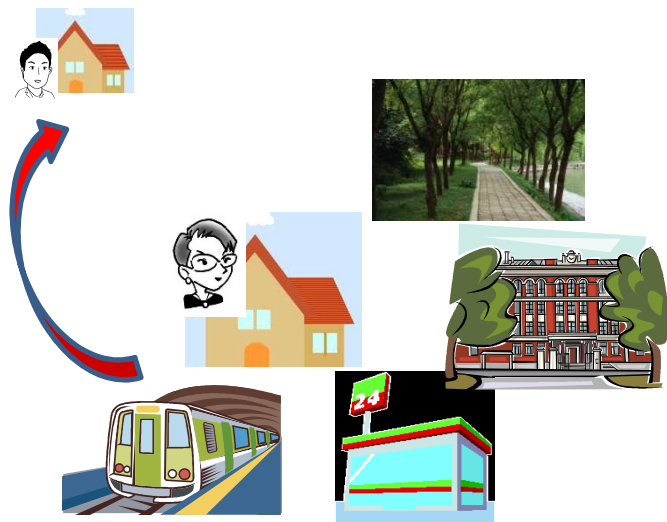
S: <sup>けいさん</sup> <sup>つか</sup> 計算するのに 使います。

T: そろばんは <sup>けいさん</sup> <sup>つか</sup> 計算する **のに** 使います。



そろばんは <sup>けいさん</sup> <sup>つか</sup> 計算 **に** 使います。





リーさんの ちは <sup>えき</sup> 駅の <sup>ちか</sup> 近くに あります。

近くには <sup>ちか</sup> スーパーや <sup>がっこう</sup> 学校や <sup>こうえん</sup> 公園が あります。

リーさんの ちは <sup>べんり</sup> とても 便利です。

わたしの ちは <sup>えき</sup> 駅から <sup>とお</sup> 遠いです。

リーさんの ちは

<sup>かいしゃ</sup> 会社へ <sup>い</sup> 行きます ・ <sup>べんり</sup> 便利です

<sup>か</sup> 買い物します ・ <sup>べんり</sup> 便利です

<sup>さんぽ</sup> 散歩します ・ <sup>べんり</sup> 便利です

わたしの ちは

<sup>かいしゃ</sup> 会社へ <sup>い</sup> 行く <sup>べんり</sup> **のに** 便利です。

<sup>か</sup> 買い物する <sup>べんり</sup> **のに** 便利です。

<sup>か</sup> 買い物 <sup>べんり</sup> **に** 便利です。

<sup>さんぽ</sup> 散歩する <sup>べんり</sup> **のに** 便利です。

<sup>さんぽ</sup> 散歩 <sup>べんり</sup> **に** 便利です。

<sup>かいしゃ</sup> 会社へ <sup>い</sup> 行く <sup>ふべん</sup> **のに** 不便です。

はさみは かみ き 紙を切る **のに** つか 使います。

そろばんは けいさん 計算する **のに** つか 使います。

リーさんのうちは か もの 買い物する **のに** べんり 便利です。

そろばんは けいさん 計算 **に** つか 使います。

リーさんのうちは か もの 買い物 **に** べんり 便利です。

A: きれいな公園こうえんですね。

B: ええ、子どもが遊ぶあそのに いいです。

A: 声こえが出る辞書じしょですか。

B: はい、海外旅行かいがいりょこうに とても 役にやく 立ちますた。

A: 関西国際空港かんさいこくさいくうこうをつくつくのに 何年なんねん かかりましたか。

B: 7年ねん かかりました。

A: 小さなアパートちいを 借りるかのに いくらぐらい いりますか。

B: そうですね。7～8万円まんえんぐらい いるんじゃないでしょうか。



A: あなたの国くにで うちを 建てるたのに いくらぐらい いりますか。

B:

IXC 完了

以下は参考スライド